

EPSON

EB-1485FT

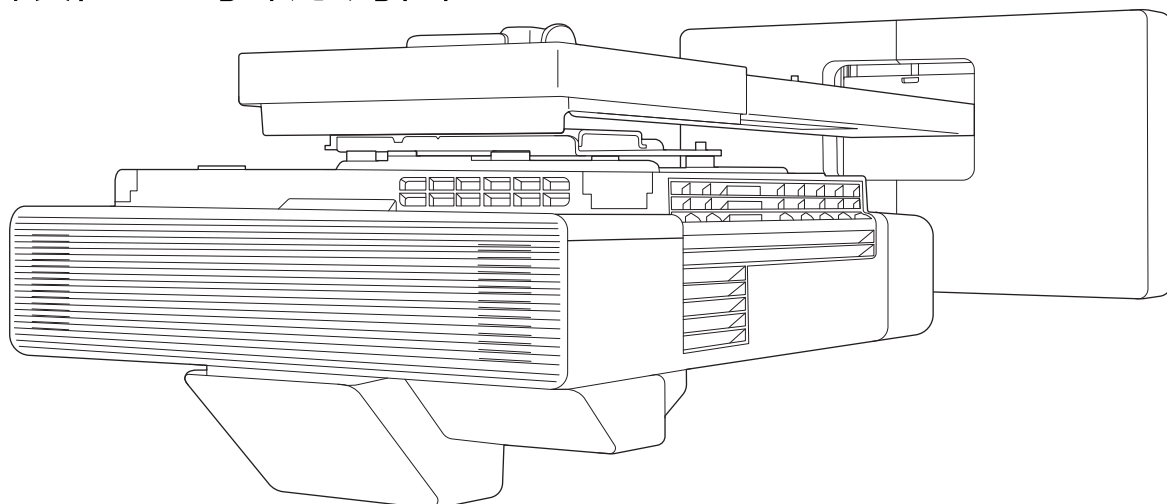
ELPMB62

ELPFT01

ELPMB63

ELPHD02

設置工事説明書



本書の記載

本書では下記の内容を説明しています。

- 壁掛け金具（ELPMB62）を使った超短焦点プロジェクター（EB-1485FT）の取り付け方法
- タッチユニット（ELPFT01）の取り付け方法
- タッチユニット取り付け金具（ELPMB63）を使ったタッチユニットの取り付け方法
- コントロールパッド（ELPHD02）の取り付け方法
- ペンスタンドの取り付け方法

同梱されていない機器や金具はオプション品としてお買い求めいただけます。

本書について

本書の記載	1
-------------	---

はじめに

安全にお使いいただくために	4
---------------------	---

安全に関する表示	4
----------------	---

記号の意味	4
-------------	---

同梱品一覧	5
-------------	---

壁掛け金具	5
-------------	---

金具本体	5
------------	---

付属品	6
-----------	---

タッチユニット	7
---------------	---

タッチユニット取り付け金具※オプション	
---------------------	--

品	8
---------	---

コントロールパッド	8
-----------------	---

ペンスタンド	9
--------------	---

準備が必要なもの	9
----------------	---

設置の流れ	11
-------------	----

複数台のプロジェクターを並べて設置する	
---------------------	--

とき	12
----------	----

取り付け寸法図	13
---------------	----

複数台のタッチユニットを近くに設置する	
---------------------	--

ときは	15
-----------	----

接続図	16
-----------	----

タッチユニットとコントロールパッドの接	
---------------------	--

続	16
---------	----

複数台のプロジェクター同士の接続	17
------------------------	----

インタラクティブ機能を使うとき	17
-----------------------	----

インタラクティブ機能を使わないとき	
-------------------	--

.....	17
-------	----

壁掛け金具設置

壁掛け金具の設置に関するご注意	
.....	19

壁掛け金具の設置場所に関するご注意	
.....	22

壁掛け金具仕様	24
---------------	----

外形寸法	25
------------	----

調整範囲	27
------------	----

上下スライド	27
--------------	----

水平スライド	28
--------------	----

前後スライド	28
--------------	----

ミニPC取り付け用プレート	29
---------------------	----

アクセサリ取り付け部	29
------------------	----

壁掛け金具取り付け手順	30
-------------------	----

金具の取り付け	31
---------------	----

設置位置を決める（投写距離表）	31
-----------------------	----

調整ユニットをプロジェクターに取り付	
ける	43

ウォールプレートを壁に取り付ける	45
------------------------	----

セッティングプレートをウォールプレー	
トに取り付ける	48

セッティングプレートに調整ユニットを	
取り付け	52

周辺機器を取り付ける	53
------------------	----

投写映像の位置調整	56
-----------------	----

調整前の準備	58
--------------	----

Epson Setting Assistantによる調整	
.....	58

自動画面調整	60
--------------	----

セッティングプレート調整ガイドを使っ	
た手動調整	64

プロジェクターメニューを使った調整	
.....	68

カバーの取り付け	73
----------------	----

セキュリティーケーブルの取り付け	75
------------------------	----

コントロールパッド設置

コントロールパッドに関するご注意	
.....	76

電波障害自主規制について	77
--------------------	----

JIS C 61000-3-2適合品	77
--------------------------	----

コントロールパッド仕様	78
-------------------	----

外形寸法	78
------------	----

ケーブル配線口	78
---------------	----

コントロールパッド取り付け手順	
.....	80

ペンスタンド設置

ペンスタンドに関するご注意	83
---------------------	----

ペンスタンド仕様	84
----------------	----

外形寸法	84
ペンスタンド取り付け手順	85
マグネットで固定する場合	85
ネジで固定する場合	86
インタラクティブペン調整	
インタラクティブペンの位置合わせ	88
手動ペン位置合わせ	88
自動ペン位置合わせ	90
タッチユニット設置	
タッチユニットに関するご注意	92
電波障害自主規制について	92
タッチユニットの設置場所	93
タッチユニット取り付け金具に関するご注意	94
レーザーに関するご注意	95
添付のラベルについて	95
レーザー照射口	95
タッチユニット仕様	96
外形寸法	96
タッチユニット取り付け金具仕様	97
外形寸法	97
調整範囲	98
タッチユニット取り付け手順	99
赤外線ディフレクターを取り付ける	99
タッチユニットを取り付ける	100
取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合	100
取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合	103
セキュリティケーブルを取り付ける ...	107
タッチユニットの電源を入れる	108
レーザーの角度を調整する（タッチユニット自動調整）	109
自動調整に失敗したときは	115
指タッチ操作の位置合わせ	124

プロジェクター設定

一括設定機能	127
USBメモリーを使って設定する	127
設定値をUSBメモリーに保存する	127
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する	128
コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する	129
設定値をコンピューターに保存する ...	130
保存した設定値を他のプロジェクターに反映する	131
設定がうまくいかないときは	132
本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション）	133
プロジェクターID の設定	134
マルチプロジェクションの接続設定	135
インタラクティブ機能を使用する場合	135
インタラクティブ機能を使用しない場合	137
HDMIリンク設定	138
マルチプロジェクションの映像調整	139
プロジェクターの同期設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）	140
EDIDの設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）	141

付録

安全規格対応シンボルマークと説明	143
商標について	146

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いの前に必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』も合わせてご確認ください、取り扱いの注意事項をお守りください。

安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味

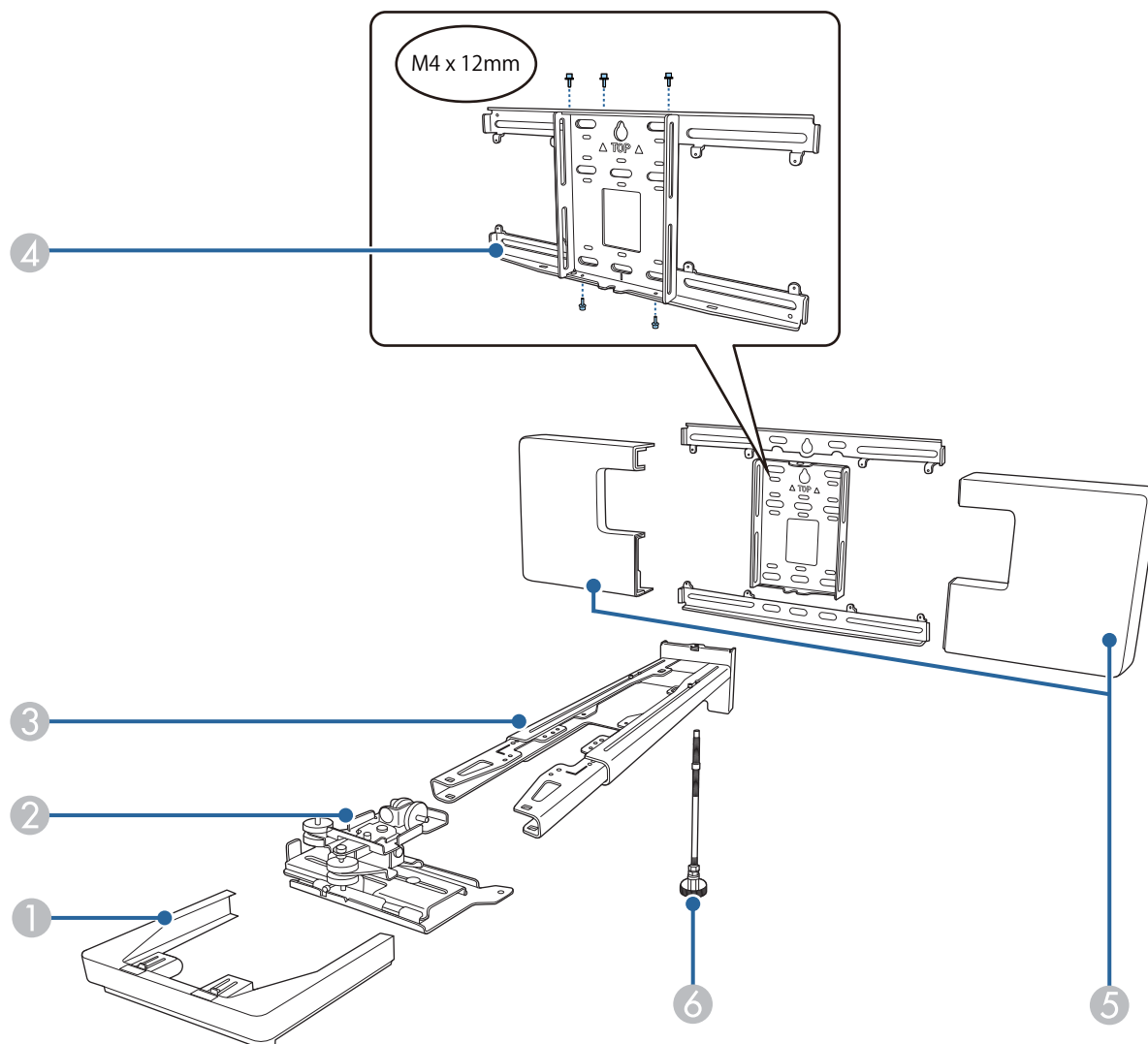
記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

同梱品一覧

取り付けに必要な同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

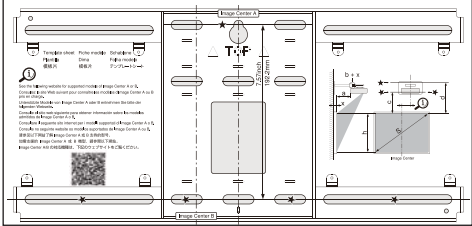
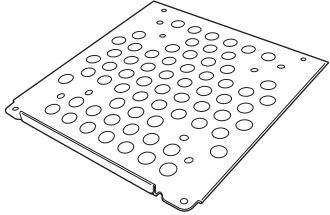
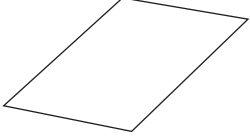
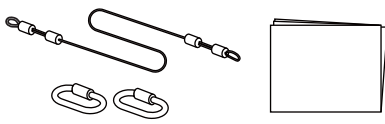
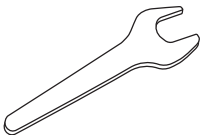
壁掛け金具

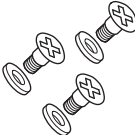
■ 金具本体



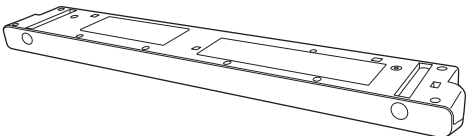
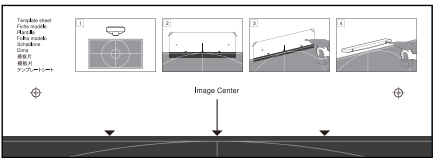
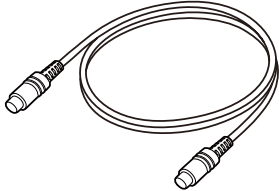
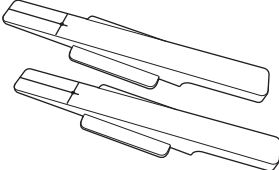
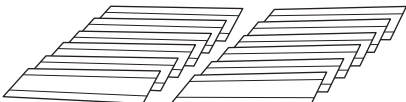
No.	パーツ名
①	エンドキャップ
②	調整ユニット
③	セッティングプレート
④	ウォールプレート
⑤	ウォールプレートカバー
⑥	六角軸

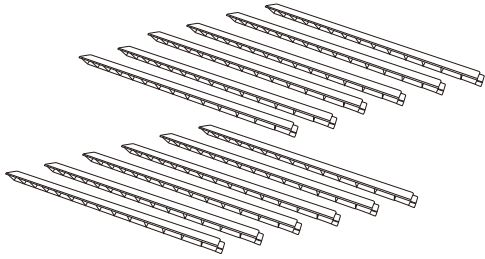
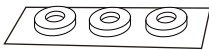
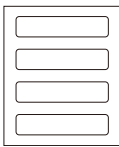
■ 付属品

パーツ	名称	用途
	テンプレートシート	ウォールプレートを取り付ける前に壁に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	ミニPC用プレート	ミニPCやスティックPCを取り付けるときに、ウォールプレートに取り付けます。
	ミニPC用ベルト	ネジ固定ができないミニPCやスティックPCを取り付けるときに、PCをプレートに固定するために使います。
	ケーブル結束用ベルト	配線後に余ったケーブルを束ねます。
	目隠しシール	設置後にセッティングプレートの隙間が気になるときに貼りつけます。
	セーフティーワイヤーセット	プロジェクターの落下を防ぐために、壁掛け金具とプロジェクターを繋ぎます。詳しい使い方はセーフティーワイヤーセットに付属の取扱説明書をご確認ください。
	六角レンチ (M4 用)	-
	スパナ (呼び13、M6 用)	-
	M4 x 12mm 六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (13本)	• p.5で示した図の通り、ウォールプレートを組み立てるために使います (5本) • 調整ユニットをプロジェクターに固定するために使います (4本) • 調整ユニットをセッティングプレートに固定するために使います (4本)

パーツ	名称	用途
	M6 x 20mm 六角段付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり (1本)	セッティングプレートウォールプレートに固定するために使います。
	M6 x 20mm 十字穴付き段付きネジ プラスチックワッシャーあり (3本)	
	M3 x 6mm 十字穴付きネジ (4本)	ミニPC用プレートをウォールプレートに固定するために使います。

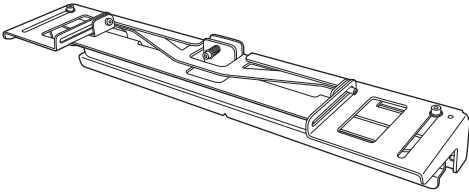
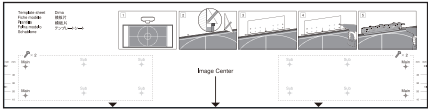
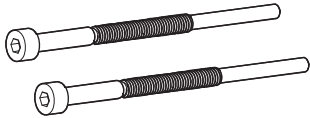
タッチユニット

パーツ	名称	用途
	タッチユニット本体	-
	テンプレートシート (タッチユニットネジ固定用)	タッチユニットをネジで固定する場合に事前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	タッチユニット接続ケーブル (約1.8m)	タッチユニットをプロジェクターに接続するために使います。
	マーカー2個	タッチユニットから照射されるレーザーの角度調整を行うときに使います。  お使いいただく中で指タッチ操作がうまく動かなくなった場合、レーザーの再調整を行うときにマーカーを再度使います。設置後も保管してください。
	マーカー固定用テープ (約6cm) 12枚	マーカーを投写面に固定するために使います。

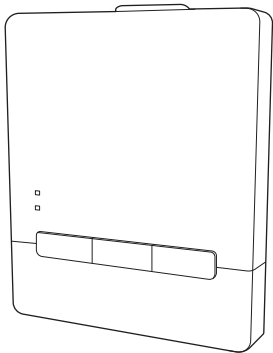
パーツ	名称	用途
	赤外線ディフレクター (約28.5cm) 12本	投写面の下部にトレイやフレームがあるときに使います。レーザーの反射による誤動作を防ぎます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	タッチユニットをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。
	目印ラベル4枚	タッチユニットをマグネットで固定したあとに貼りつけます。使用中に位置がずれて再設置するときの目印になります。

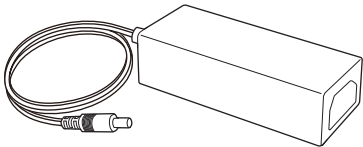
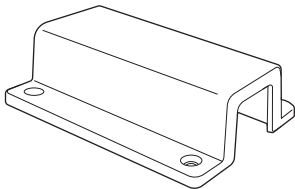
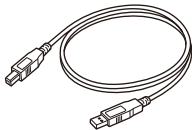
タッチユニット取り付け金具※オプション品

タッチユニットを投写面以外に取り付けるときに使います。

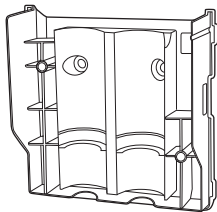
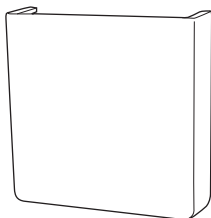
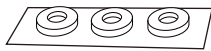
パーツ	名称	用途
	タッチユニット取り付け金具本体	-
	テンプレートシート（タッチユニット取り付け金具用）	取り付け金具を固定する前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。
	六角穴付きボルト M4 x 25mm 2本	取り付け金具にタッチユニットを固定するために使います。
	六角レンチ（M4 用）	-

コントロールパッド

パーツ	名称	用途
	コントロールパッド本体	-

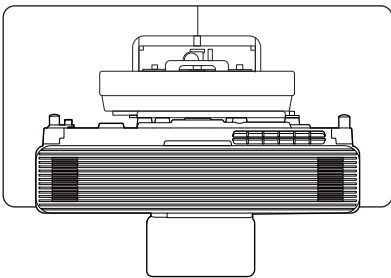
パーツ	名称	用途
	電源ケーブル (約3m)	コントロールパッドの給電に使います。
	ACアダプター	
	ACアダプターホルダー	ACアダプターを壁に固定するために使います。
	USBケーブル (約1.8m)	コントロールパッドとコンピューターを接続するために使います。

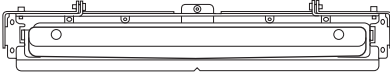
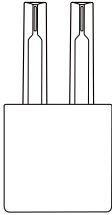
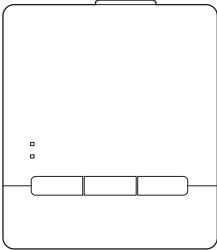
ペンスタンド

パーツ	名称	用途
	本体	-
	カバー	ペンスタンドの前面に取り付けます。
	ネジ穴用スペーサー 3個	ペンスタンドをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。

準備が必要なもの

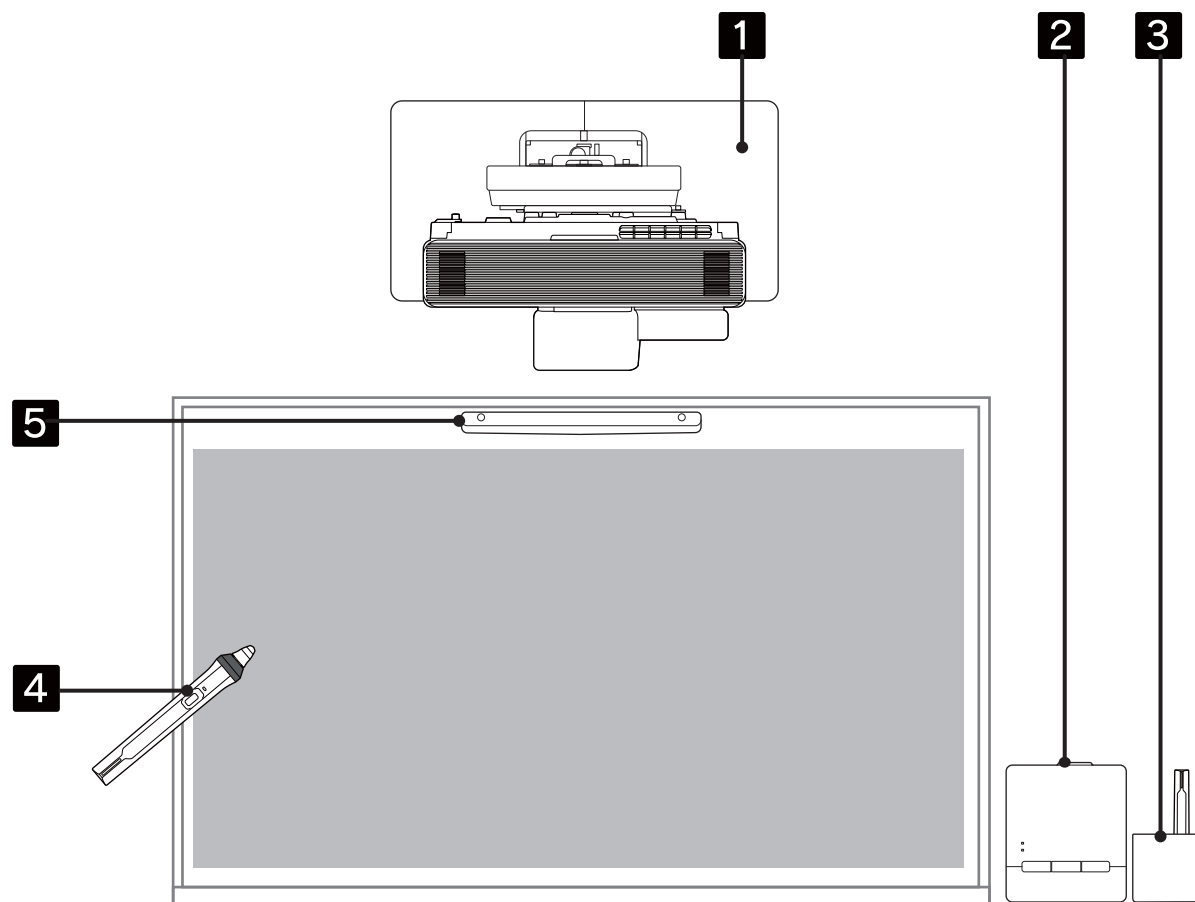
同梱品以外に、別途準備が必要なネジ類や工具は以下のとおりです。

対象パーツ	必要なもの
	壁掛け金具用 • M10 または3/8インチx 60mmアンカーボルト（ウォールプレート固定用：4本以上） • M10ネジ（ウォールプレート仮留め用：1本） • 17mm ラチェットレンチ（六角軸の調整用） • プロジェクターと接続するケーブル類 • ミニPC等の機器類

対象パーツ	必要なもの
	タッチユニット用 • M4ネジ（タッチユニット固定用：2本）
	タッチユニット取り付け金具用 • 金具固定用のアンカーボルトまたはネジ（取り付ける面の材質に応じて） • M4のアンカーボルト（4本） • 直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）
	ペンスタンド用 • M4 x 20mmネジ（2本）
	コントロールパッド用 • M4x 20mmネジ（コントロールパッド固定用：4本）

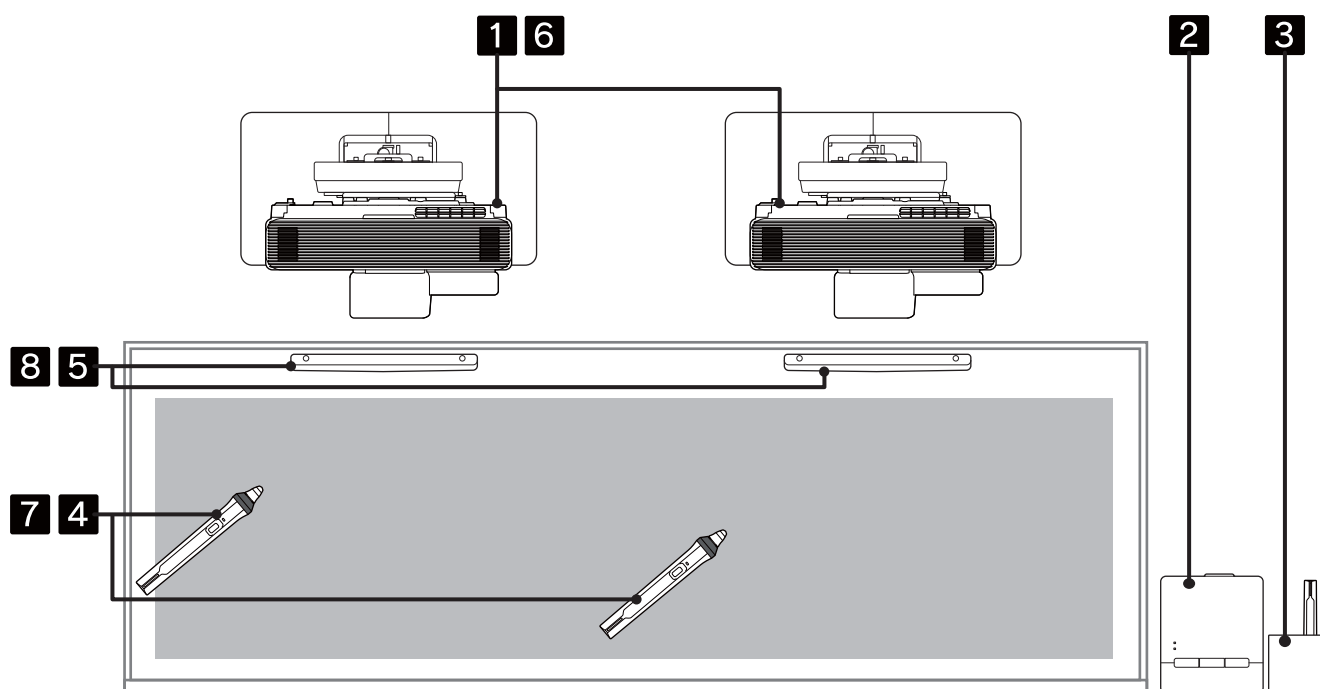
■ 設置の流れ

プロジェクターや周辺機器の取り付けは、下記の順番で行うことをお勧めします。



- 1 プロジェクターの壁掛けと調整 (☞ [p.19](#))
- 2 コントロールパッドの取り付け (☞ [p.76](#))
- 3 ペンスタンドの取り付け (☞ [p.83](#))
- 4 ペンの位置合わせ (☞ [p.88](#))
- 5 タッチユニットの取り付けと調整 (☞ [p.92](#))

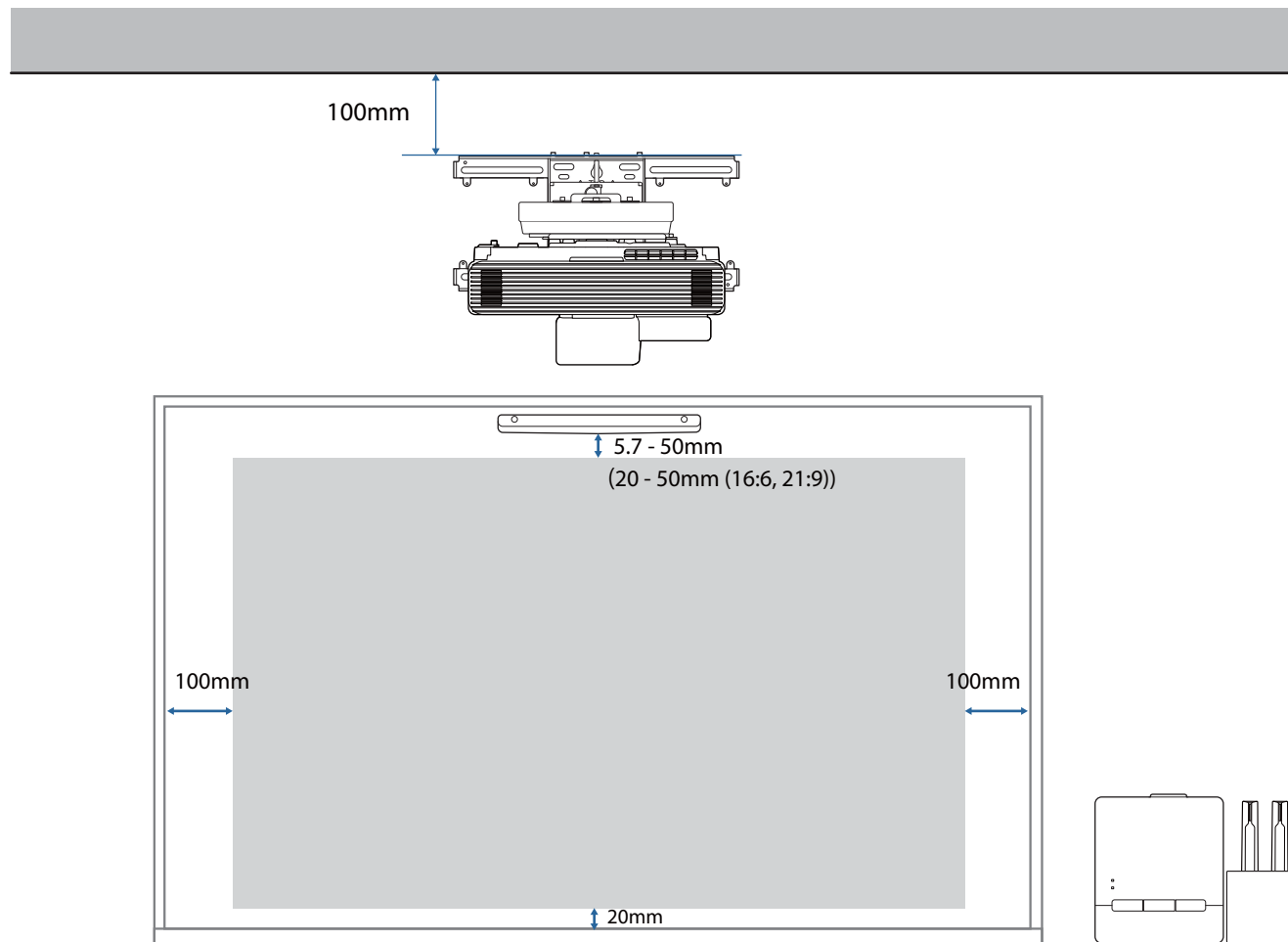
複数台の 프로젝ターを並べて設置するとき



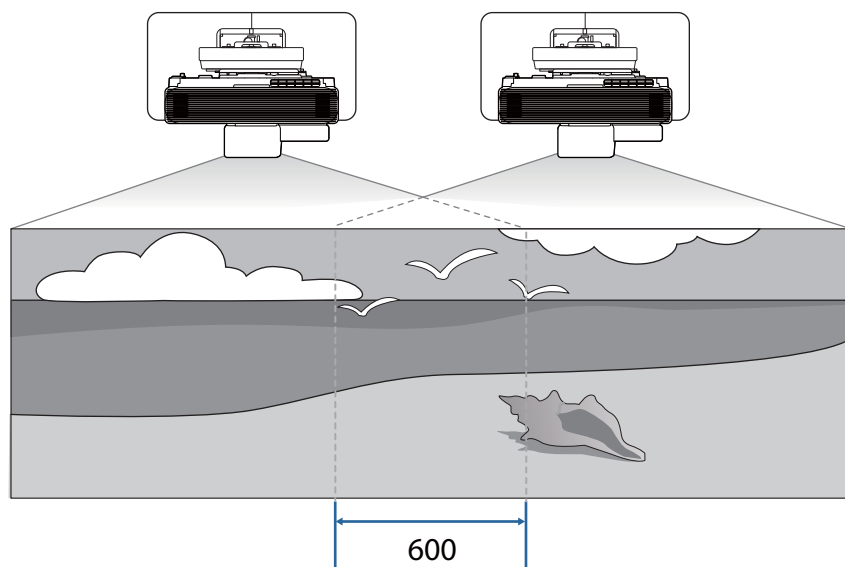
- 1 すべての 프로젝ターの壁掛け設置 (☞ [p.19](#))
- 2 컨트롤パッドの取り付け (☞ [p.76](#))
- 3 펜スタンドの取り付け (☞ [p.83](#))
- 4 인터ラクティブペンの位置合わせ (☞ [p.88](#))
- 5 터치ユニットの取り付けと調整 (☞ [p.92](#))
- 6 マルチ 프로젝션設定 (☞ [p.133](#))
- 7 인터ラクティブペンの位置合わせ (☞ [p.88](#))
- 8 指タッチ操作の位置合わせ (☞ [p.124](#))

■ 取り付け寸法図

- プロジェクターとタッチユニットを取り付ける際に必要なスペースは以下のとおりです。
- 天井からウォールプレート上端までの間を約100mm空けると、プロジェクターの設置や取り外し時に作業しやすくなります。
- タッチユニットを使用する場合は、投写画面の端からスクリーンの端までが下図のとおり空くようにプロジェクターを取り付けてください。



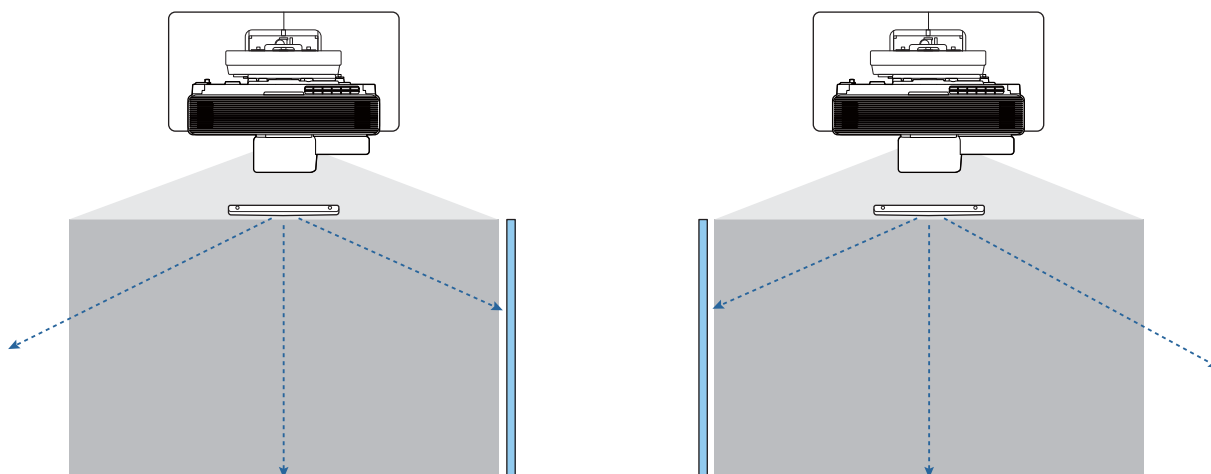
- 複数台のプロジェクターを並べて横長の画面を投写するときは、エッジブレンディング機能で映像のつなぎ目を目立たないようにします。アスペクト比3:1の画面を投写するときは、[エッジブレンディング]の[ブレンド範囲]を600に設定してください。
- タッチユニットを使用する場合は、タッチユニットとの間隔は50mmを目安として、上図の範囲で調整してください。



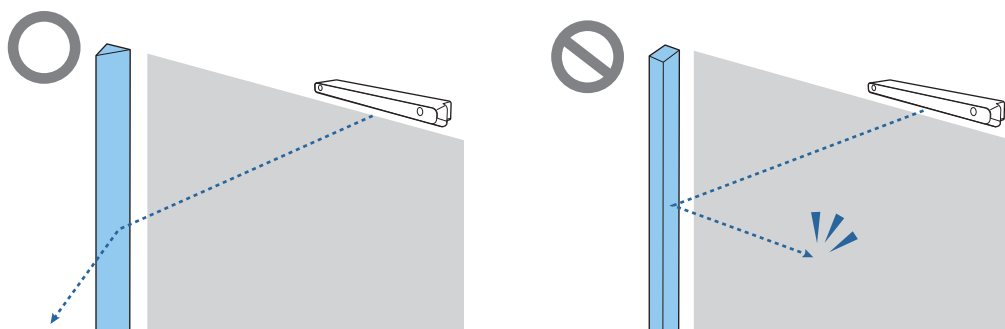
ブレンド範囲を600に設定できないときは、600以下に設定することもできます。
600より小さく設定すると、映像の左右に黒帯が出る可能性があります。

複数台のタッチユニットを近くに設置するときは

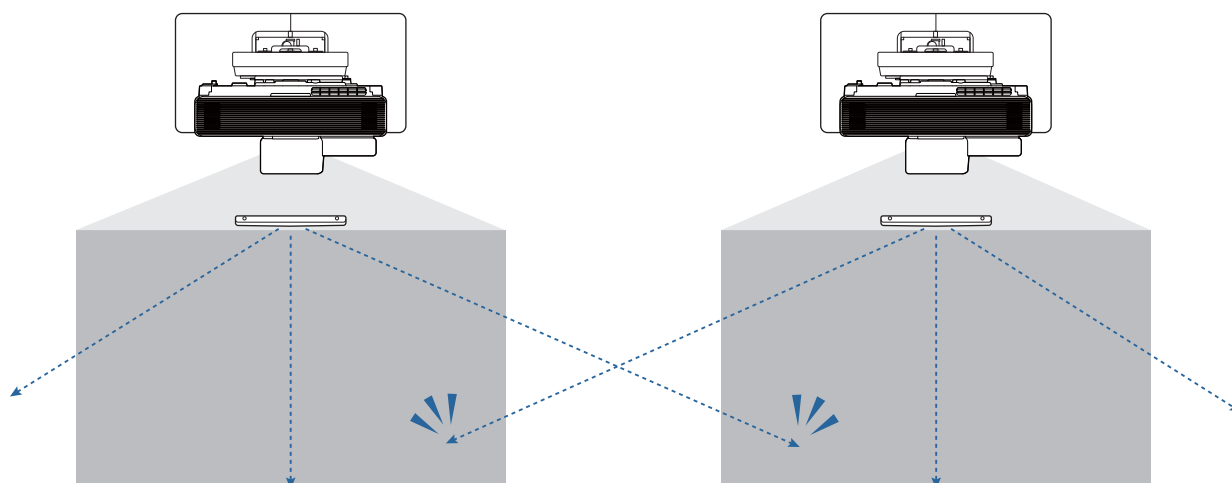
同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときは、隣の投写面にレーザーが届かないように、同梱の赤外線ディフレクターを仕切りとして取り付けることをお勧めします。



- 赤外線ディフレクター以外のものを仕切りとして使うときは、下図のように傾斜のついたものをご用意ください。



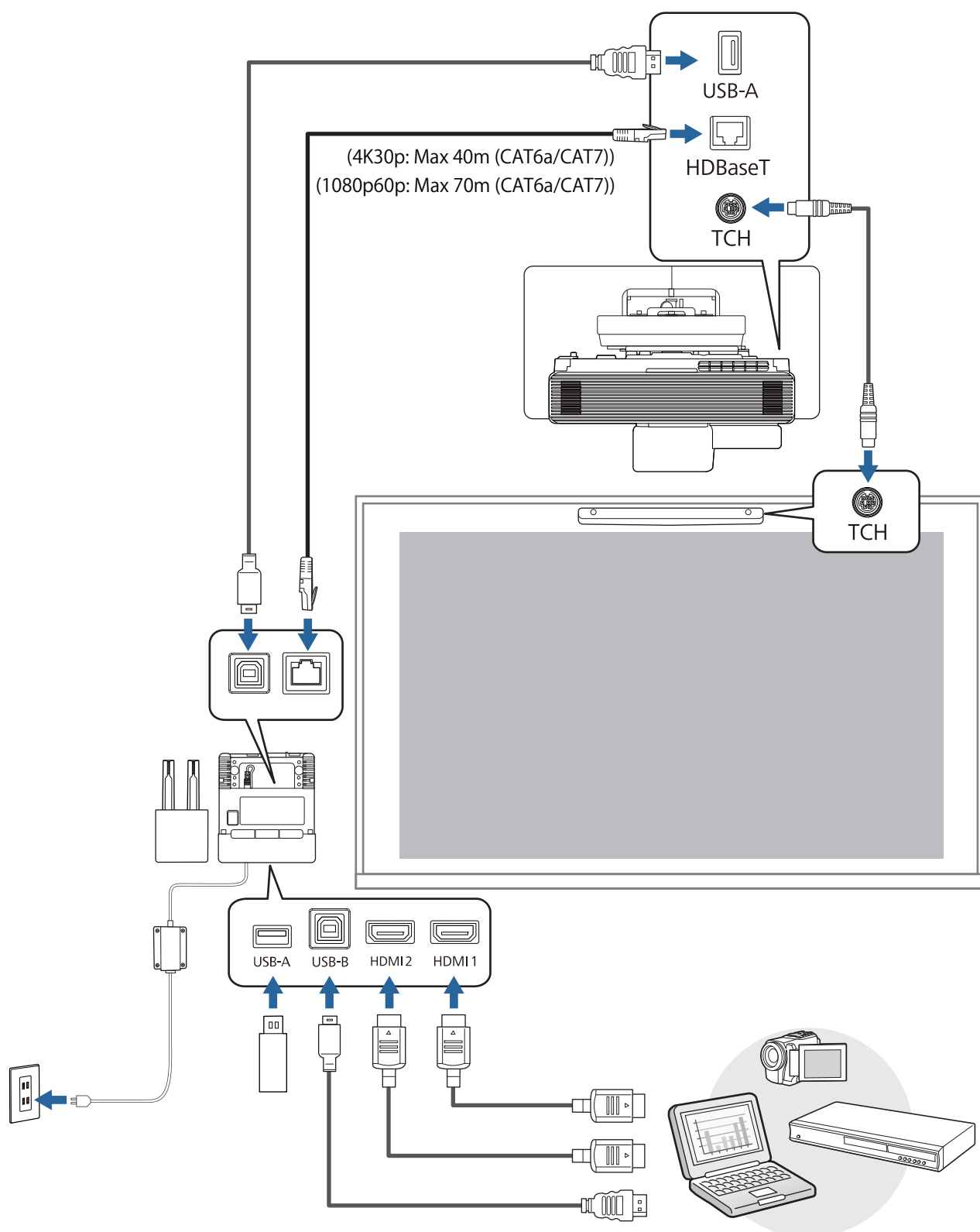
- 仕切りを取り付けない場合、タッチユニットのレーザーが隣の投写面に届き、指タッチ操作がうまくできないことがあります。



接続図

タッチユニットとコントロールパッドの接続

タッチユニットとコントロールパッドを使用するときに必要なケーブルは以下のとおりです。
プロジェクターとコントロールパッドを接続するためのLANケーブルとUSBケーブルは市販品をご用意ください。



複数台のプロジェクター同士の接続

複数のプロジェクターを並べて使うときに必要なケーブルは以下のとおりです。

他に必要なケーブルがある場合は、『取扱説明書』をご確認ください。

コントロールパッド(ELPHD02)を接続することも可能です。

■ インタラクティブ機能を使うとき

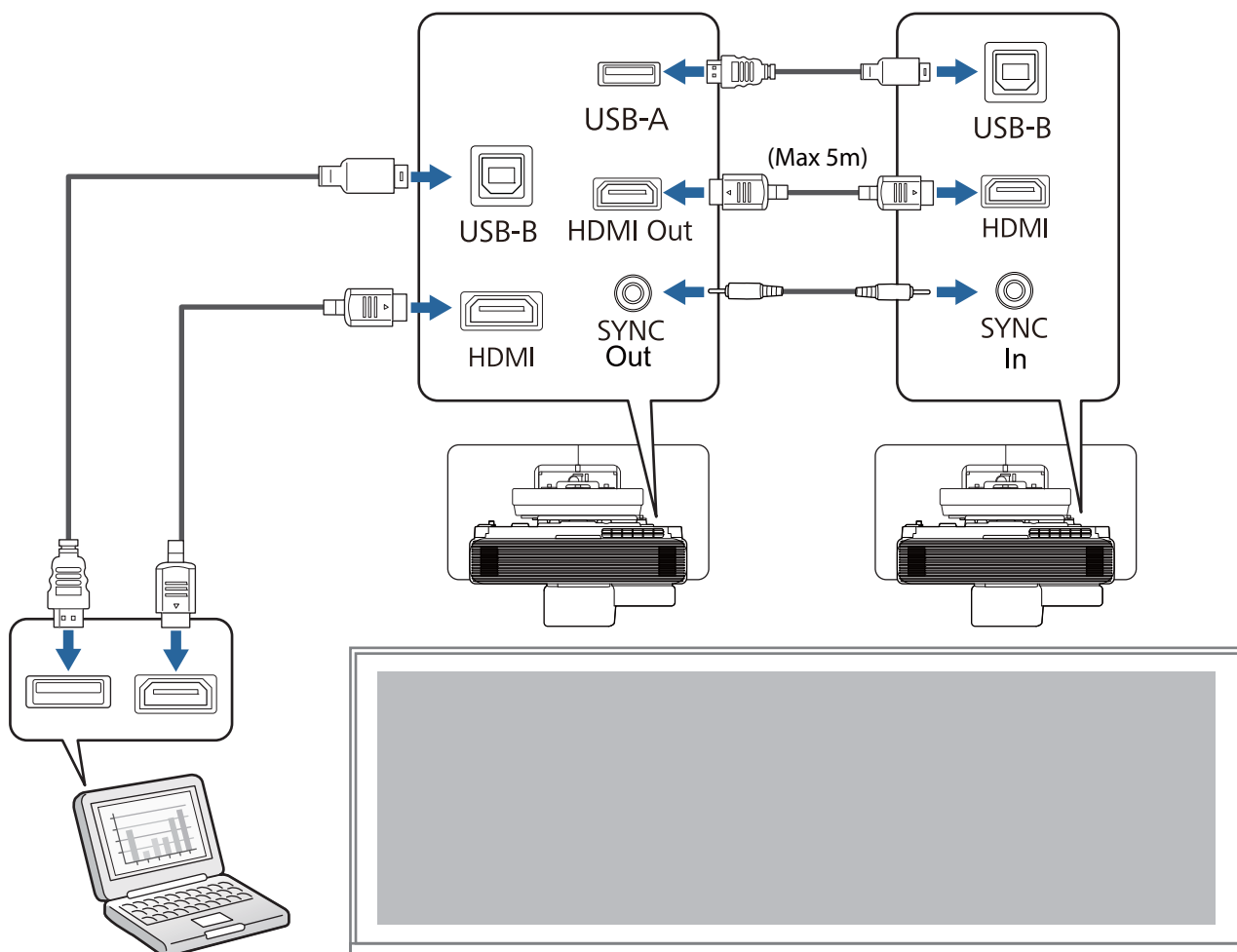
インタラクティブ機能を使う場合は、2台までのプロジェクターを並べて設置できます。



2台のプロジェクターを並べて設置しているときは、インタラクティブ機能のマウス操作のみを使用できます。

投写画面に描画するときは、描画アプリケーションソフトEasy Interactive Toolsをお使いください。以下のWebサイトからダウンロードできます。

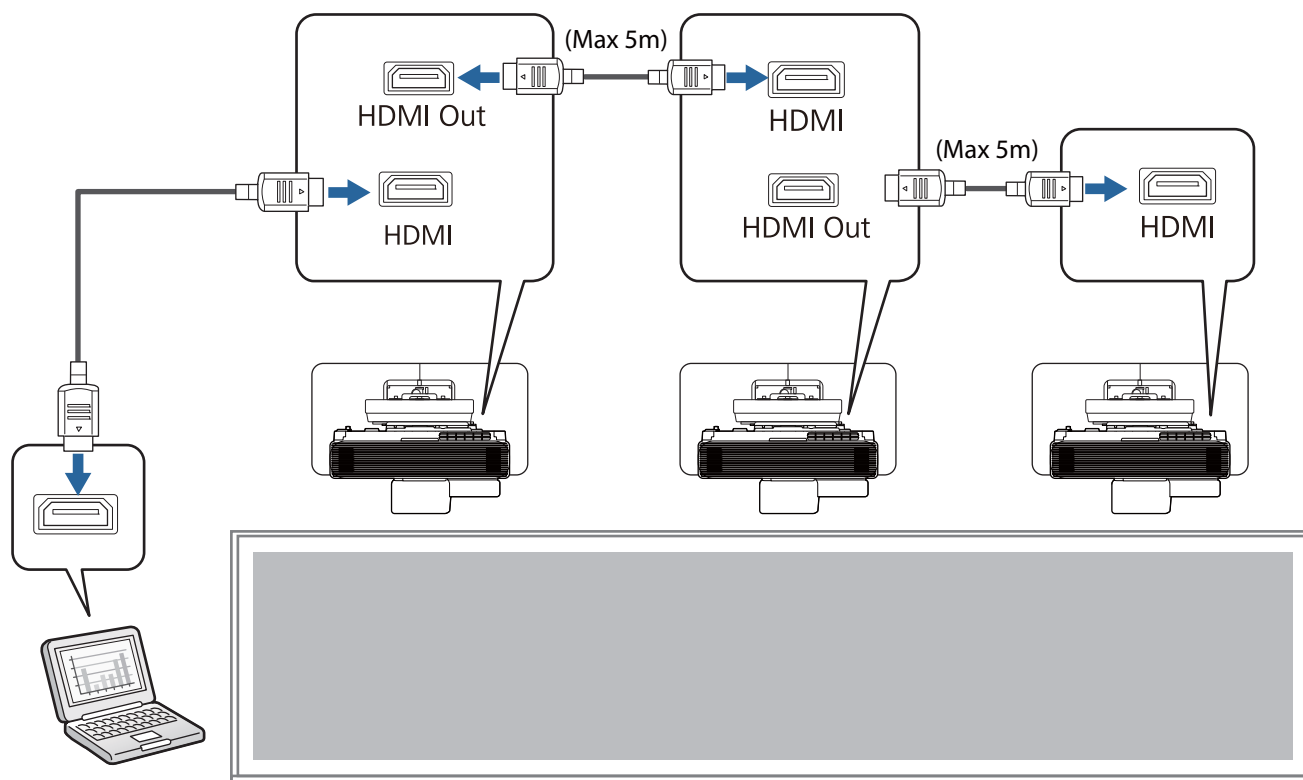
<http://epson.jp/lcp/doc/>



■ インタラクティブ機能を使わないとき

インタラクティブ機能を使わない場合は、2～4台までのプロジェクターを並べて設置できます。

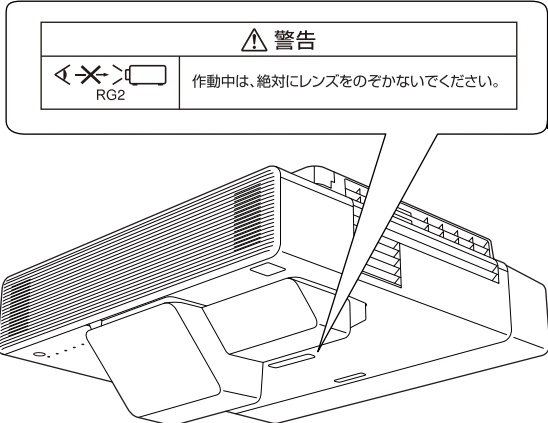
下図は3台を並べた場合の接続例です。



壁掛け金具の設置に関するご注意

 警告	
壁掛け金具はプロジェクターの壁掛け設置専用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。 本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。	
壁掛け設置工事は、本書で指定したボルトやネジを使用して、本書に記載の手順で行ってください。 記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。	
電源コードの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 - 破損や加工した電源コードを使用しない。 - 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。	
振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。 本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
壁に取り付ける際は、プロジェクターと壁掛け金具の質量および横揺れにも十分耐えられるように取り付けてください。ナット・ボルト等はM10または3/8インチx60mmを使用してください。 M10または3/8インチx60mmより小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。	
本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱ってください。 本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターと壁掛け金具を支えるために壁には十分な強度が必要です。 本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。 プロジェクターと壁掛け金具の最大総重量は、約19.1kgです（ケーブル類含まず）。 本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。	
定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。 破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	
本製品の分解・改造は絶対にしないでください。 内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。	
本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。 本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。	

 警告	
壁掛け金具の設置や調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。 プロジェクターの金具固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。	
調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。 十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。 また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。	
ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。 ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。	
プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写レンズをのぞかないでください。 強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写レンズをのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。	
プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写レンズにもものを置いたり、手を近づけたりしないでください。 投写光が集束するため高温になり危険です。	
可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。 プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。	
プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。 プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。	
本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。 そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。	

 警告	
本機の内部および外部にはレーザー警告ラベルが貼られています。 内部  外部 投写中は、投写レンズから放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠) 	
本機のケースを開けないでください。 内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。	
本機の光源を直接見ないでください。 強い光が視力障害などの原因となります。	
 注意	
ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。 故障の原因となります。	
レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。	
本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。 本製品が壊れてけがの原因となることがあります。	
本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。	
電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。	
本機を廃棄する場合は分解しないでください。 国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	

壁掛け金具の設置場所に関するご注意



警告

油煙やイベント用スモークが当たる場所に設置しないでください。

プロジェクターの金具固定部に油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。



注意

太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。



プロジェクターを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。

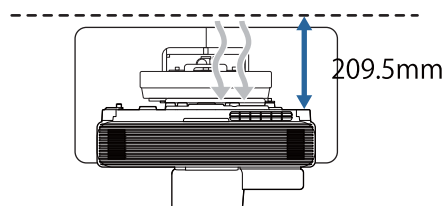
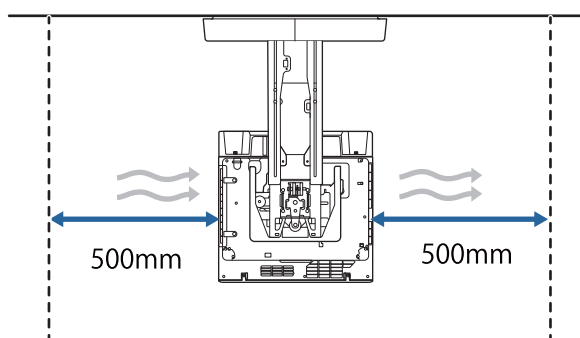


プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。



蛍光灯の種類によっては、リモコンやペンが誤動作することがあります。

プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから下図のとおり離してください。



2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。

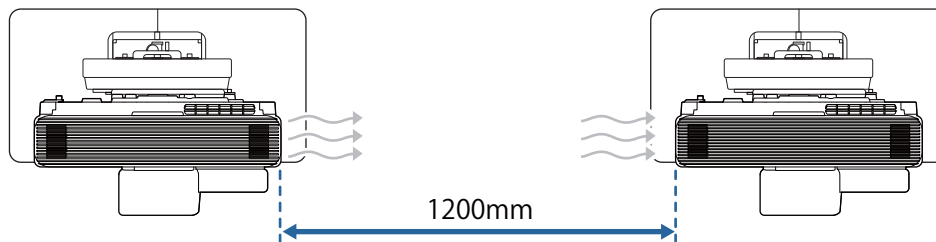


高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。



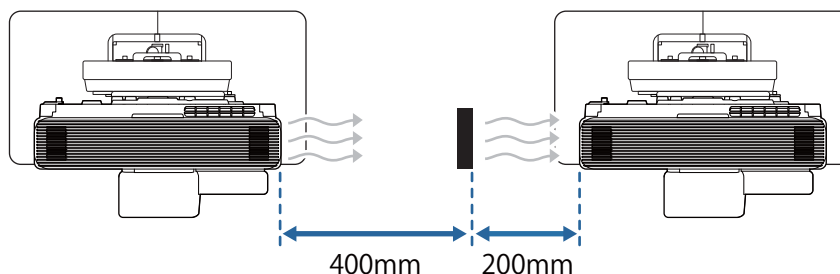
注意

2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、プロジェクター同士の間を約1200mm空けてください。



約1200mmのスペースを確保できない場合は、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。

仕切りは排気口よりも縦横それぞれ約20mm大きくし、排気口から約400mm、吸気口から約200mmの位置に取り付けます。



プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。

温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。

プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ+3度または-3度以内になるように設置してください。

インタラクティブ機能を使用するときは、手の届く範囲に投写されるように設置してください。

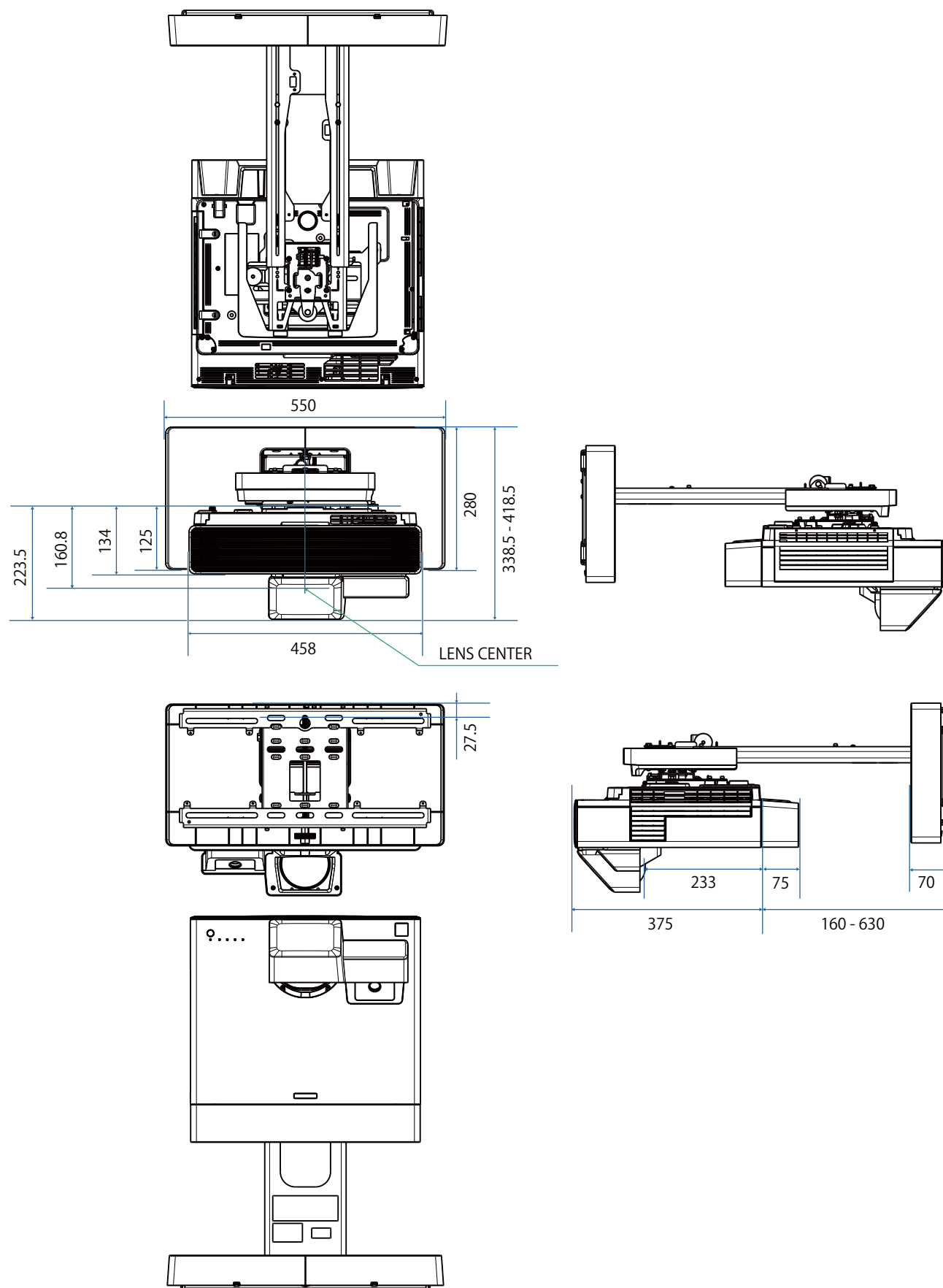
貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。

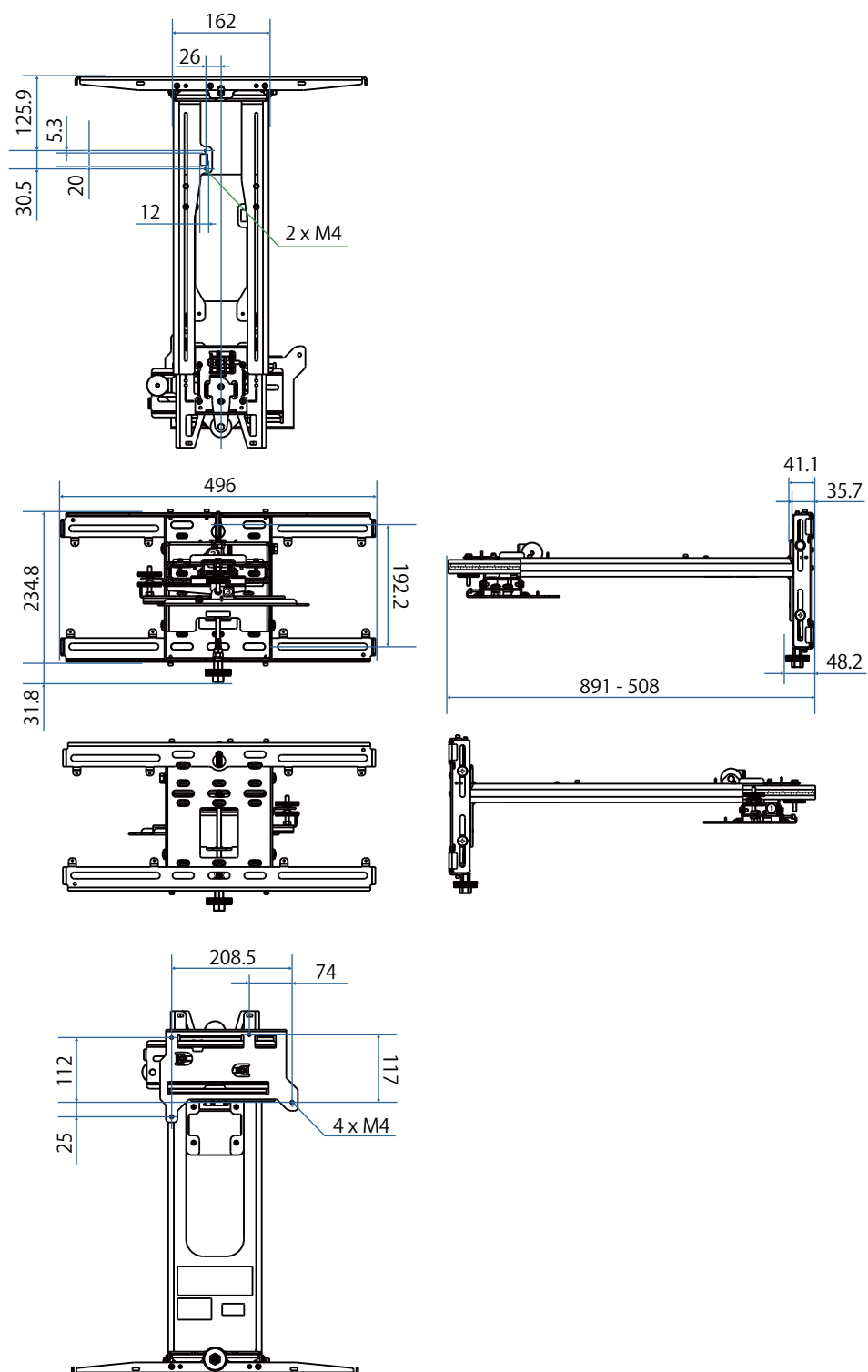


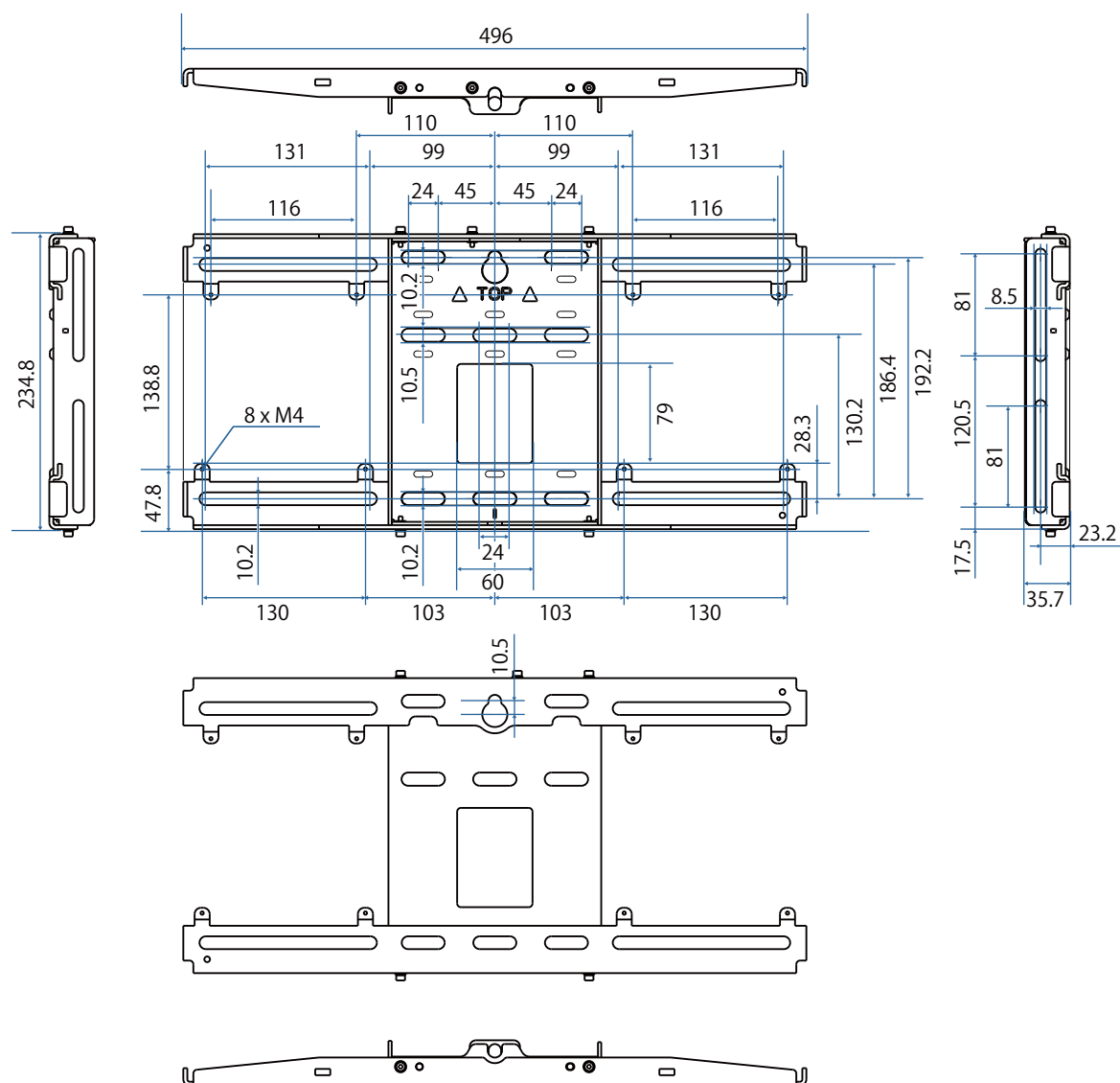
壁掛け金具仕様

項目	仕様
壁掛け金具質量（セッティングプレート、六角軸、調整ユニット、ウォールプレート、ウォールプレートカバー、エンドキャップ）	約9.2kg
最大荷重	約15.0kg

外形寸法

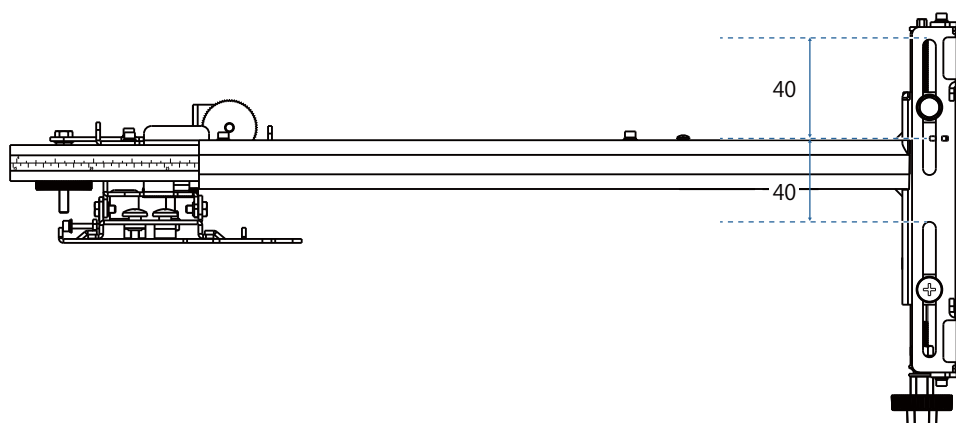




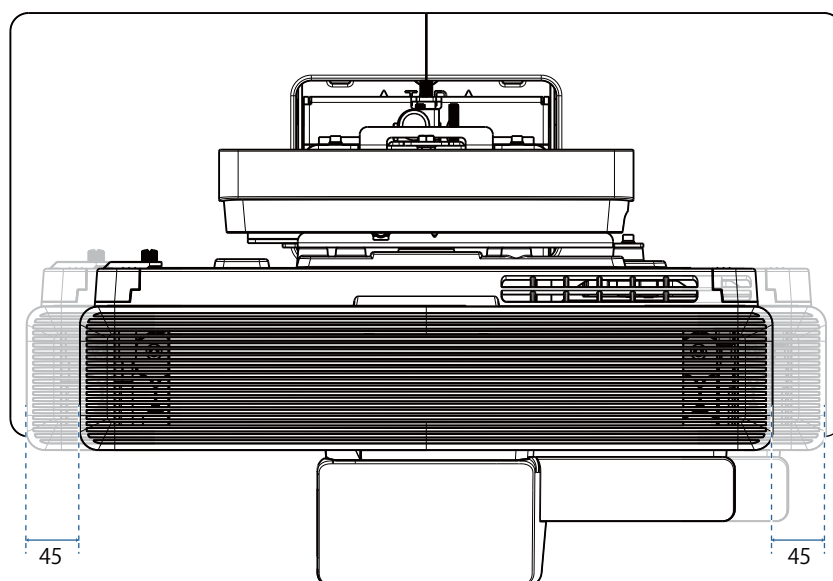


調整範囲

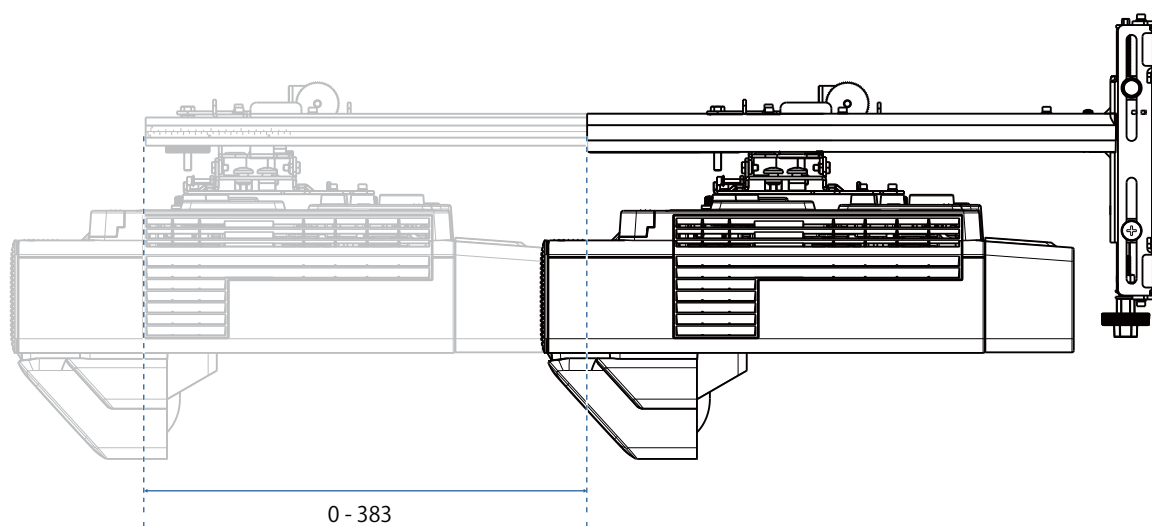
■ 上下スライド



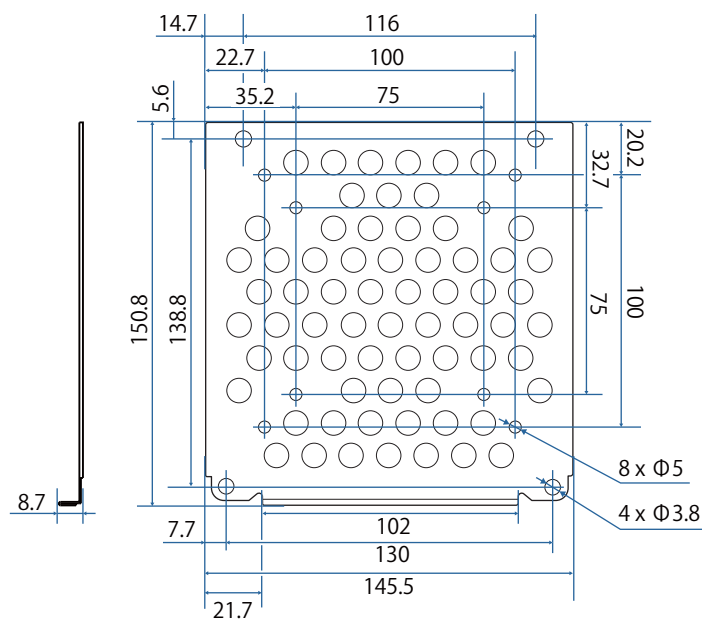
■ 水平スライド



■ 前後スライド



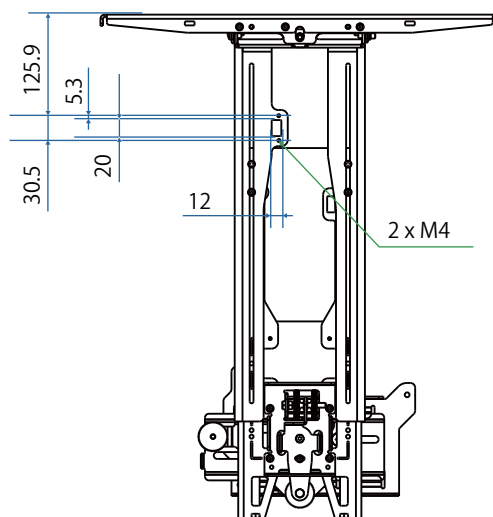
ミニPC取り付け用プレート



項目	仕様
PC取り付け用ネジ穴（VESA規格対応）	75mm x 75mm 100mm x 100mm
取り付け可能なPCサイズ	150mm x 150mm x 44mm以内
取り付け可能なPC重量	0.7kg以下

アクセサリ取り付け部

スイッチャーやチューナーを取り付けるときは、下図のネジ穴を使って固定してください。



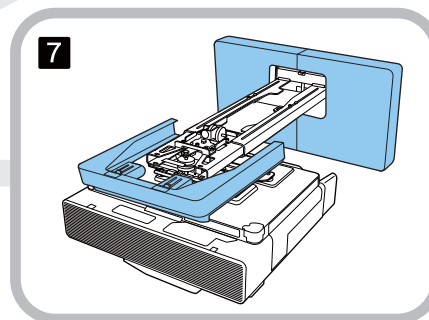
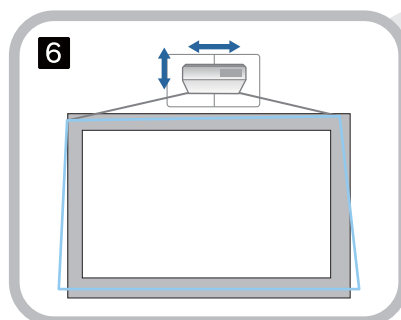
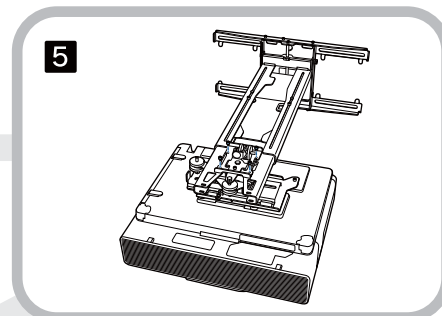
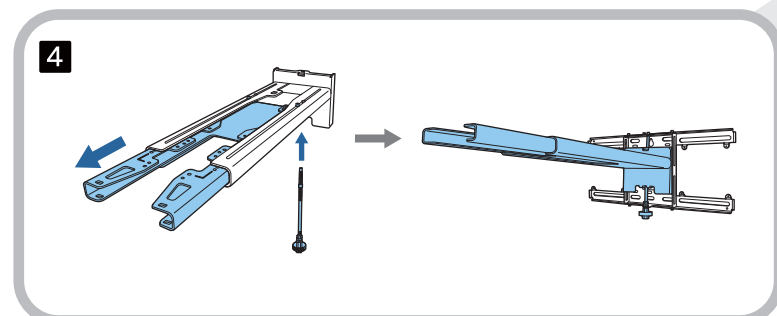
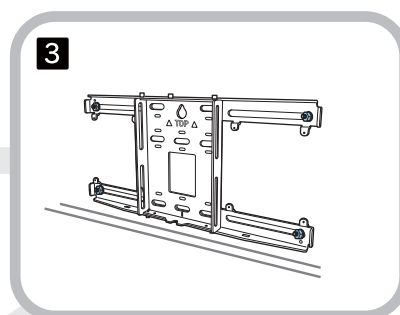
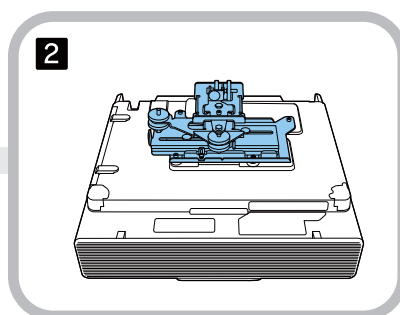
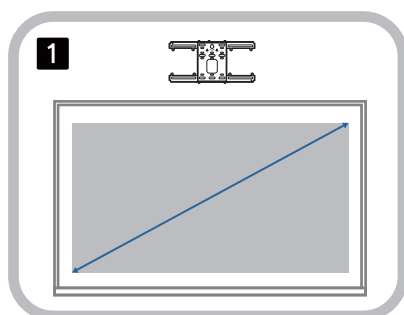
取り付ける前に、プロジェクターや接続ケーブルを含めた総重量が壁掛け金具の最大荷重に収まることを確認してください。（☛「壁掛け金具仕様」 [p.24](#)）

壁掛け金具取り付け手順

壁掛け金具は以下の流れで取り付けます。

ケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

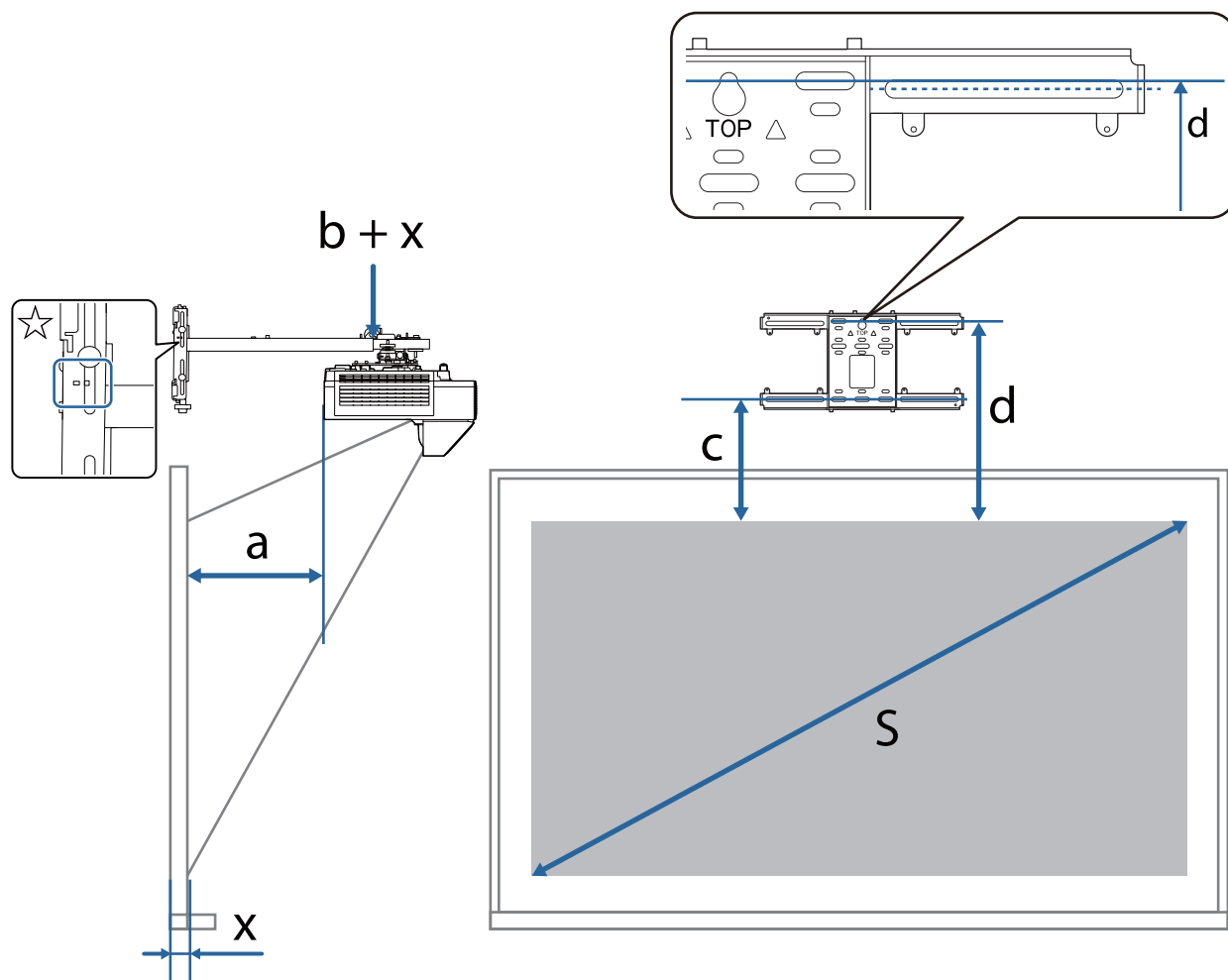
- 1 投写距離表を確認して設置位置を決める (☞ p.31)
- 2 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける (☞ p.43)
- 3 ウォールプレートを取り付ける (☞ p.45)
- 4 セッティングプレートのアームの長さを調整してから、ウォールプレートに取り付ける (☞ p.48)
- 5 セッティングプレートに調整ユニットを取り付けて、ケーブルや周辺機器を接続する (☞ p.52)
- 6 映像の位置を調整する (☞ p.56)
- 7 カバー類を取り付ける (☞ p.73)



金具の取り付け

■ 設置位置を決める（投写距離表）

投写したい画面サイズ（S）に合わせて、ウォールプレートの設置位置を決めます。下図を参考に、a～dまでの数値を確認してください。セッティングプレートがウォールプレートの中央にあるとき（下図 ☆ 参照）の値です。



a: 投写距離最短（ワイド）

b + x: セッティングプレートのアームスライド目盛りの数値（最大533mm）

x: ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み
（タッチユニット取り付け金具を使用する場合は15 - 50mm（[p.93](#)））

c: 映像上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下側）までの距離

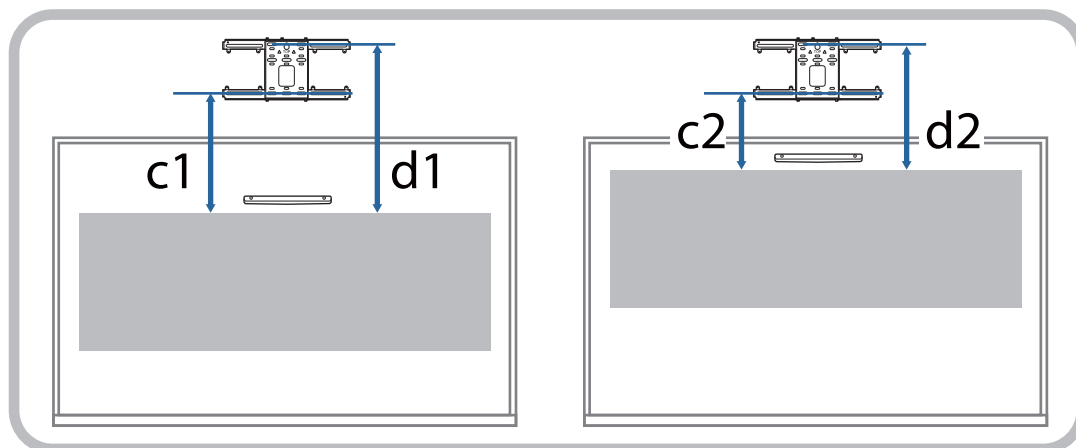
d: 映像上端からウォールプレート仮留め用ネジ穴までの距離

S: 投写する画面サイズ

16:6または21:9のアスペクト比で投写する場合のcとdの値は下記を参照してください。

16:6または21:9のアスペクト比でインタラクティブ機能を使うときは、[スクリーン位置] を中央より上に設定します。

- c1/d1 : [スクリーン位置] が中央のとき
- c2/d2 : [スクリーン位置] が上端のとき



16 : 9投写画面

[単位 : mm]

S		a	b	c	d
65型	1439 × 809	158	148	201	393
66型	1461 × 822	164	154	202	394
67型	1483 × 834	171	161	204	396
68型	1505 × 847	177	167	206	398
69型	1528 × 859	183	173	207	399
70型	1550 × 872	190	180	209	401
71型	1572 × 884	196	186	210	402
72型	1594 × 897	202	192	212	404
73型	1616 × 909	209	199	214	406
74型	1638 × 921	215	205	215	407
75型	1660 × 934	221	211	217	409
76型	1682 × 946	228	218	219	411
77型	1705 × 959	234	224	220	412
78型	1727 × 971	240	230	222	414
79型	1749 × 984	247	237	223	415

S		a	b	c	d
80型	1771 × 996	253	156	225	417
81型	1793 × 1009	259	162	227	419
82型	1815 × 1021	266	169	228	420
83型	1837 × 1034	272	175	230	422
84型	1860 × 1046	278	181	232	424
85型	1882 × 1058	285	188	233	425
86型	1904 × 1071	291	194	235	427
87型	1926 × 1083	297	200	236	428
88型	1948 × 1096	304	207	238	430
89型	1970 × 1108	310	213	240	432
90型	1992 × 1121	316	219	241	433
91型	2015 × 1133	323	226	243	435
92型	2037 × 1146	329	232	245	437
93型	2059 × 1158	335	238	246	438
94型	2081 × 1171	342	245	248	440
95型	2103 × 1183	348	251	249	441
96型	2125 × 1195	354	257	251	443
97型	2147 × 1208	361	264	253	445
98型	2170 × 1220	367	270	254	446
99型	2192 × 1233	373	276	256	448
100型	2214 × 1245	380	283	257	449

16:10投写画面

[単位：mm]

S		a	b	c	d
60型	1292 × 808	157	147	201	393
61型	1314 × 821	164	154	202	394
62型	1335 × 835	171	161	204	396
63型	1357 × 848	178	168	206	398
64型	1379 × 862	185	175	208	400
65型	1400 × 875	191	181	209	401
66型	1422 × 888	198	188	211	403
67型	1443 × 902	205	195	213	405
68型	1465 × 915	212	202	215	407
69型	1486 × 929	219	209	216	408
70型	1508 × 942	226	216	218	410
71型	1529 × 956	232	222	220	412
72型	1551 × 969	239	229	222	414
73型	1572 × 983	246	236	223	415
74型	1594 × 996	253	243	225	417
75型	1615 × 1010	260	250	227	419
76型	1637 × 1023	267	257	229	421
77型	1659 × 1037	274	264	230	422
78型	1680 × 1050	280	270	232	424
79型	1702 × 1063	287	277	234	426

S		a	b	c	d
80型	1723 × 1077	294	197	236	428
81型	1745 × 1090	301	204	237	429
82型	1766 × 1104	308	211	239	431
83型	1788 × 1117	315	218	241	433
84型	1809 × 1131	321	224	243	435
85型	1831 × 1144	328	231	244	436
86型	1852 × 1158	335	238	246	438
87型	1874 × 1171	342	245	248	440
88型	1895 × 1185	349	252	250	442
89型	1917 × 1198	356	259	251	443
90型	1939 × 1212	363	266	253	445
91型	1960 × 1225	369	272	255	447
92型	1982 × 1239	376	279	257	449
93型	2003 × 1252	383	286	258	450
94型	2025 × 1265	390	293	260	452
95型	2046 × 1279	397	300	262	454
96型	2068 × 1292	404	307	264	456
97型	2089 × 1306	410	313	265	457
98型	2111 × 1319	417	320	267	459
99型	2132 × 1333	424	327	269	461
100型	2154 × 1346	431	334	271	463

4：3投写画面

[単位：mm]

	S	a	b	c	d
53型	1077 × 808	157	147	201	393
54型	1097 × 823	165	155	202	394
55型	1118 × 838	173	163	204	396
56型	1138 × 853	180	170	206	398
57型	1158 × 869	188	178	208	400
58型	1179 × 884	196	186	210	402
59型	1199 × 899	204	194	212	404
60型	1219 × 914	211	201	214	406
61型	1240 × 930	219	209	216	408
62型	1260 × 945	227	217	218	410
63型	1280 × 960	235	225	220	412
64型	1300 × 975	242	232	222	414
65型	1321 × 991	250	240	224	416
66型	1341 × 1006	258	248	226	418
67型	1361 × 1021	266	256	228	420
68型	1382 × 1036	273	263	230	422
69型	1402 × 1052	281	271	232	424
70型	1422 × 1067	289	279	234	426
71型	1443 × 1082	297	287	236	428
72型	1463 × 1097	304	294	238	430
73型	1483 × 1113	312	302	240	432
74型	1504 × 1128	320	310	242	434
75型	1524 × 1143	328	318	244	436
76型	1544 × 1158	335	325	246	438
77型	1565 × 1173	343	333	248	440
78型	1585 × 1189	351	341	250	442
79型	1605 × 1204	359	349	252	444
80型	1626 × 1219	366	269	254	446

S		a	b	c	d
81型	1646 × 1234	374	277	256	448
82型	1666 × 1250	382	285	258	450
83型	1687 × 1265	390	293	260	452
84型	1707 × 1280	397	300	262	454
85型	1727 × 1295	405	308	264	456
86型	1748 × 1311	413	316	266	458
87型	1768 × 1326	421	324	268	460
88型	1788 × 1341	428	331	270	462
89型	1808 × 1356	436	339	272	464
90型	1829 × 1372	444	347	274	466
91型	1849 × 1387	452	355	276	468
92型	1869 × 1402	459	362	278	470
93型	1890 × 1417	467	370	280	472
94型	1910 × 1433	475	378	282	474
95型	1930 × 1448	483	386	284	476
96型	1951 × 1463	490	393	286	478
97型	1971 × 1478	498	401	288	480
98型	1991 × 1494	506	409	290	482
99型	2012 × 1509	514	417	292	484
100型	2032 × 1524	521	424	294	486

16:6投写画面

[単位：mm]

S		a	b	c1	d1	c2	d2
61型	1451 × 544	161	151	338	530	202	394
62型	1475 × 553	168	158	342	534	204	396
63型	1498 × 562	175	165	346	538	206	398
64型	1522 × 571	182	172	350	542	207	399
65型	1546 × 580	189	179	353	545	208	400
66型	1570 × 589	195	185	357	549	210	402
67型	1593 × 598	202	192	361	553	212	404
68型	1617 × 606	209	199	365	557	214	406
69型	1641 × 615	216	206	369	561	215	407
70型	1665 × 624	223	213	373	565	217	409
71型	1689 × 633	229	219	377	569	219	411
72型	1712 × 642	236	226	381	573	221	413
73型	1736 × 651	243	233	385	577	222	414
74型	1760 × 660	250	240	389	581	224	416
75型	1784 × 669	257	247	393	585	226	418
76型	1807 × 678	263	253	397	589	228	420
77型	1831 × 687	270	260	401	593	229	421
78型	1855 × 696	277	267	405	597	231	423
79型	1879 × 705	284	274	409	601	233	425

S		a	b	c1	d1	c2	d2
80型	1903 × 713	291	194	413	605	235	427
81型	1926 × 722	297	200	417	609	237	429
82型	1950 × 731	304	207	421	613	238	430
83型	1974 × 740	311	214	425	617	240	432
84型	1998 × 749	318	221	429	621	242	434
85型	2022 × 758	325	228	433	625	244	436
86型	2045 × 767	331	234	437	629	245	437
87型	2069 × 776	338	241	441	633	247	439
88型	2093 × 785	345	248	445	637	249	441
89型	2117 × 794	352	255	449	641	251	443
90型	2140 × 803	359	262	453	645	252	444
91型	2164 × 812	365	268	457	649	254	446
92型	2188 × 821	372	275	461	653	256	448
93型	2212 × 829	379	282	465	657	258	450
94型	2236 × 838	386	289	469	661	260	452
95型	2259 × 847	393	296	473	665	261	453
96型	2283 × 856	400	303	477	669	263	455
97型	2307 × 865	406	309	481	673	265	457
98型	2331 × 874	413	316	485	677	267	459
99型	2354 × 883	420	323	489	681	268	460

S		a	b	c1	d1	c2	d2
100型	2378 × 892	427	330	492	684	269	461
101型	2402 × 901	434	337	496	688	271	463
102型	2426 × 910	440	343	500	692	273	465
103型	2450 × 919	447	350	504	696	274	466
104型	2473 × 928	454	357	508	700	276	468
105型	2497 × 936	461	364	512	704	278	470
106型	2521 × 945	468	371	516	708	280	472
107型	2545 × 954	474	377	520	712	282	474
108型	2569 × 963	481	384	524	716	283	475
109型	2592 × 972	488	391	528	720	285	477
110型	2616 × 981	495	398	532	724	287	479
111型	2640 × 990	502	405	536	728	289	481
112型	2664 × 999	508	411	540	732	290	482
113型	2687 × 1008	515	418	544	736	292	484
114型	2711 × 1017	522	425	548	740	294	486
115型	2735 × 1026	529	432	552	744	296	488
116型	2759 × 1035	536	439	556	748	297	489
117型	2783 × 1043	542	445	560	752	299	491
118型	2806 × 1052	549	452	564	756	301	493
119型	2830 × 1061	556	459	568	760	303	495
120型	2854 × 1070	563	466	572	764	305	497

21 : 9投写画面

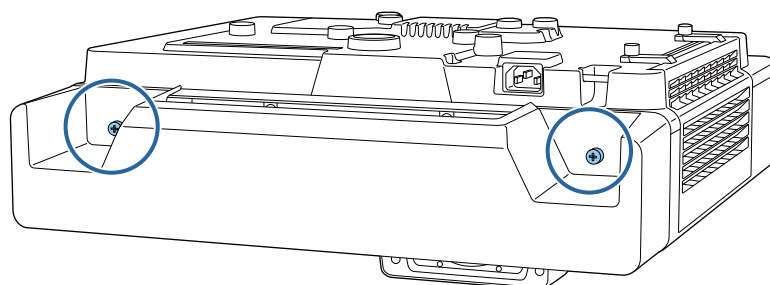
[単位 : mm]

S		a	b	c1	d1	c2	d2
62型	1447 × 620	160	150	298	490.2	201	393
63型	1471 × 630	167	157	302	494.2	204	396
64型	1494 × 640	174	164	305	497.2	205	397
65型	1518 × 650	181	171	308	500	206	398
66型	1541 × 660	187	177	311	503	208	400
67型	1564 × 670	194	184	315	507	210	402
68型	1588 × 680	201	191	318	510	212	404
69型	1611 × 690	207	197	321	513	213	405
70型	1634 × 700	214	204	324	516	215	407
71型	1658 × 710	221	211	328	520	217	409
72型	1681 × 720	227	217	331	523	219	411
73型	1704 × 730	234	224	334	526	220	412
74型	1728 × 740	241	231	338	530	222	414
75型	1751 × 750	247	237	341	533	224	416
76型	1774 × 760	254	244	344	536	225	417
77型	1798 × 770	261	251	347	539	227	419
78型	1821 × 780	267	257	351	543	229	421
79型	1844 × 790	274	264	354	546	231	423

S		a	b	c1	d1	c2	d2
80型	1868 × 800	281	184	357	549	232	424
81型	1891 × 810	287	190	360	552	233	425
82型	1914 × 820	294	197	364	556	236	428
83型	1938 × 830	301	204	367	559	237	429
84型	1961 × 840	307	210	370	562	239	431
85型	1984 × 850	314	217	374	566	241	433
86型	2008 × 860	321	224	377	569	243	435
87型	2031 × 870	327	230	380	572	244	436
88型	2054 × 880	334	237	383	575	246	438
89型	2078 × 890	341	244	387	579	248	440
90型	2101 × 900	347	250	390	582	249	441
91型	2125 × 911	354	257	393	585	251	443
92型	2148 × 921	361	264	396	588	252	444
93型	2171 × 931	367	270	400	592	255	447
94型	2195 × 941	374	277	403	595	256	448
95型	2218 × 951	381	284	406	598	257	449
96型	2241 × 961	388	291	410	602	260	452
97型	2265 × 971	394	297	413	605	261	453
98型	2288 × 981	401	304	416	608	263	455
99型	2311 × 991	408	311	419	611	264	456
100型	2335 × 1001	414	317	423	615	267	459

■ 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける

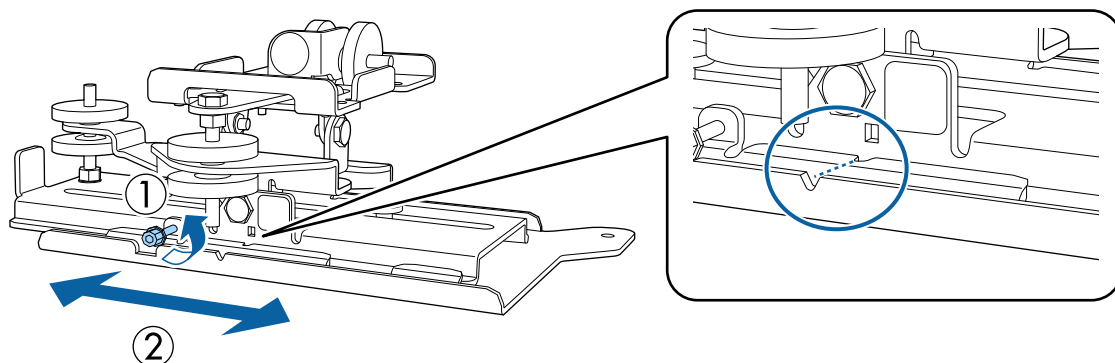
- 1 ネジ（2本）を緩め、プロジェクターからケーブルカバーを取り外す



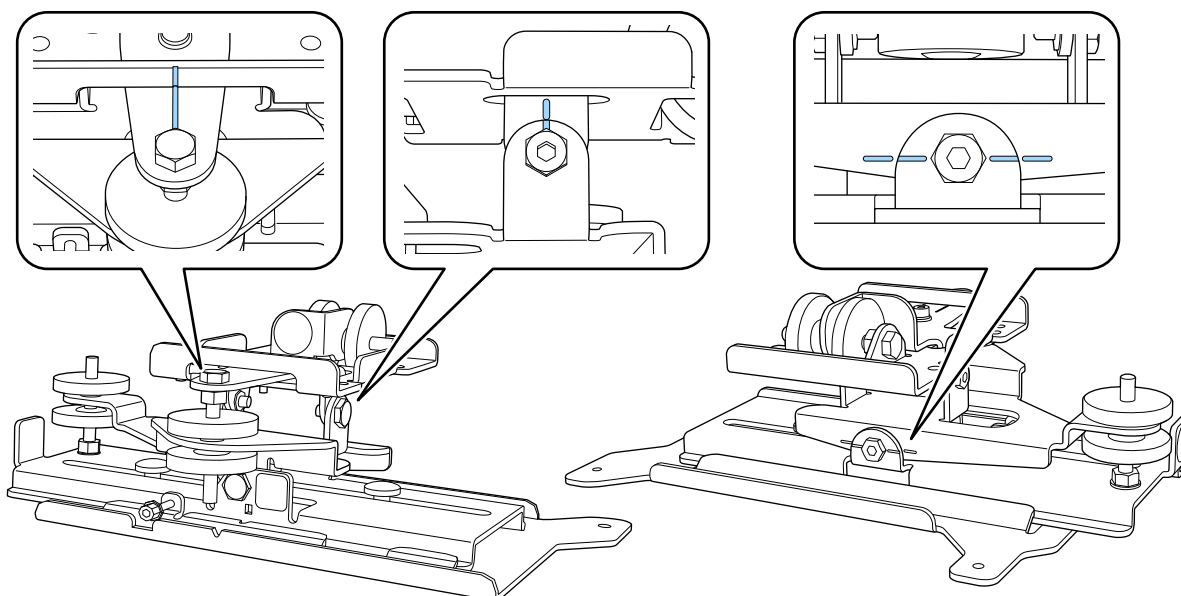
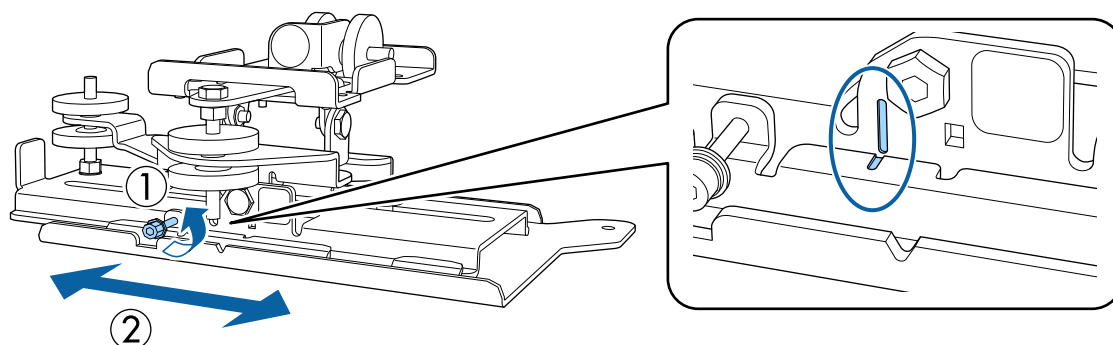
2

調整ユニットのM4ボルトを緩めてから、各パーツの目印の位置を合わせる
位置が合ったらM4ボルトを締め直します。

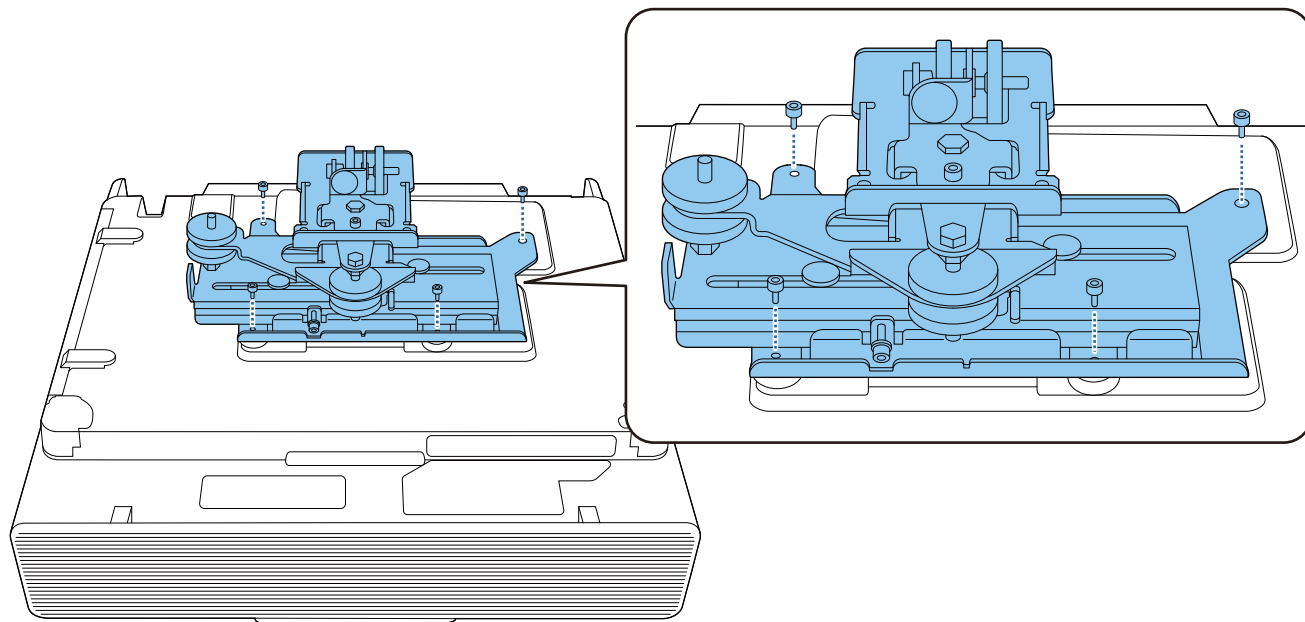
- 調整ユニットに刻印がないモデル



- 調整ユニットに刻印があるモデル
刻印の中心が合うように調整します。



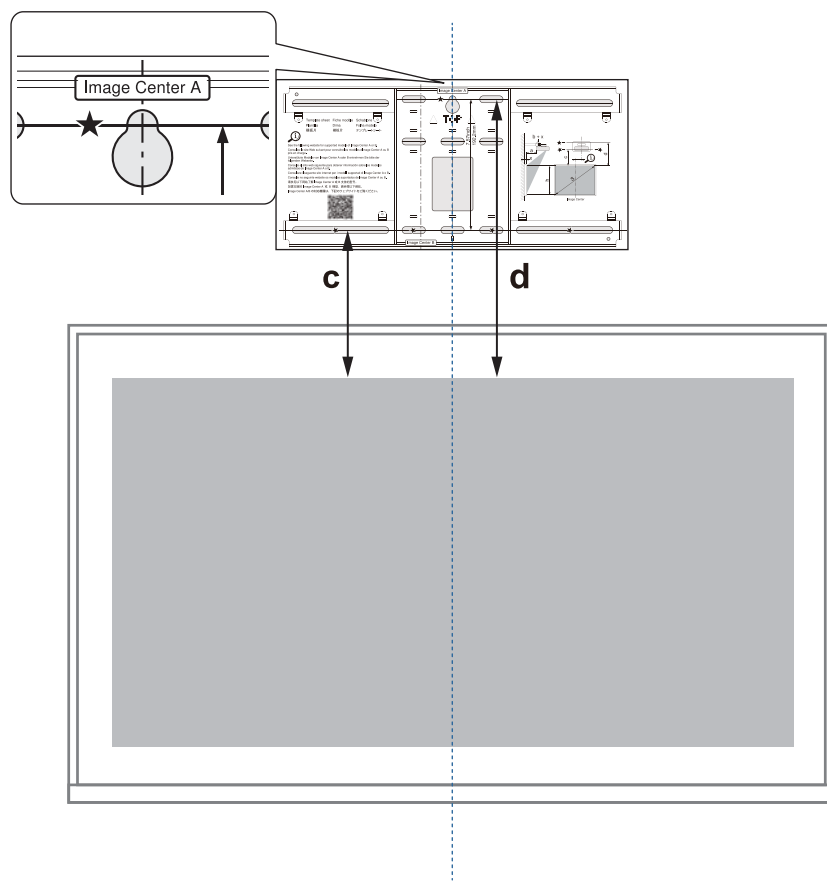
- 3** 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをプロジェクターの底面に固定する



■ ウォールプレートを壁に取り付ける

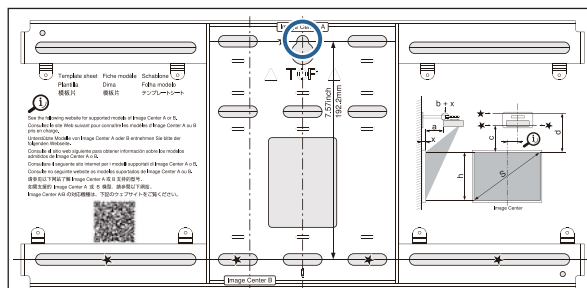
- 1** テンプレートシートを壁に貼る

投写距離表（[p.31](#)）で確認した設置位置に合わせて、テンプレートシートを貼りつけます。投写する画面の中心位置を、テンプレートシートのImage Center Aに合わせてください。



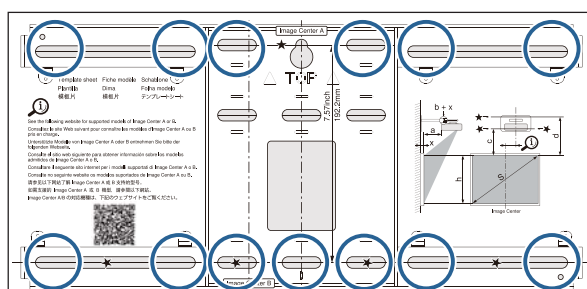
2

ウォールプレートの仮留め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ
壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。



3

ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める
下図のネジ穴の中から、バランスがとれる4箇所以上を固定してください。



4

ドリルで壁に穴をあける

ドリル径：10.5mm (M10)または10mm
(3/8インチ)

下穴深さ：45mm

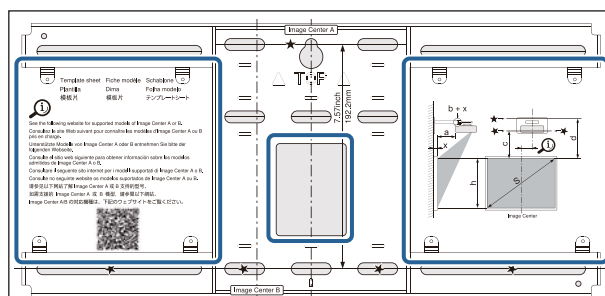
埋込深さ：40mm

10.5mm (M10)
or
10mm (3/8 inch)

45mm



プロジェクターに配線するケーブルを壁の中に通すときは、下図で示す範囲内に穴をあけて、ケーブル配線穴として使用できます。



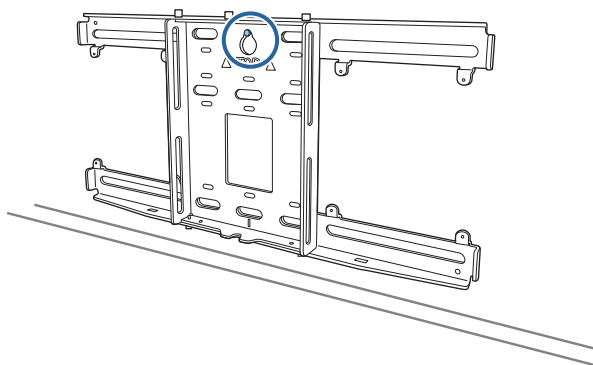
ミニPC・スティックPCを取り付ける場合は、ケーブル配線穴をあける前にミニPC用プレートを固定する位置をご確認ください。(p.53)

5

テンプレートシートを取り外す

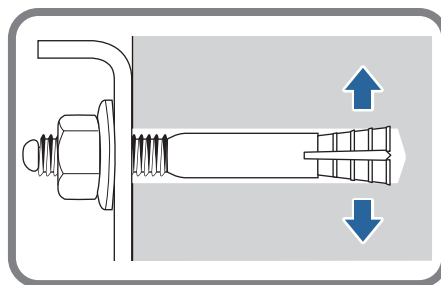
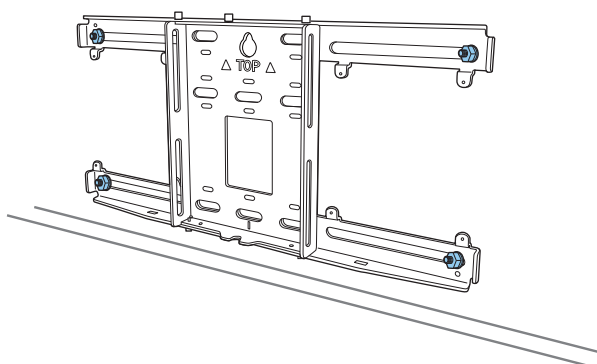
6

手順2で打った仮留め用のM10ネジにウォールプレートをひっかけて配置する



7

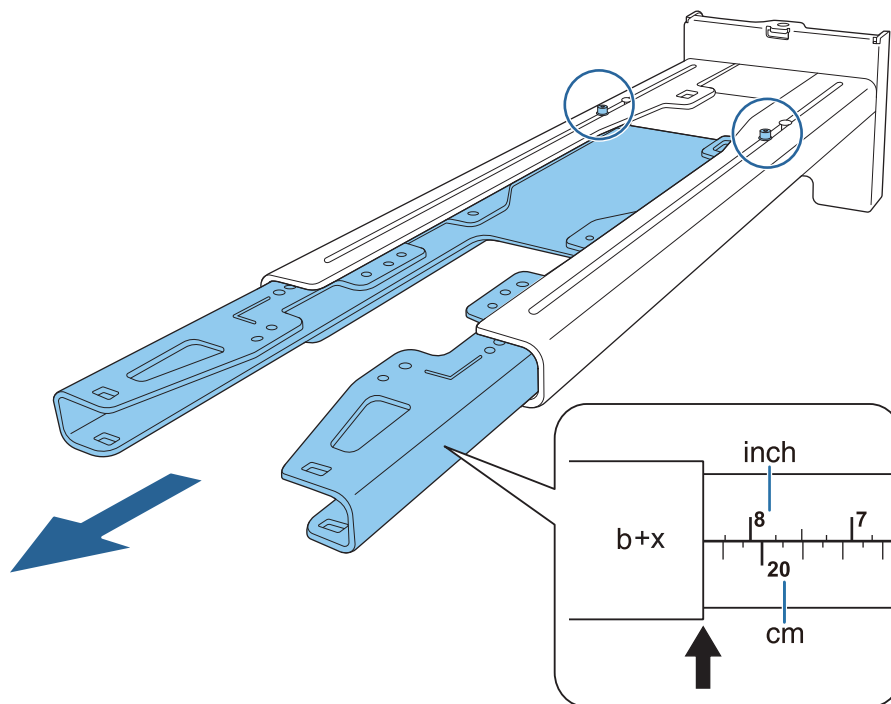
手順4であけた穴を使って、ウォールプレートを市販のM10または3/8インチ x 60mmアンカーボルトで固定する



■ セッティングプレートウォールプレートに取り付ける

1 M4 x 12mmボルト（2本）を緩めてから、セッティングプレートのアームスライドを引き出す

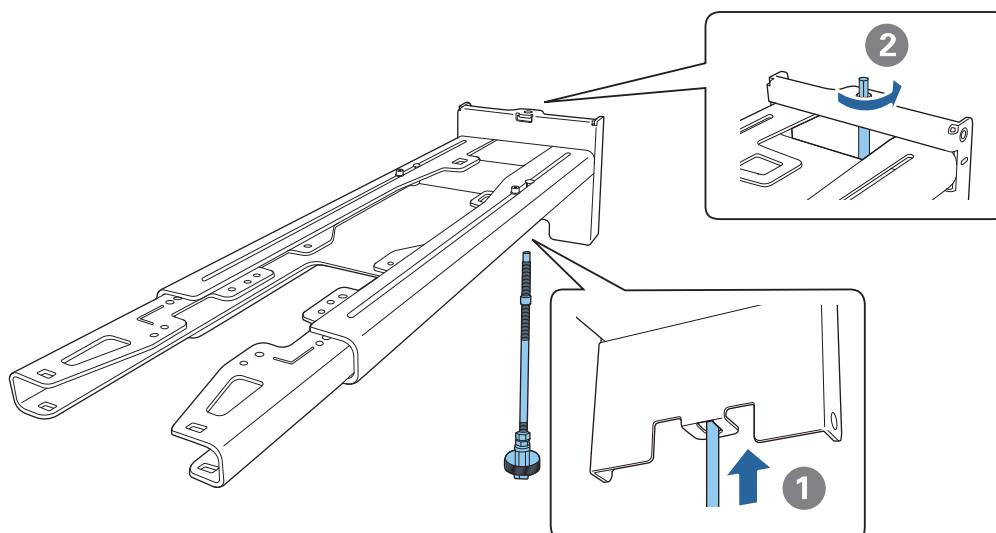
投写距離表（[p.31](#)）で確認した（b）の値に、ウォールプレート取り付け面から投写面までの厚み（x）を足した合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。



2 六角軸をセッティングプレートに差し込む

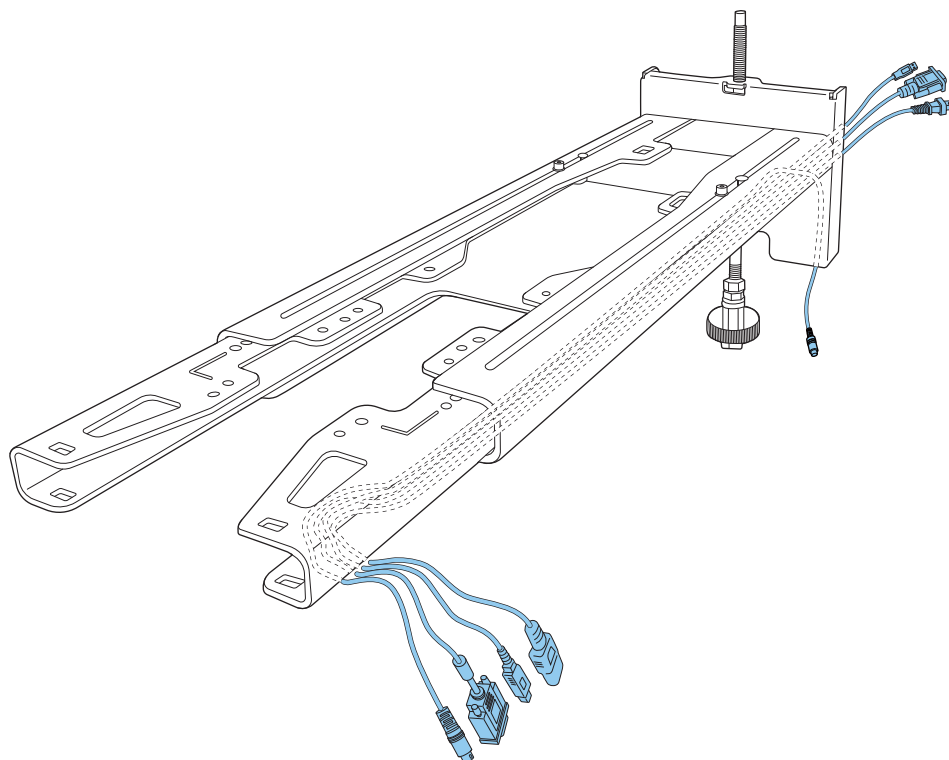
六角軸に白い目印*がある場合は、目印をセッティングプレート上端に合わせます。

*目印は削れることがあります、金具の不具合ではありません。



3

必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す



警告

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。

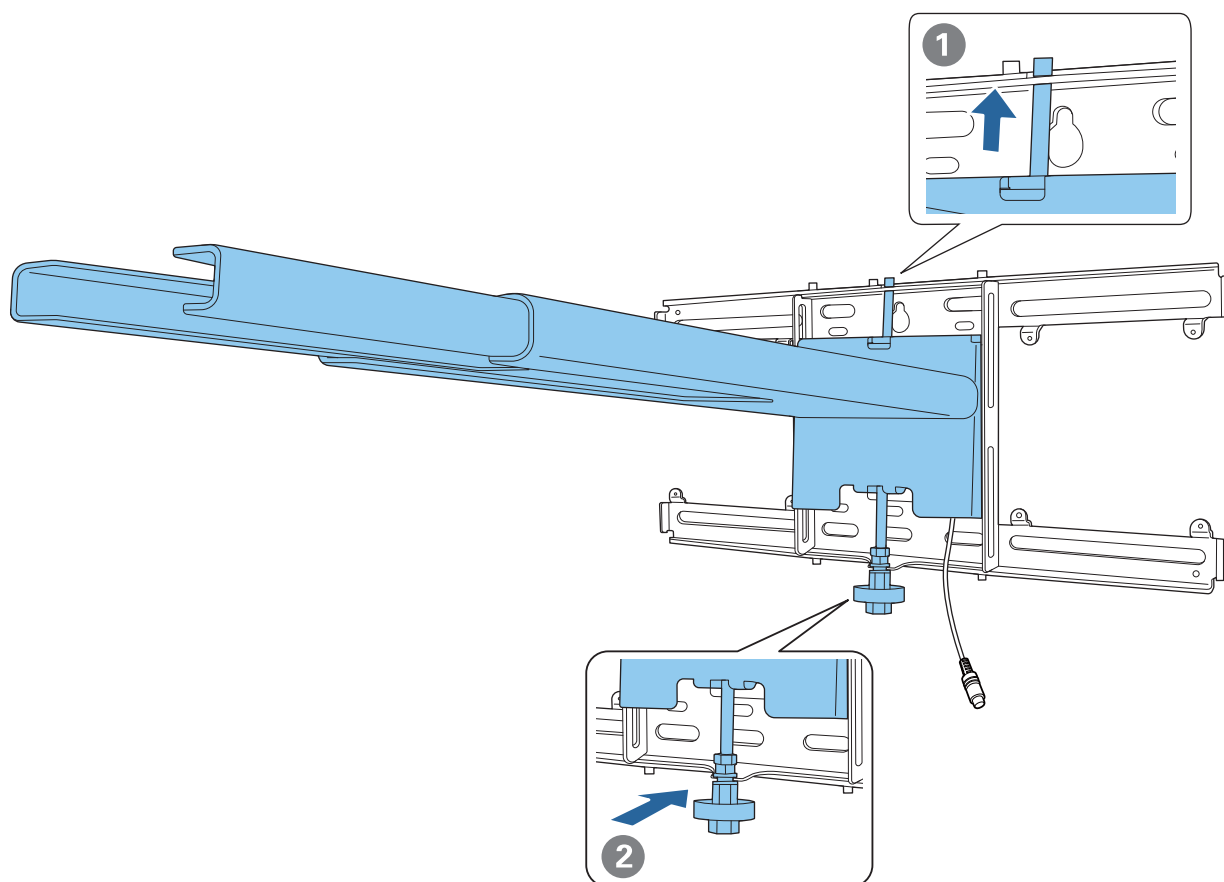


- 以下の端子は、壁内等に通さずセッティングプレートの方へ出るようにしてください。
 - タッチユニット接続ケーブル
 - ミニPC等、周辺機器に接続するためのケーブル

4

セッティングプレートウォールプレートに組み付ける

六角軸の上部を差し込んでから、下部を差し込みます。



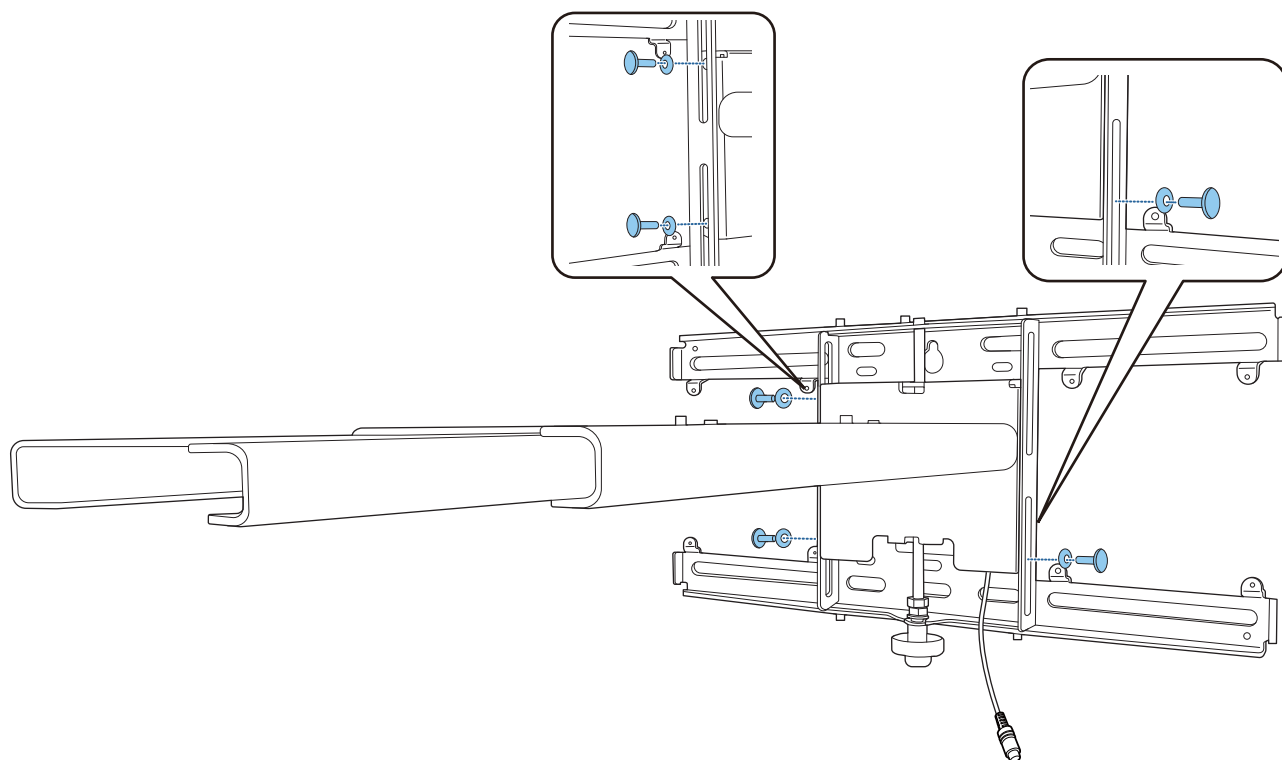
注意

セッティングプレートとウォールプレートの上にケーブル類を挟まないように注意してください。

5

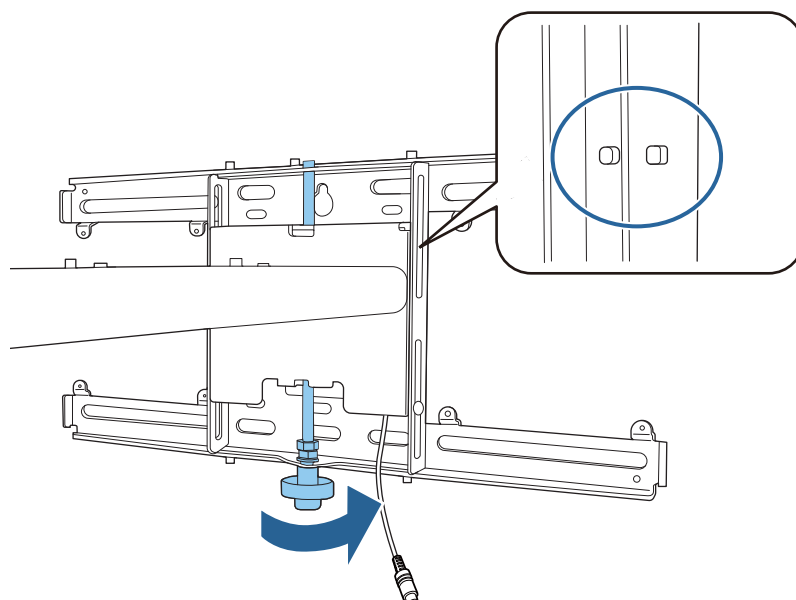
セッティングプレートを仮固定する

同梱のM6ネジ（3本）で、3箇所を固定します。



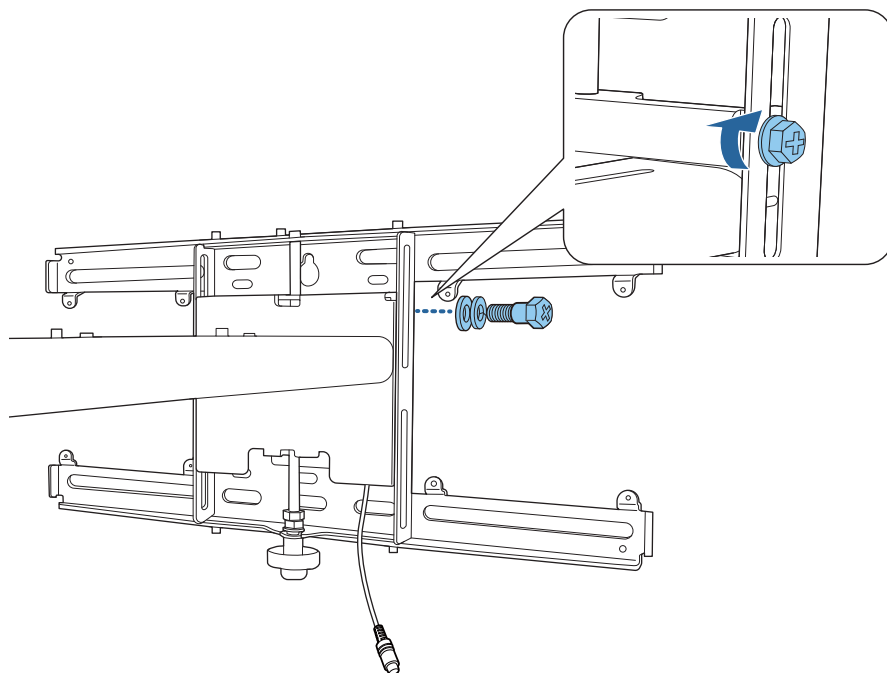
6

上下スライドを両口スパナで調整して、ウォールプレートとセッティングプレート
の目印の位置を合わせる



7

M6ボルト（1本）で、セッティングプレートの位置を固定する



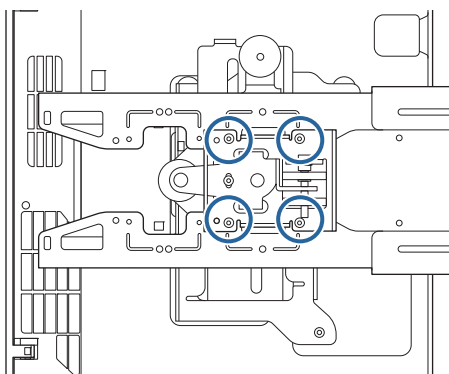
■ セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける

1

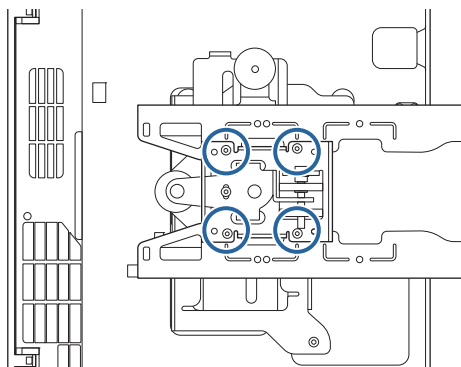
調整ユニットの取り付け位置を確認する

取り付け位置はセッティングプレートに目印が刻印されています。投写したい画面サイズに合わせて適切な位置に取り付けます。

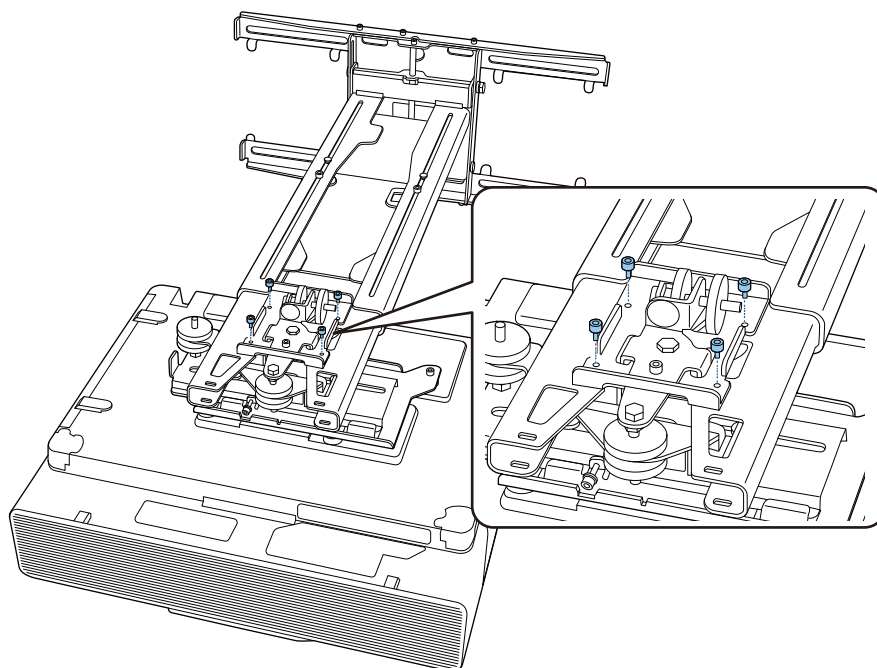
- 80型未満の画面を投写する場合：○の箇所に取り付けます。



- 80型以上の画面を投写する場合：○○の箇所に取り付けます。



- 2** 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをセッティングプレートに固定する

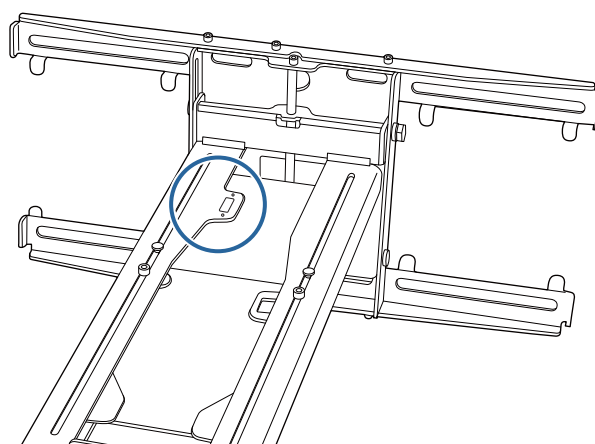


- 3** ケーブル類をプロジェクターに接続する
電源コードは最後に接続してください。

■ 周辺機器を取り付ける

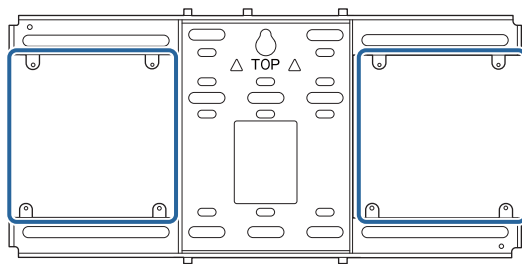
外付けチューナーやアクセサリーを取り付ける

外付けチューナーやアクセサリーは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



ミニPC・スティックPCを取り付ける

ミニPC・スティックPCは、ミニPC用プレートに取り付けてウォールプレートの左右いずれかに固定します。



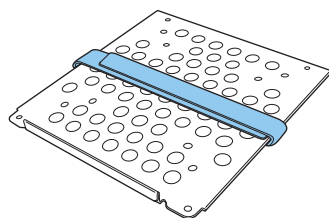
PCの吸排気口をふさがらない向きで取り付けてください。

上側に排気口、下側に吸気口が来るように設置することをお勧めします。

ミニPC用ベルトで固定する場合

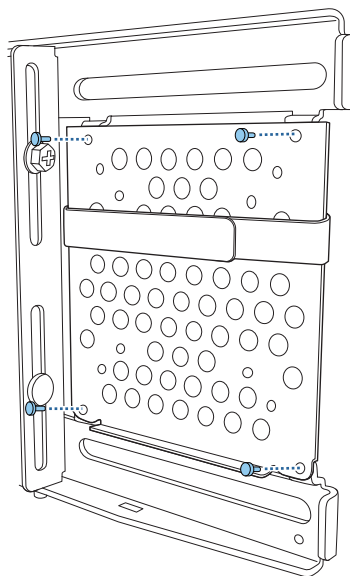
1

ミニPC用プレートにベルトを巻きつける



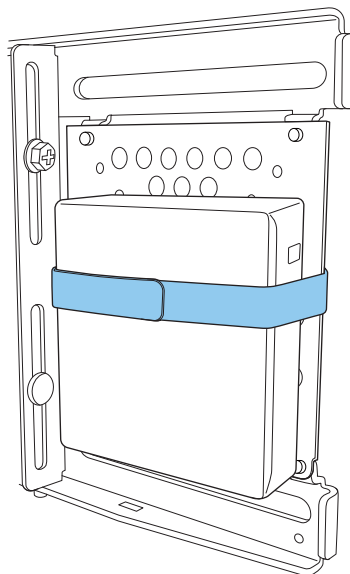
2

同梱のM3x6mmネジ（4本）を使って、ミニPC用プレートをウォールプレートに固定する



3

ミニPC用プレートの下側の突起にPC本体をのせて、ベルトで固定する

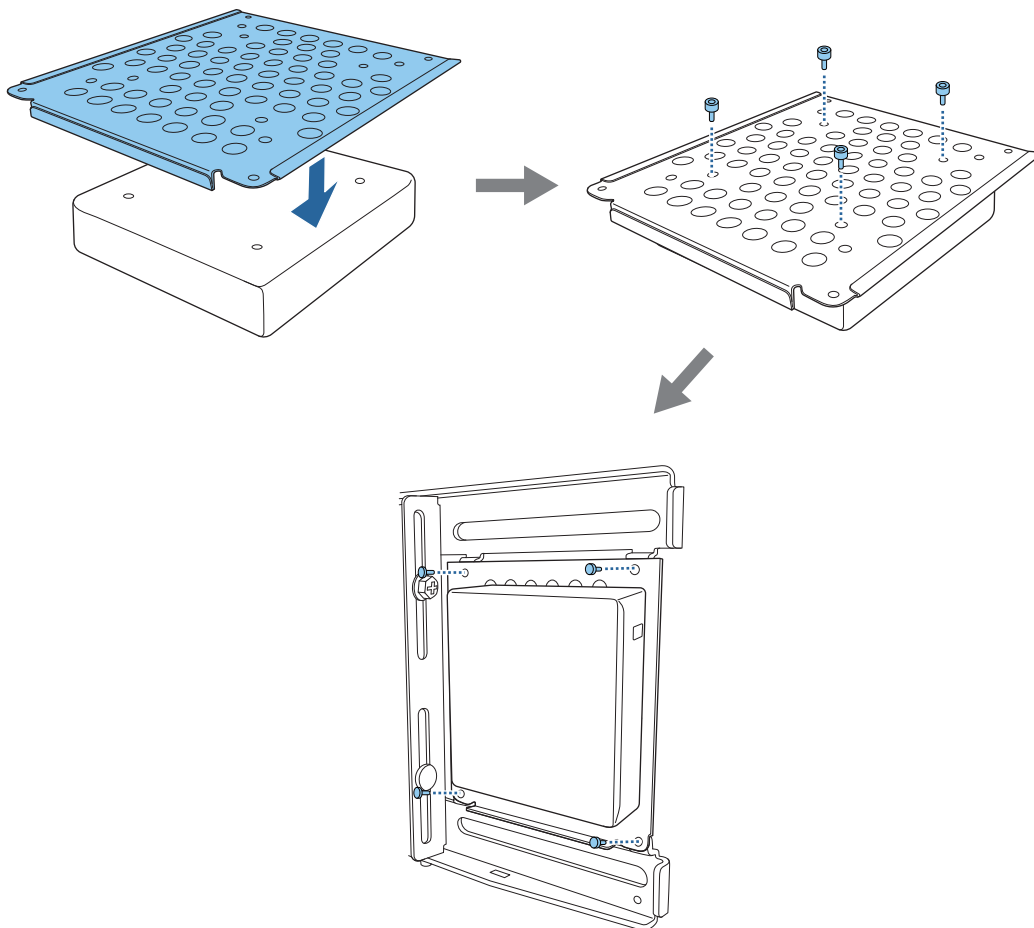


ネジで固定する場合

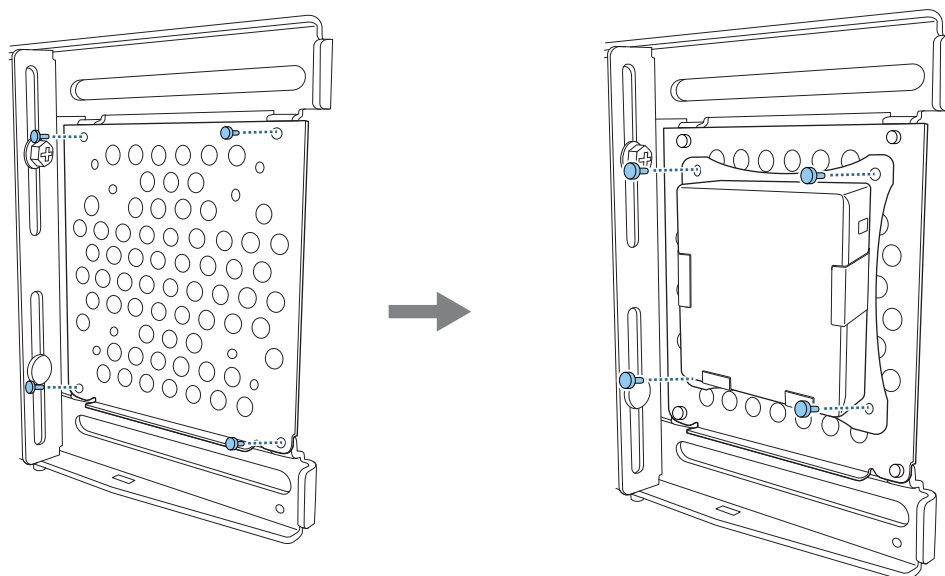
お使いのミニPCの形状やネジ穴の向きによって、取り付ける順番が異なります。事前に取り付け手順をご確認ください。

取り付け例

- PCを取り付けたミニPC用プレートを、同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートに固定する



- 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートにミニPC用プレートを固定してから、PCを取り付ける



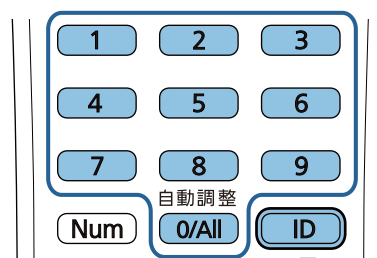
投写映像の位置調整

投写映像の位置調整は、下記のいずれかの方法で行います。



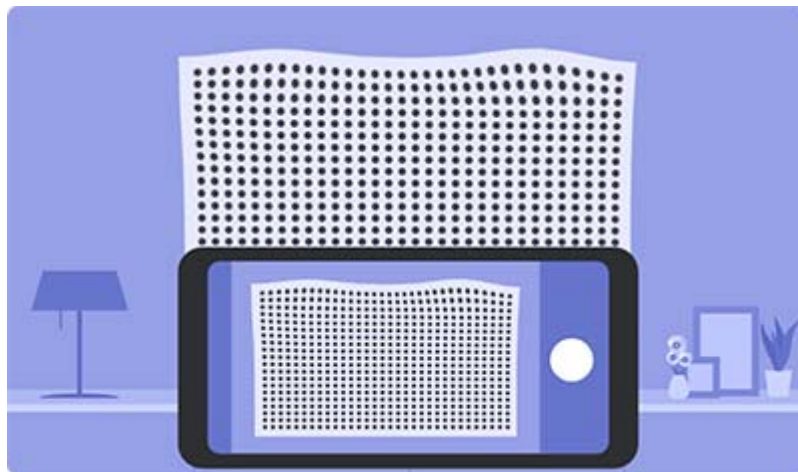
同じ部屋に複数台のプロジェクターを設置しているときは、リモコンの干渉を防ぐためにプロジェクターIDを設定することをお勧めします。

プロジェクターの電源をオンにして、[設置] - [プロジェクターID] でプロジェクターにID番号を設定します。対象のプロジェクターを操作するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま、対象のプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



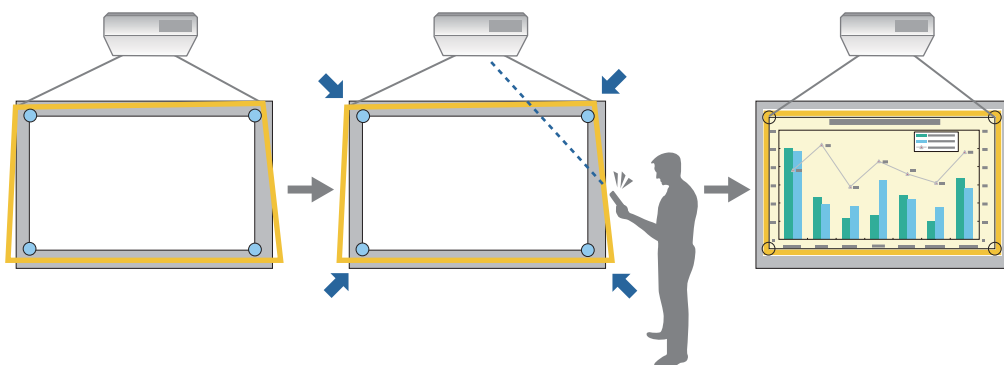
- Epson Setting Assistantによる調整（[p.58](#)）

Epson Setting Assistantを使用して投写位置を調整します。Epson Setting Assistantアプリをインストールしてご使用ください。アプリのインストールは、初期設定ウィザードの投写画面に表示されるQRコードからダウンロードできます。



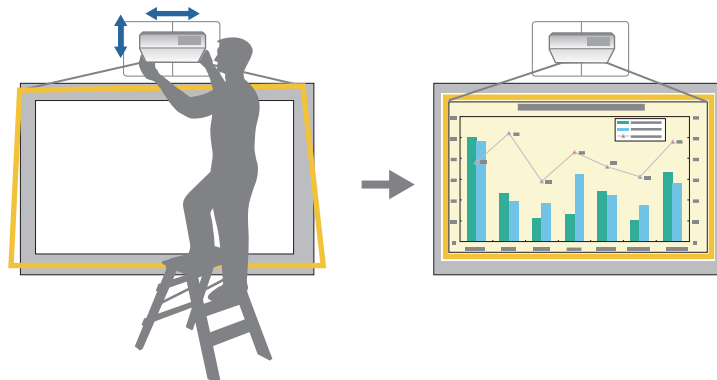
- 自動画面調整 (p.60)

投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。指定の位置に大まかに合わせて調整したいときに便利です。



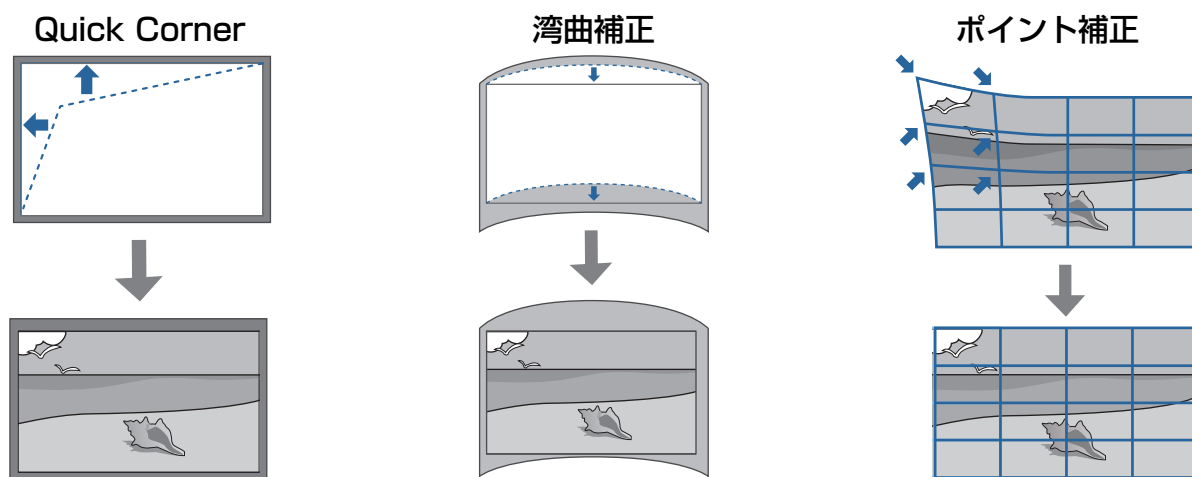
- セッティングプレート調整ガイドによる調整 (p.64)

表示されるガイド画面に合わせて、金具の位置を手動で調整します。画質を維持したままで投写位置を細かく調整したいときに便利です。



- プロジェクターメニューによる調整 (p.68)

調整したいエリアを選択して、手動で映像を補正します。設置ガイドで調整を行った後、投写位置を微調整するときに便利です。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。
- プロジェクターの設置・調整は、実際の使用環境に近い室温で行ってください。温度が変化すると、映像の位置がずれたりペンの精度が悪化したりする可能性があります。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
- 映像の画質を維持するためには、金具の位置を動かして映像を調整することをお勧めします。

■ 調整前の準備

最初に本機の電源を入れたときには、初期設定ウィザードが表示されます。

上下左右ボタンと【Enter】ボタンを使って、[設置モード]、[言語]、[日付&時刻]、[スクリーンタイプ]を設定してください。その後、映像の位置調整の方法を選択します。

■ Epson Setting Assistantによる調整

Epson Setting Assistantアプリの画面に従って操作することで映像の位置を自動で調整します。

初期設定ウィザードの「映像の位置を調整します」で「アプリを使って自動で調整する」を選択して、[幾何学歪み補正ウィザード]に進んでください。

調整するときは以下の点について注意してください。

全体の注意事項

- プロジェクターのファームウェアが最新であること



プロジェクターの機種によっては、ファームウェアのアップデートが必要です。

- アプリとの接続が切断されるため、アプリ利用中はプロジェクターのリモコンを操作しないこと
- 補正した結果が初期化されるため、[スクリーンタイプ]を変更したり、[スクリーン位置]を調整したりしないこと
- 湾曲補正以外の補正方法と組み合わせて使用しないこと

投写面の注意事項

- 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと

- 黒板やホワイトボードに投写する場合は、消し忘れや汚れがないこと
- 設置面にそりや歪みがなく平らで、表面の凹凸が5mm以下であること
- 曲面や極端な凹凸、ざらざらした質感でないこと
- 照明などの映り込みがないこと
- プロジェクタースクリーンに投写する場合は、枠にゆがみがないこと

投写方法の注意事項

- リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写する、リア設置モードではないこと
- プロジェクターを縦に設置する、縦置き設置ではないこと

投写映像の注意事項

- 投写したい領域より大きく投写すること

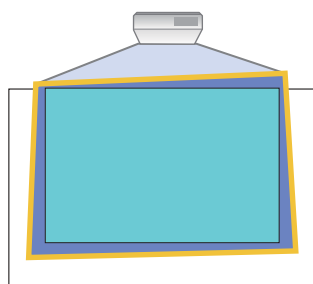


自動調整後は画像が少し小さくなります。

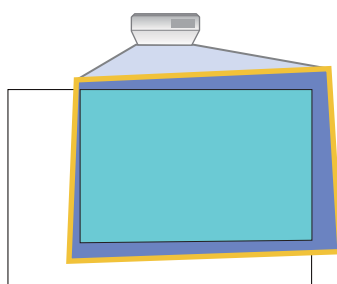
- 合わせたい枠より大きく投写すること

投写映像をプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードなどの枠と合わせたいときは、投写映像が合わせたい枠の上下左右のいずれか1辺以上の外側まで投写されるように設置してください。

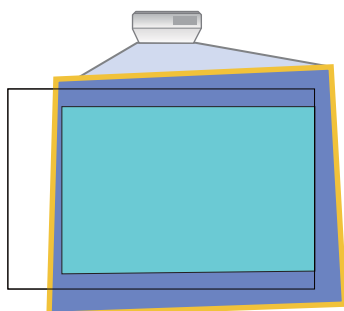
1辺を合わせたい場合



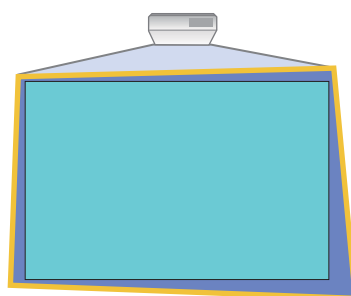
2辺を合わせたい場合



3辺を合わせたい場合

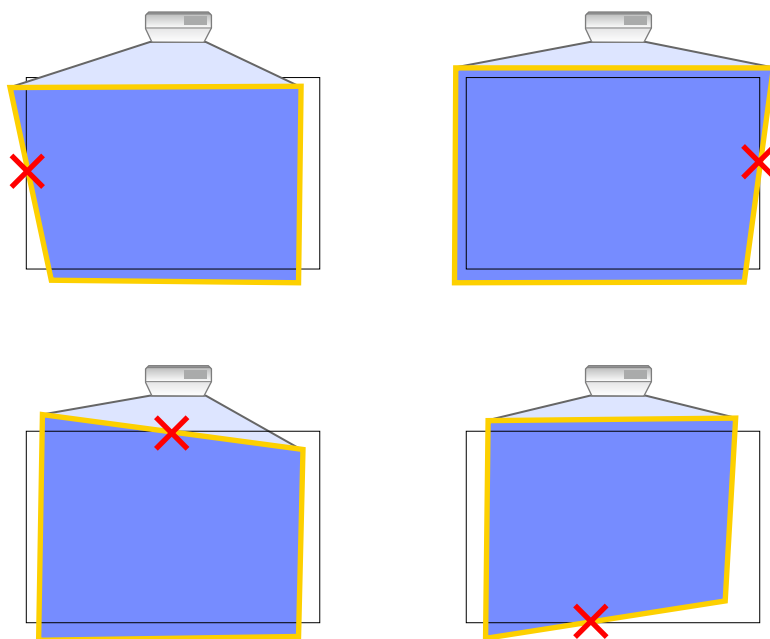


4辺を合わせたい場合



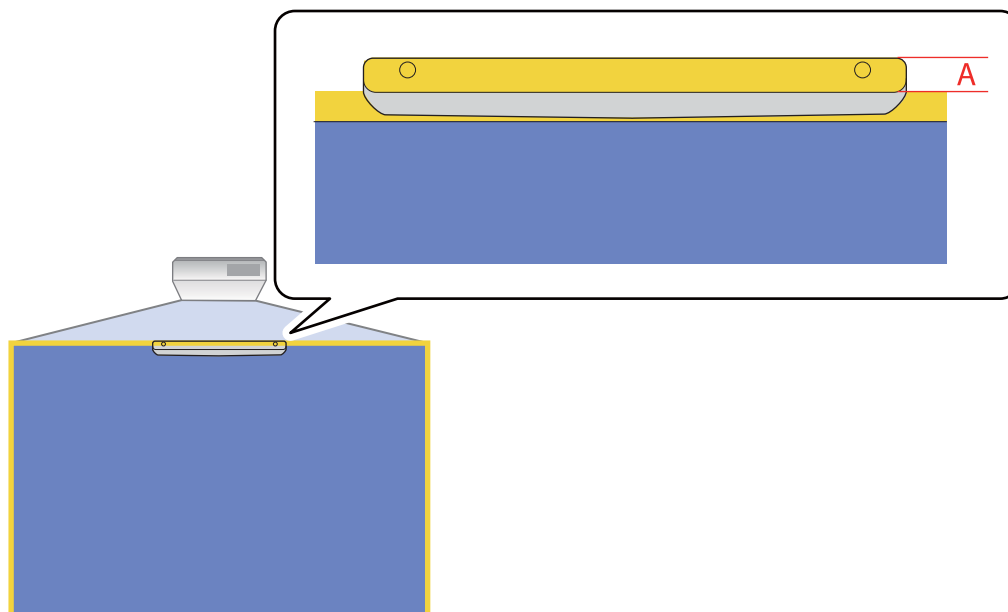
- 映像が枠と交差しないように投写すること

投写映像とプロジェクタースクリーンや黒板、ホワイトボードの上辺と上側の枠、左辺と左側の枠などのように、対応する投写映像の辺と物理的な枠が交差していないことを確認してください。



- 設置済みのタッチユニットを使う場合

プロジェクターの置き換え設置でタッチユニットを接続し直して使う場合、タッチユニットが投写映像の内側にあるときは、プロジェクターの初期設定ウィザードで表示される投写映像の黄色の線がタッチユニットに重なるようにしてください。(図のA内を目安)



■ 自動画面調整

投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。
自動画面調整が正しく動作する条件は以下のとおりです。

- 投写サイズ：110インチ以下
- プロジェクターの設置角度：上下左右 $\pm 3^\circ$ 以内



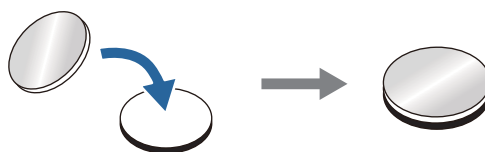
- 投写面の状態によっては、自動画面調整がうまく動作しないことがあります。自動画面調整を行うために必要な条件は以下のとおりです。
 - 投写面が平らであること
 - 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。自動画面調整を実行したあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

1

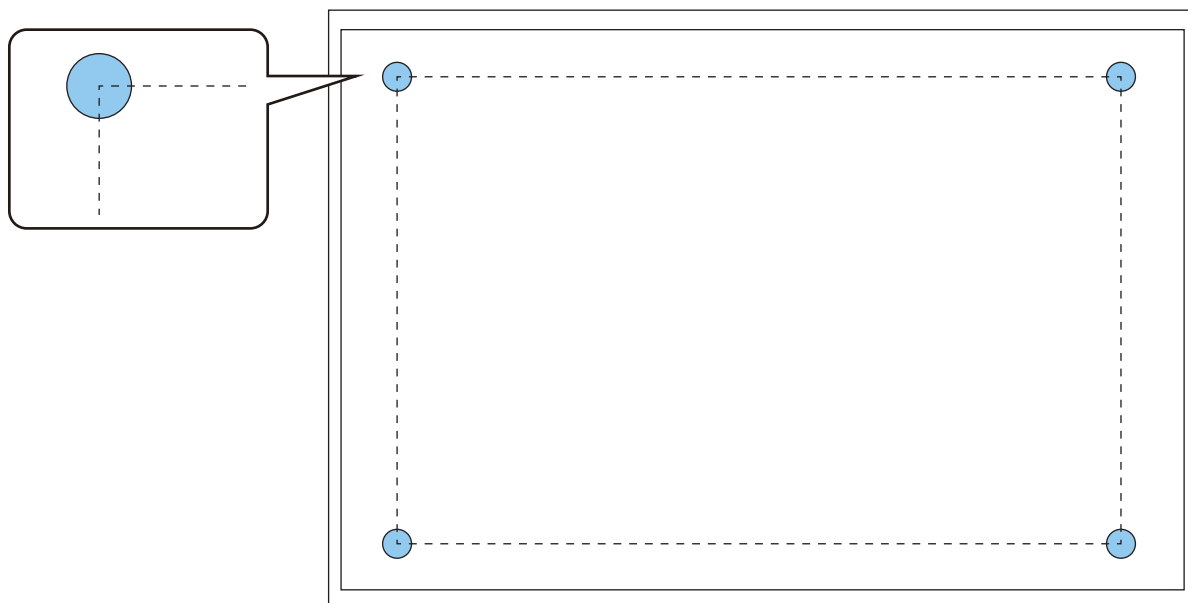
投写したい位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつける



- コーナーマーカーは貼り直しできません。貼りつける位置に事前に印をつけておくことをお勧めします。
- 貼り直しが必要な場合は、同梱のマグネットシートにコーナーマーカーを貼りつけてお使いください。



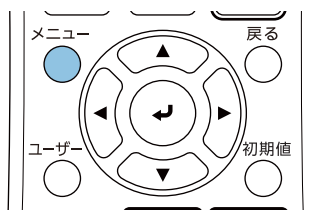
投写位置の角がコーナーマーカーの中心に重なるように貼りつけます。



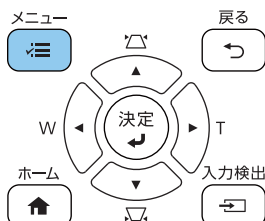
2

【メニュー】ボタンを押す

リモコンの場合



操作パネルの場合



3

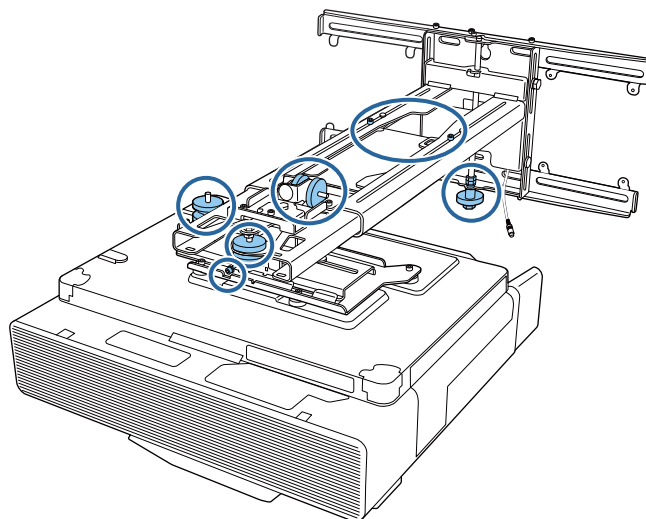
〔設置〕メニューの〔自動画面調整〕を選択する

よく使う項目	設定	
映像調整	固定設定	オフ
信号入出力	テストパターン	
設定	セッティングプレート調整が…	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

自動画面調整のガイド画面が表示されます。

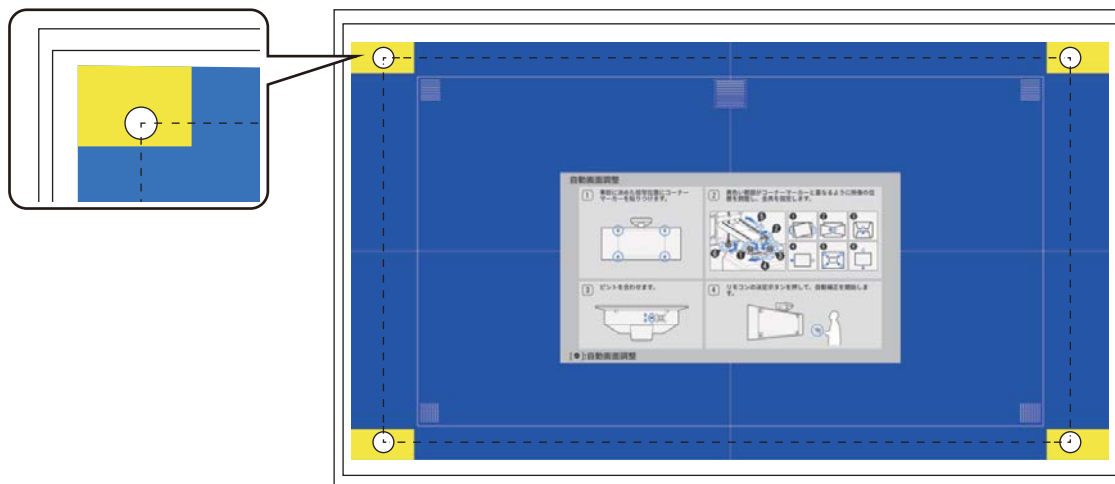
4

すべての調整ダイヤル・調整ネジを緩める

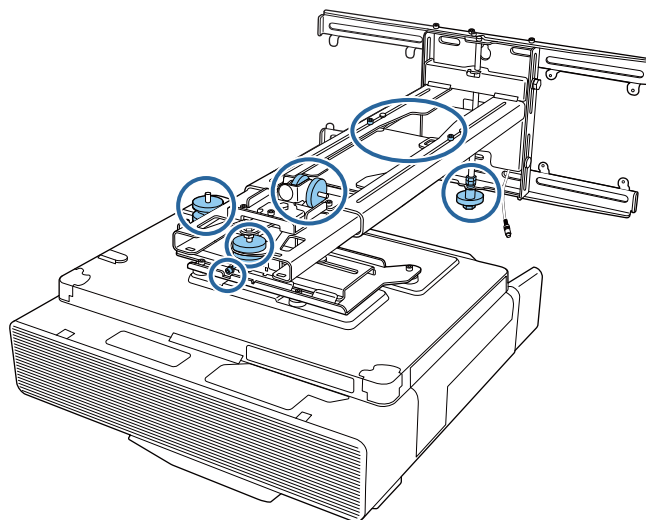


5 プロジェクターを動かして、ガイド画面の四隅にある黄色いエリアがコーナーマーカーに重なるように映像の位置を調整する

すべてのコーナーマーカーが黄色いエリアの中に収まっていることを確認してください。



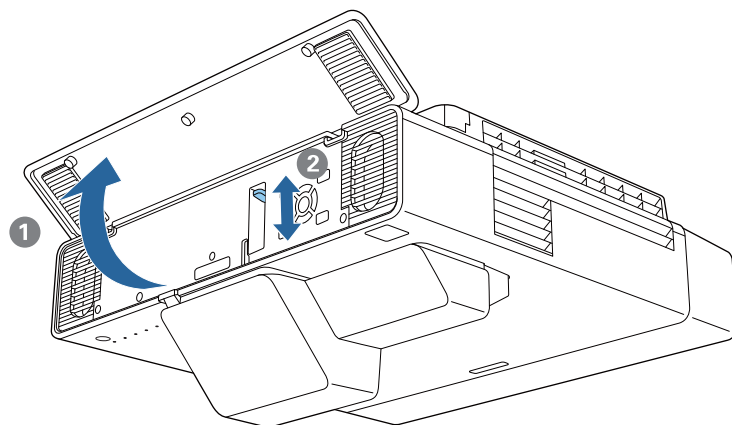
6 位置が決まったら、手順4で緩めた調整ダイヤル・調整ネジを全て締める



警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

7 プロジェクターのフロントカバーを開け、フォーカスレバーでピントを調整する



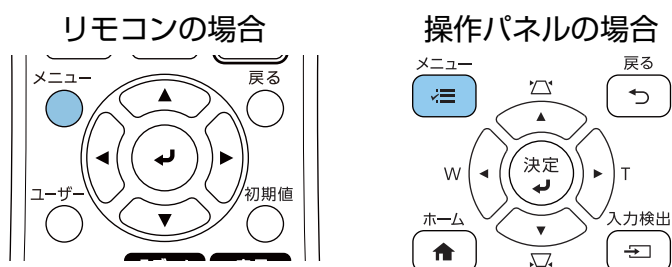
8 【決定】 ボタンを押して、自動調整を開始する

自動調整が終わったあと、さらに微調整を行う場合はQuick Corner（ p.69）をお使いください。湾曲補正やポイント補正を使うと、映像が自動補正前の状態に戻ります。

■ セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整

ガイド画面に従って、映像の位置を調整します。

1 【メニュー】 ボタンを押す

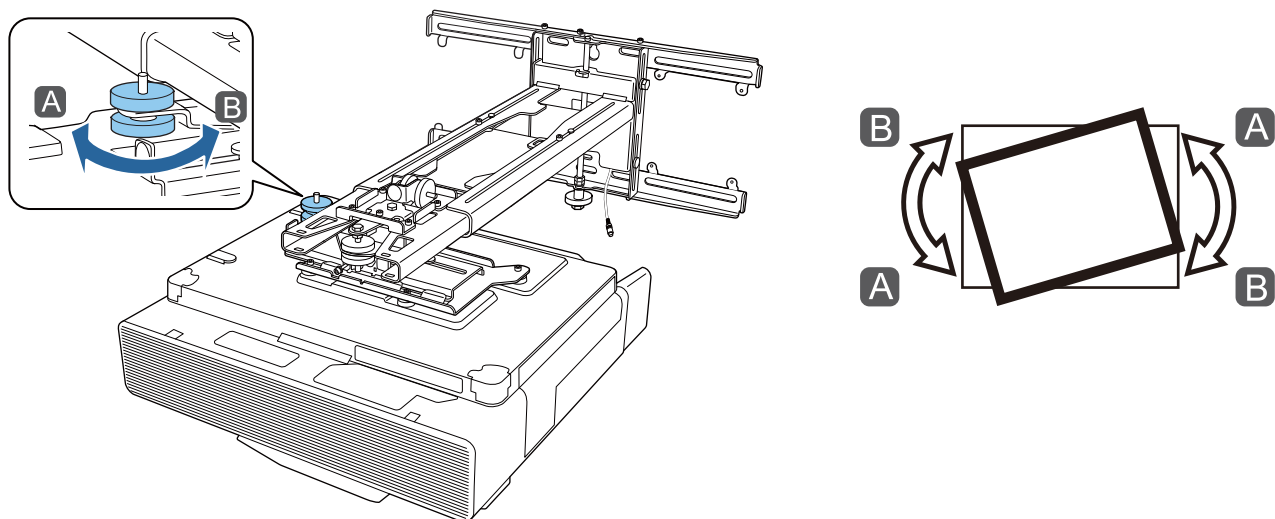


2 【設置】 メニューの【セッティングプレート調整ガイド】を選択する

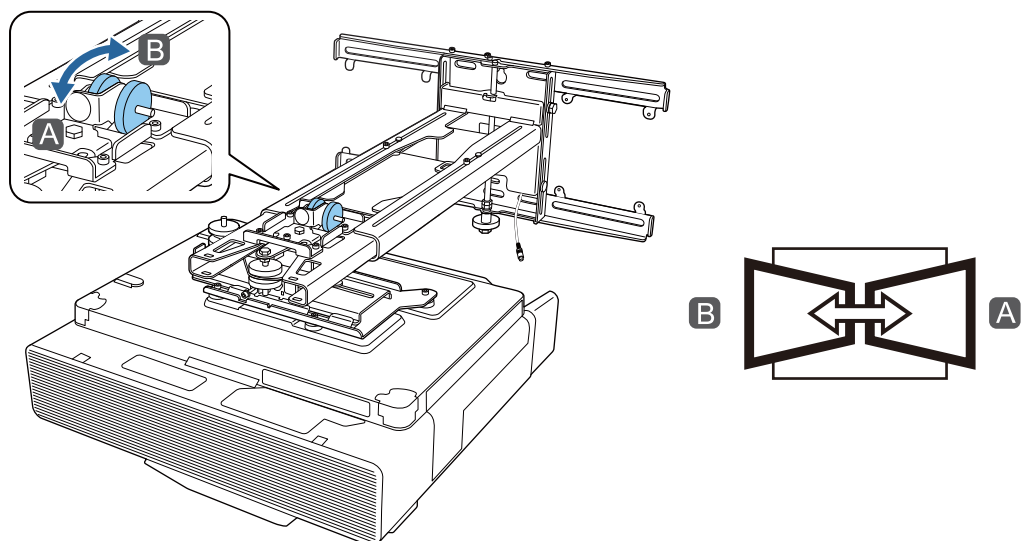
よく使う項目	設定
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整ガ...
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

ガイド画面が表示されます。

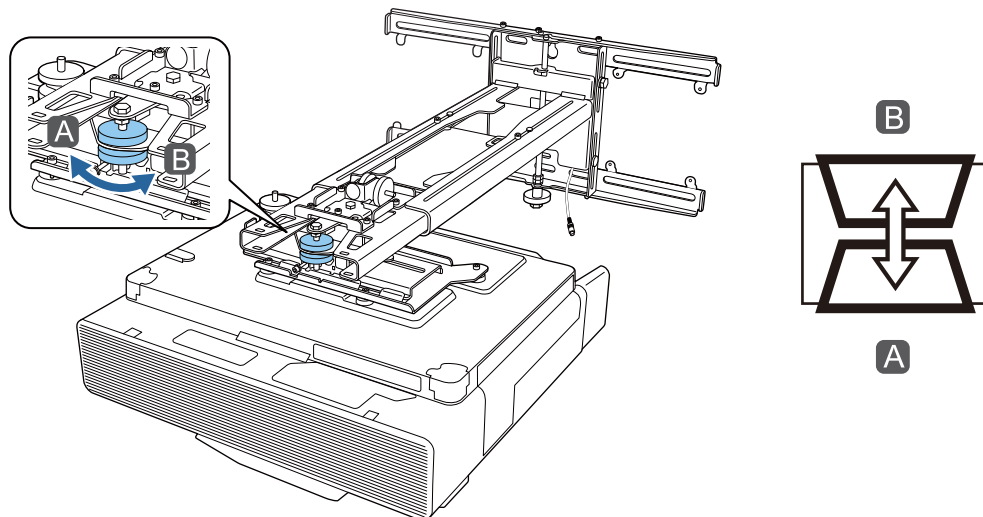
3 設置ガイド内 ① のダイヤルを回して水平ロールを調整する



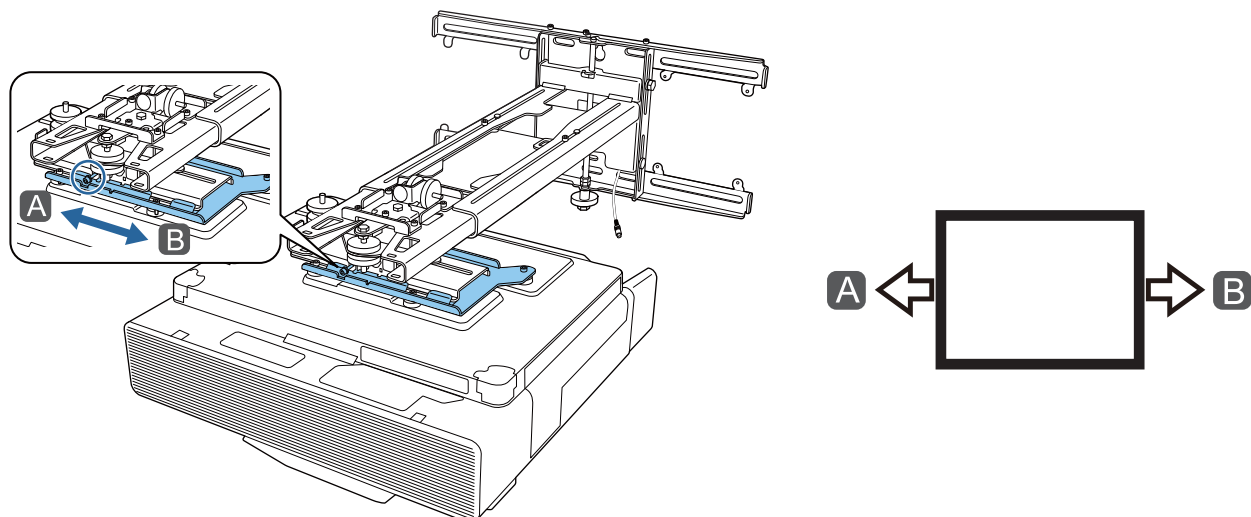
4 M4ネジを緩めてから、設置ガイド内 ② のダイヤルを回して水平回転を調整する



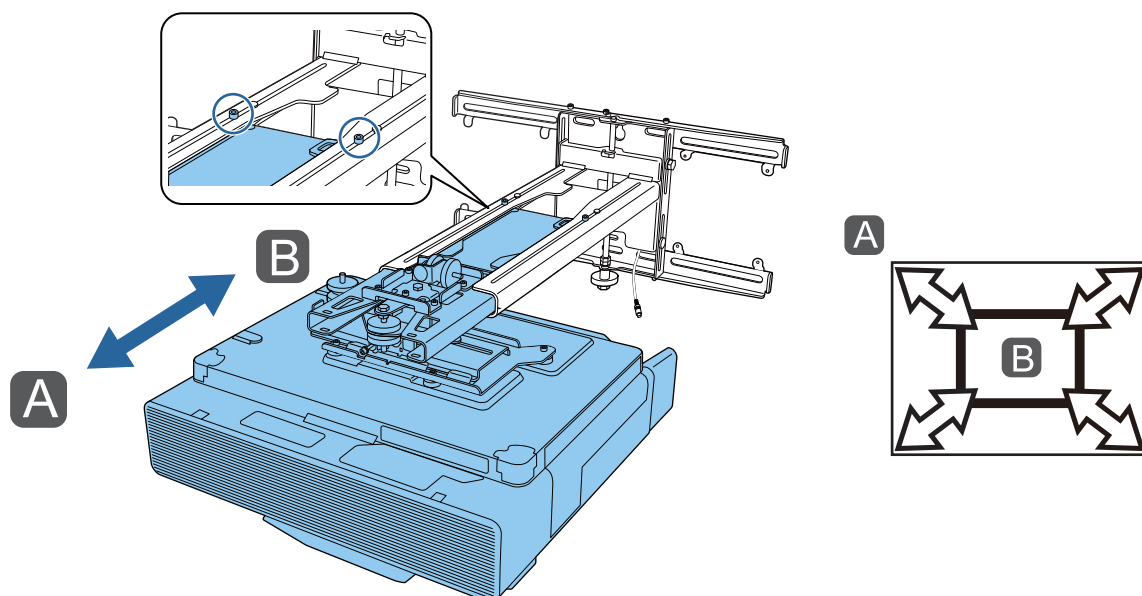
5 設置ガイド内 ③ のダイヤルを回して上下チルトを調整する



6 M4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する

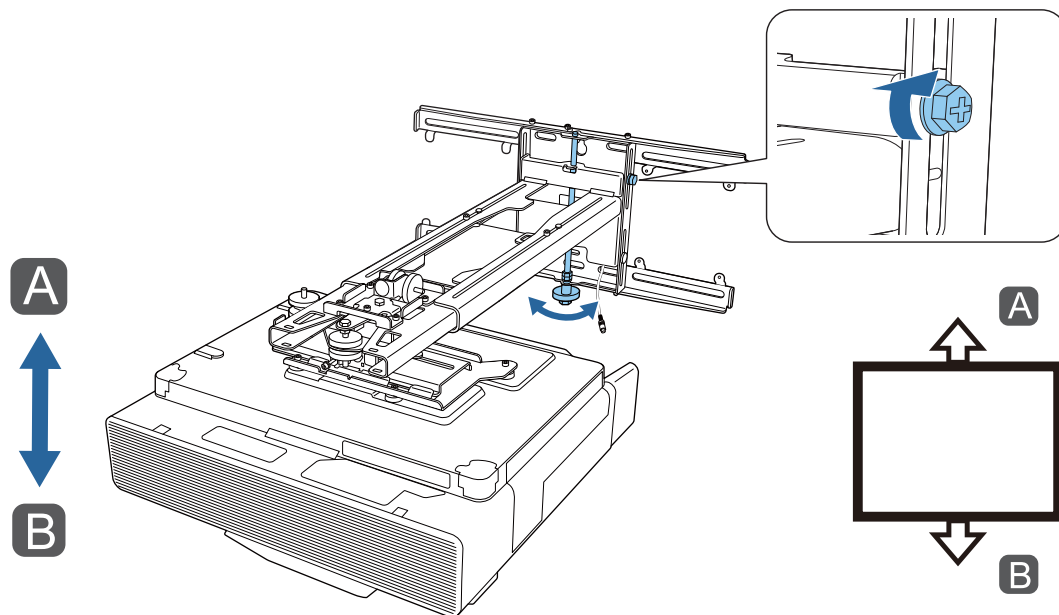


7 M4ボルト（2本）を緩めてから、前後スライドを調整する



8

M6ボルトを緩めてから、上下スライドを調整する



9

手順3から手順8で緩めたネジやボルトを締め直す

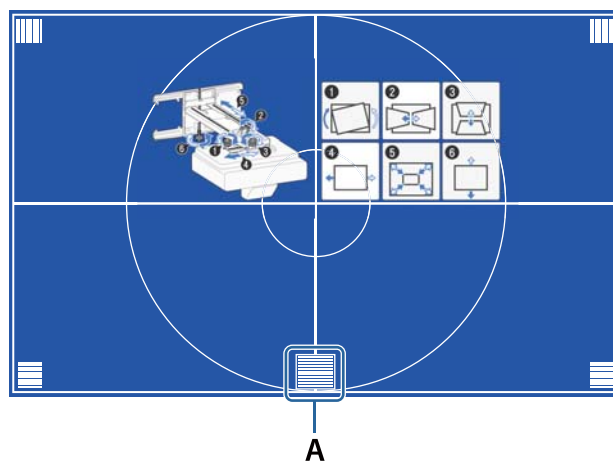


警告

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

10

下図Aのピントが合うようにフォーカスを調整する



11

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

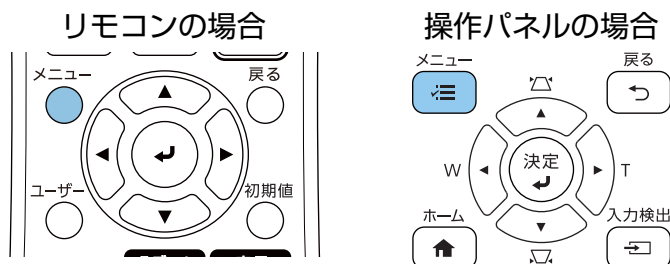
■ プロジェクターメニューを使った調整



- 調整した値は、[幾何学歪み補正] メニューの[メモリー] から保存できます。
- 事前にスクリーンタイプとスクリーン位置を正しく設定してください。補正を行ったあとにスクリーンタイプまたはスクリーン位置を変更すると、補正前の状態に戻ります。

湾曲補正

1 【メニュー】 ボタンを押す



2 【設置】 メニューの【幾何学歪み補正】を選択する

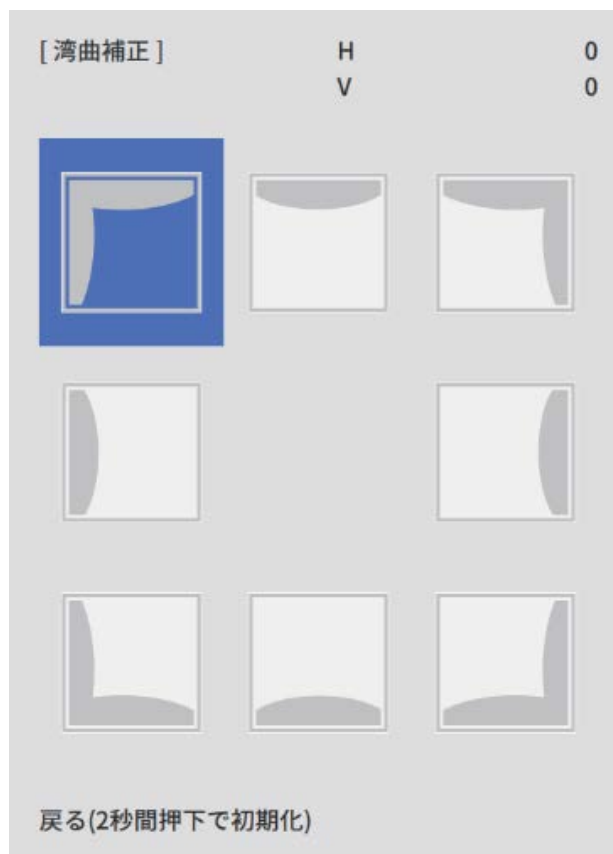
よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整が...
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3 【湾曲補正】を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
✓ 湾曲補正	
ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

4

補正する辺を選択して調整する



調整できない範囲に達したときは、「これ以上調整できません。」というメッセージが表示されます。

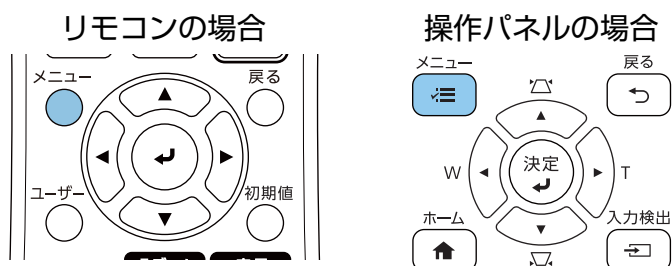
5

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

Quick Corner

1

【メニュー】ボタンを押す



2

〔設置〕メニューの〔幾何学歪み補正〕を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整が…
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

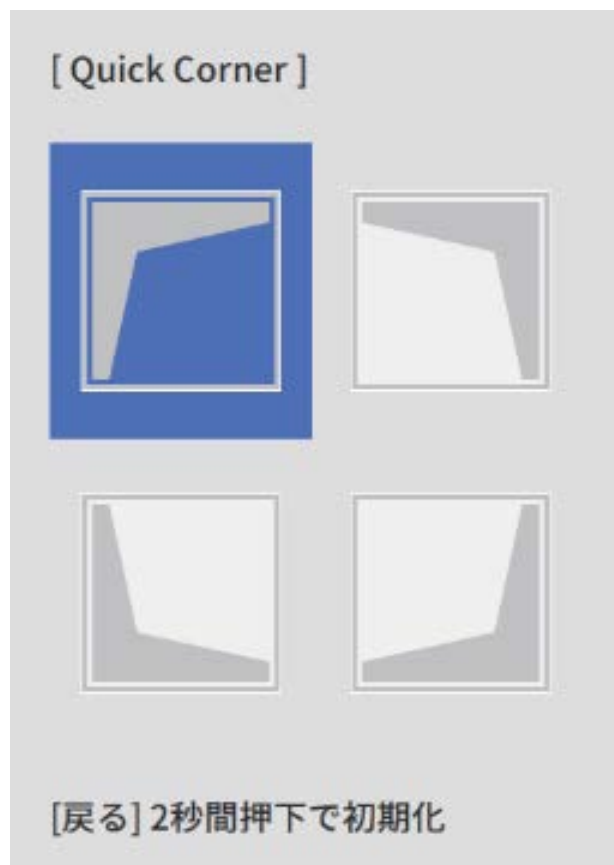
3

〔Quick Corner〕を選択する

〔幾何学歪み補正〕	戻る
タテヨコ台形補正	
✓ Quick Corner	
湾曲補正	
ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

4

補正する辺を選択して調整する



調整できない範囲に達したときは、「これ以上調整できません。」というメッセージが表示されます。



辺の調整中、リモコンの【1】【3】【7】【9】ボタンで補正する辺を切り替えられます。

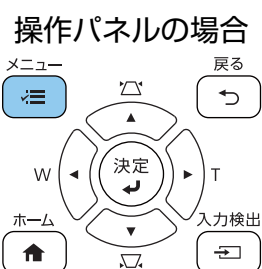
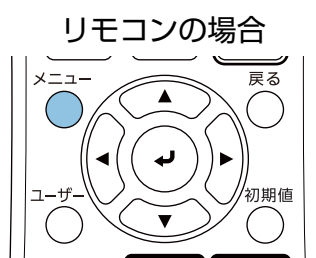
5

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

ポイント補正

1

【メニュー】ボタンを押す



2 [設置] メニューの [幾何学歪み補正] を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整が…
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3 [ポイント補正] を選択する

[幾何学歪み補正]	戻る
タテヨコ台形補正	
Quick Corner	
湾曲補正	
✓ ポイント補正	
アプリで自動補正	
メモリー	

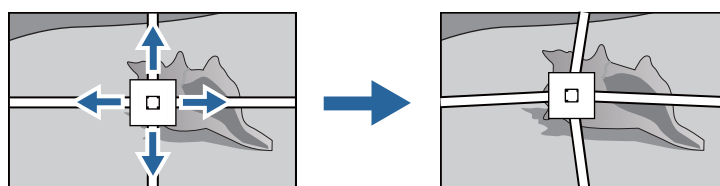
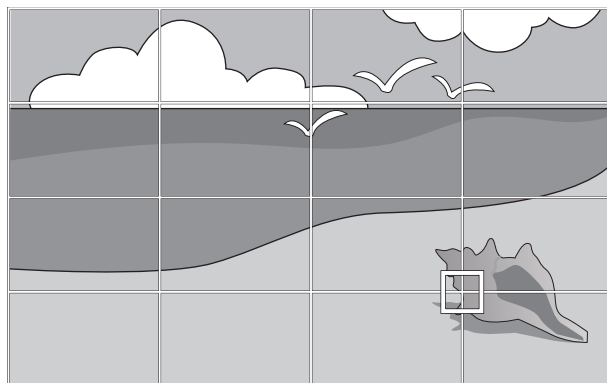
4 [ポイント(タテ)] および [ポイント(ヨコ)] を選択して、グリッド数を設定する

[ポイント(タテ)]	戻る
3	
5	
✓ 9	
17	
33	

[ポイント(ヨコ)]	戻る
3	
5	
✓ 9	
17	
33	

5

補正するポイントを選択して調整する



グリッドが見えにくいときは、[パターン色] でグリッドの色を変更します。

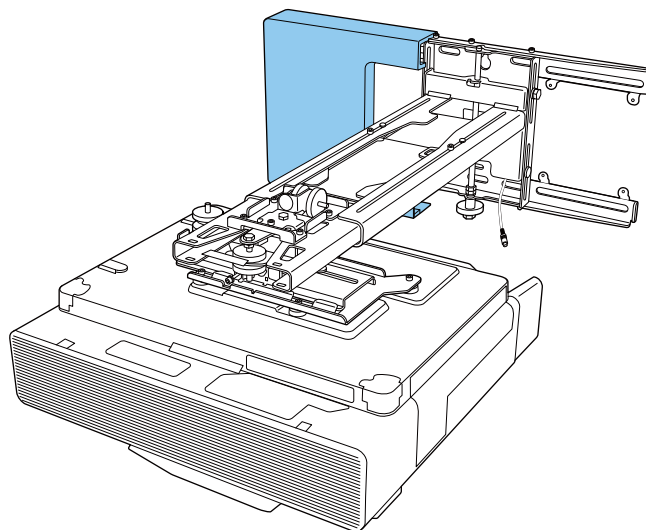
6

調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

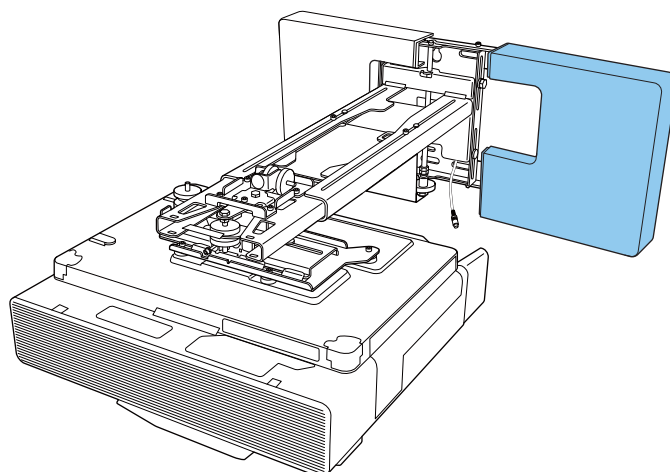
カバーの取り付け

1

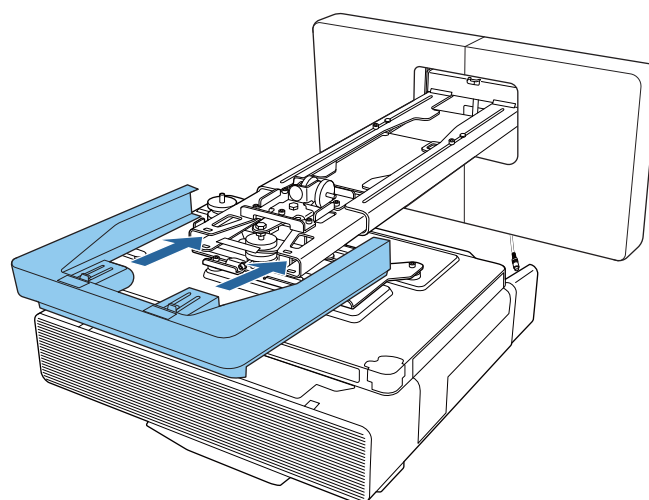
左側のウォールプレートカバーを取り付ける



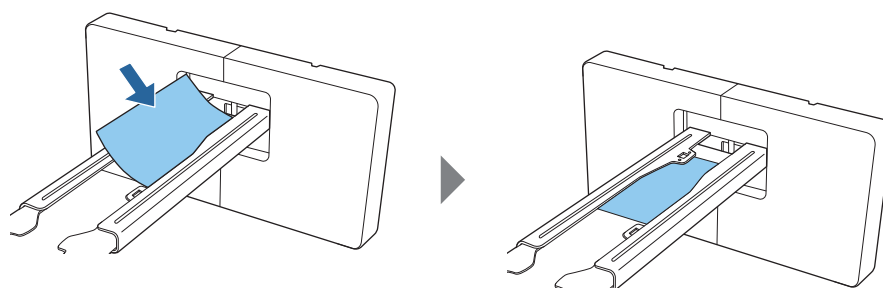
2 右側のウォールプレートカバーを取り付ける



3 エンドキャップをセッティングプレートにはめ込む

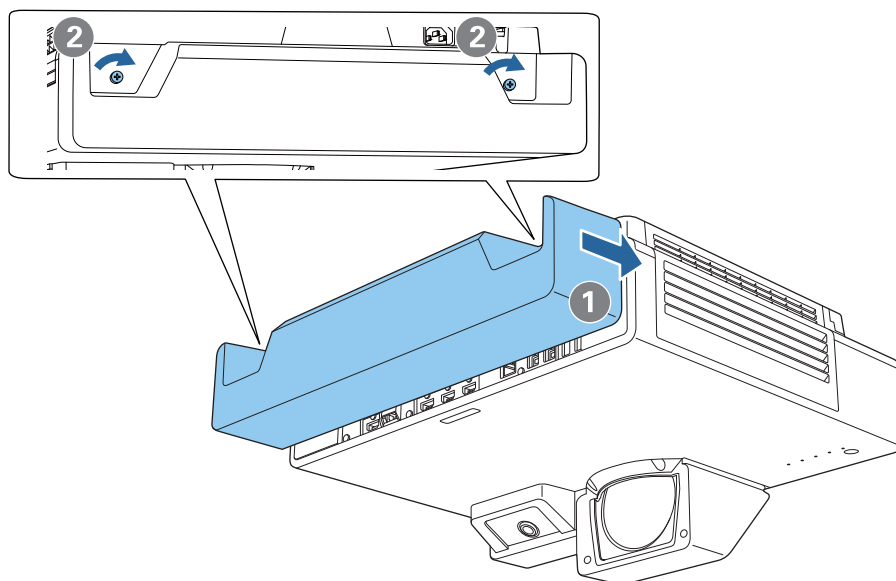


 アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。



4

プロジェクターにケーブルカバーを取り付けて、ネジ（2本）で固定する

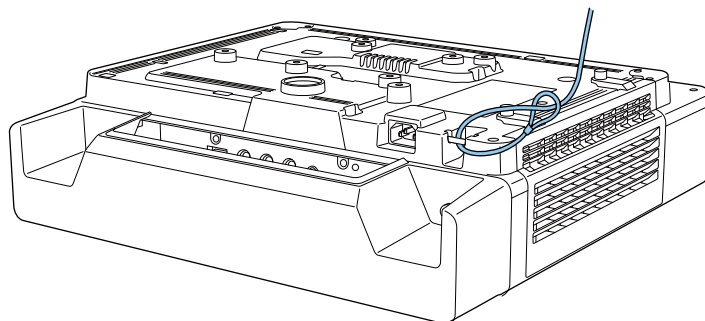


セキュリティーケーブルの取り付け

必要に応じて、以下のいずれかの方法でセキュリティー対策を行ってください。

- 市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付ける

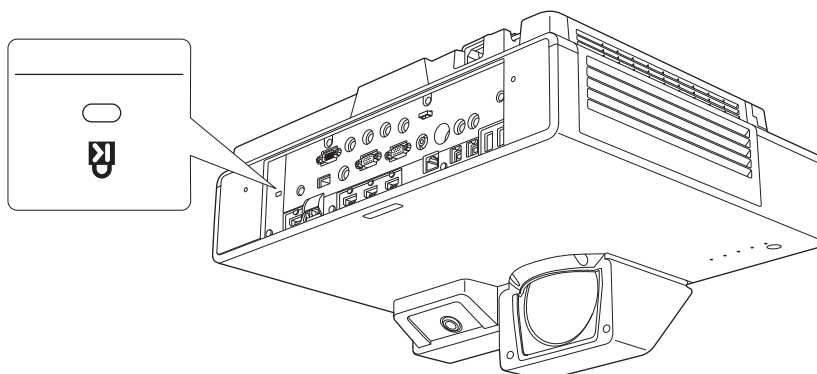
プロジェクターとセッティングプレートそれぞれのセキュリティーケーブル取り付け部にワイヤーを通して施錠してください。



- Kensington社製のセキュリティーワイヤーを取り付ける

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



コントロールパッドに関するご注意

 警告	
EB-1485FT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。 機器が故障する可能性があります。	
ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。 ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。	
同梱の電源ケーブルはELPHD02専用です。他の機器には使用しないでください	
破損した電源ケーブルは使用しないでください。 火災・感電の原因となります。万が一、電源ケーブルが破損（芯線の露出、断線など）した場合は、お買い上げの販売店またはエプソン各修理センターにご相談ください。	
電源ケーブルをコントロールパッドに接続するときは、同梱のACアダプター以外のACアダプターは使用しないでください。 故障、過熱、発煙のおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
ACアダプターは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。 故障、過熱、発煙のおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
ACアダプターのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。また、電源ケーブルを加工しないでください。 火災・感電の原因となります。	
ACアダプターを踏んだり、落したり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。 破損するおそれがあります。ACアダプターが破損した場合はコントロールパッドの電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご相談ください。破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。	
濡れた手でコントロールパッドやACアダプター、電源プラグを操作しないでください。 故障や火災・感電の原因となります。	
電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。	
電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると、断線や破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。取り扱いの際は、次の点を守ってください。 • たこ足配線はしない。 • ホコリなどの異物を付着させたまま電源プラグを差し込まない。 • 電源プラグは根本まで確実に差し込む。 • 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 • 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないようにして、必ずプラグ本体を持って抜く。	
コントロールパッドを移動するときは、必ず電源を切り、ACアダプターを外し、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

 警告	
次のような異常のときは、すぐに電源を切り、ACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。 • 煙が出ている、変なにおい、変な音がする • コントロールパッドの内部に水や異物が入った • コントロールパッドを落としたり、ケースを破損した	
ACアダプターにお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤をかけたりしないでください。 故障や火災・感電の原因となります。飲み物などがACアダプターにかかってしまった場合には、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
ACアダプターを狭い場所に設置したり、同梱のACアダプターホルダー以外の布などをかぶせないでください。 ACアダプターが高温になり、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。	
ACアダプターに電源コードを巻きつけて使用しないでください。 断線や異常発熱の原因となります。	
コントロールパッドの分解・改造は絶対にしないでください。	
お手入れの際には、ACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いて、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	
長期間掃除を行わないと、ホコリがたまり火災や感電の原因となります。 定期的に掃除を行ってください。	
 注意	
コントロールパッドを廃棄するときは分解しないでください。 国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

JIS C 61000-3-2適合品

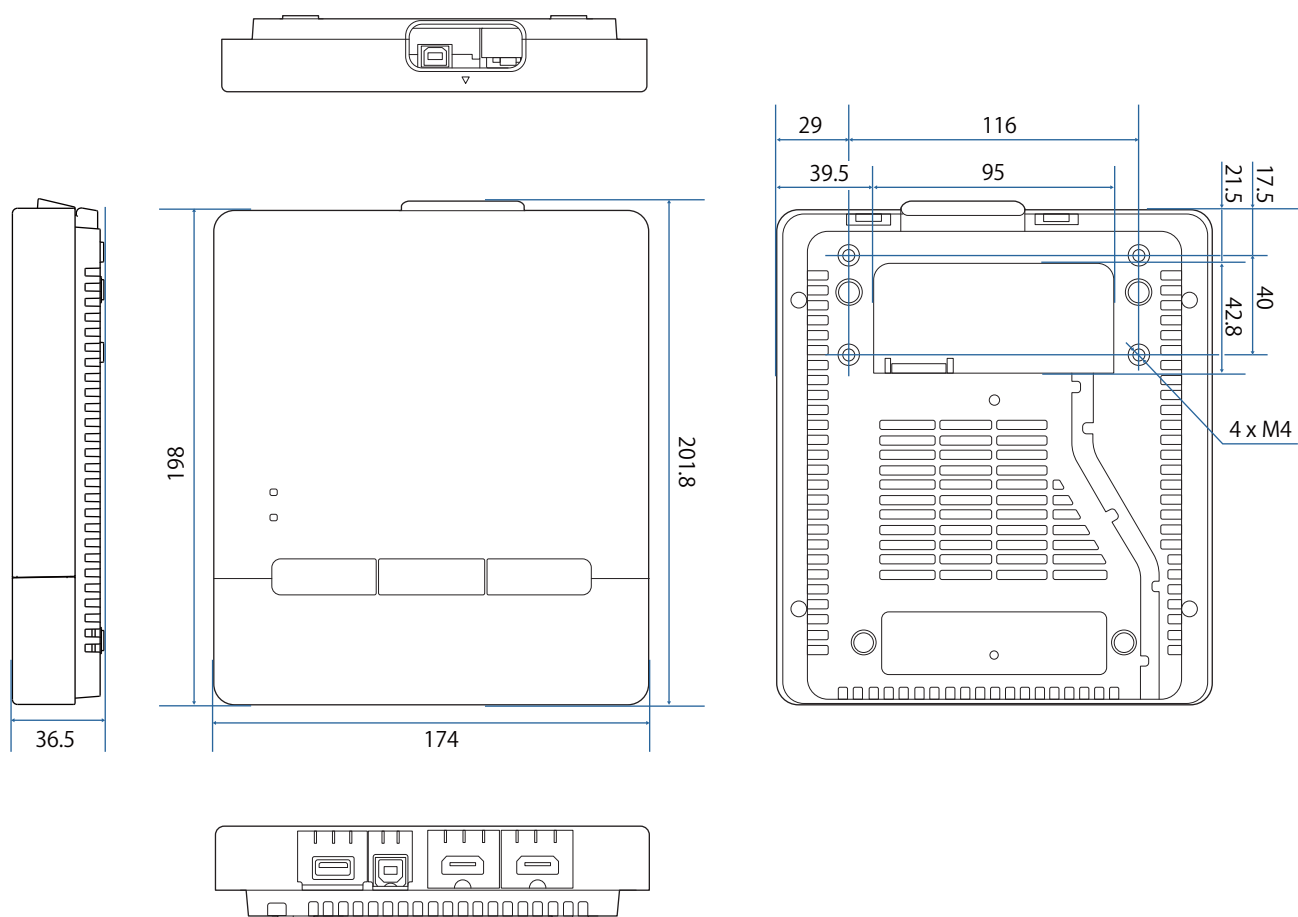
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

コントロールパッド仕様

項目	仕様
コントロールパッド質量	約0.6kg
電源（ACアダプター）	100 - 240 V AC +/- 10%, 50/60 Hz
電源	12VDC 2.5A 30W
動作時消費電力	4.5W
動作温度範囲	0～40℃（結露しないこと）
動作高度	0 - 3048m

外形寸法

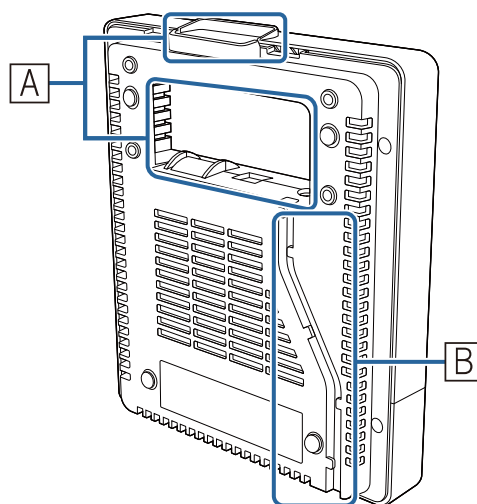
[単位：mm]



ケーブル配線口

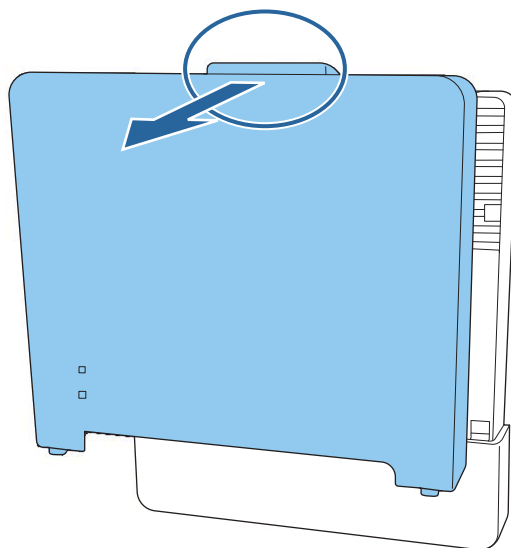
ケーブル配線口は下図 **[A]** のいずれかを使用できます。

電源ケーブルは、コントロールパッド背面にある溝（**[B]**）の中へ通せます。

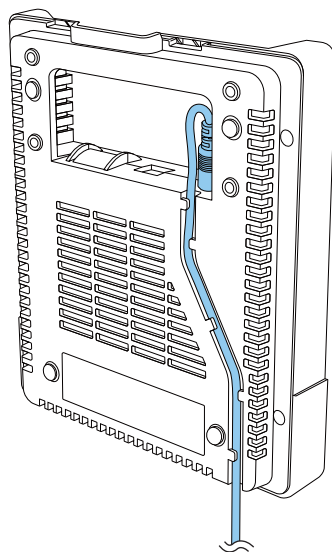


■ コントロールパッド取り付け手順

- 1 上部の穴に指をかけて、前面カバーを取り外す

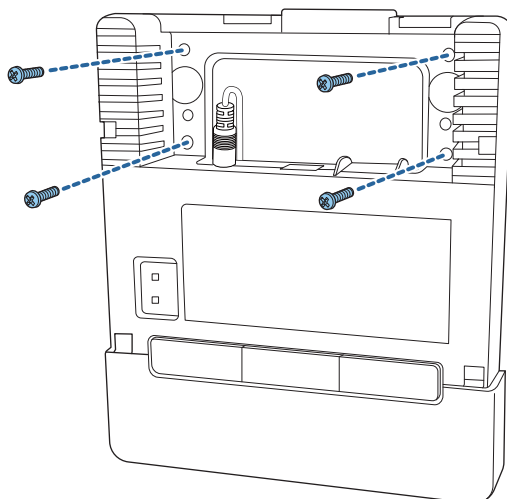


- 2 電源ケーブルを接続して、余ったケーブルを背面に入れる



3

取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×4本）で固定する



 警告

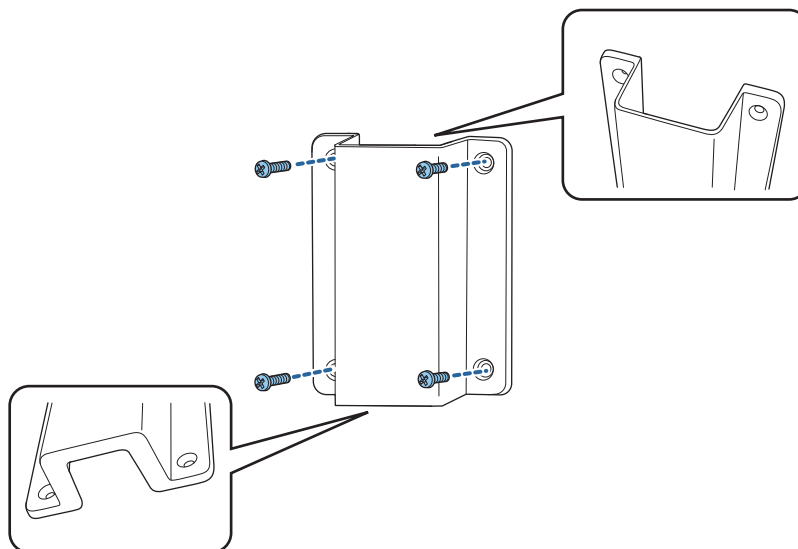
- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- コントロールパッドが確実に固定されていることを確認してください。
- コントロールパッドを両面テープやマグネットで固定しないでください。



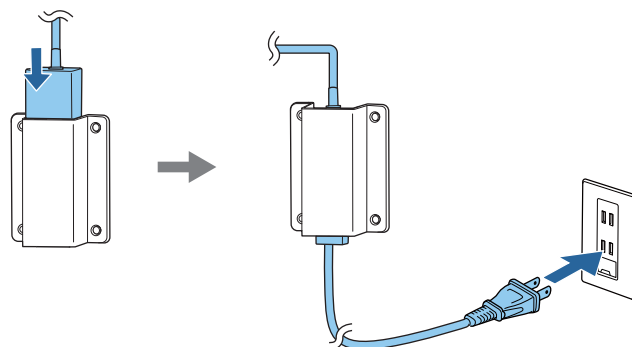
ネジで固定する前に、コントロールパッドの動作確認を行うことをお奨めします。

4

ACアダプターを市販のM4ネジ（4本）で壁に固定する

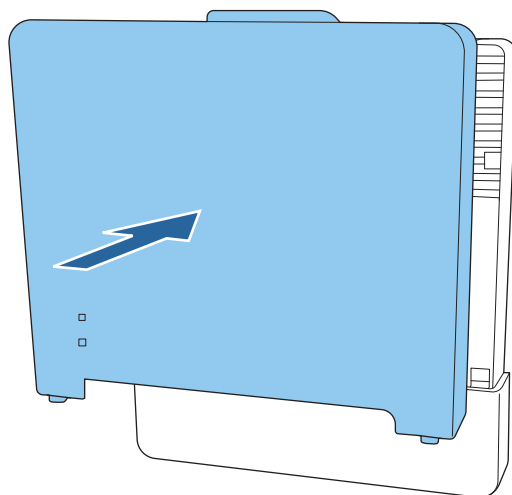


5 ACアダプターをホルダーに入れて、電源に接続する



6 プロジェクターに接続されているケーブルを、コントロールパッドに接続する
接続方法は「タッチユニットとコントロールパッドの接続」 [p.16](#)をご確認ください。

7 前面カバーを取り付ける



ペンスタンドに関するご注意

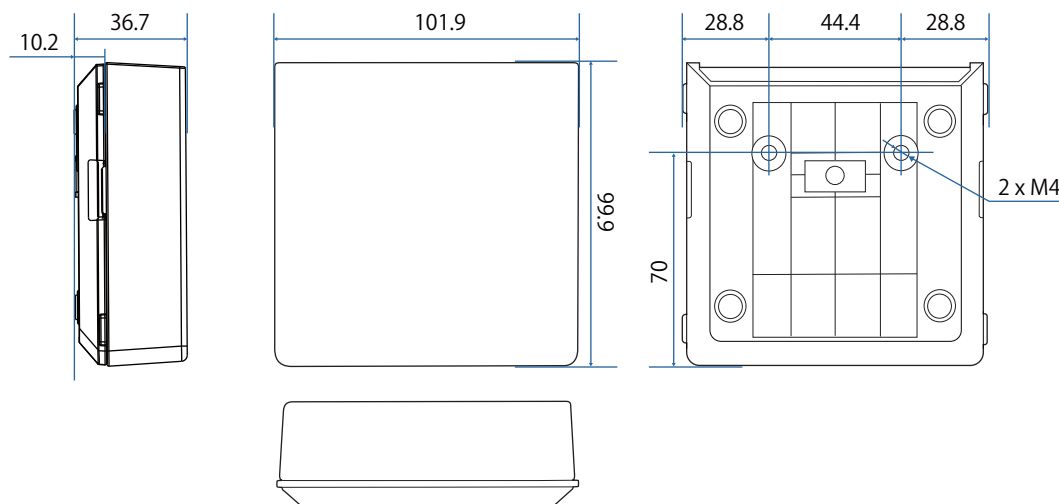
 警告	
心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、ペンスタンドに近づかないでください。また、ペンスタンドを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。 マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。	
 注意	
磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をペンスタンドに近づけないでください。 マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。	
ペンスタンド背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。	

ペンスタンド仕様

項目	仕様
ペンスタンド質量	約93g

外形寸法

[単位 : mm]

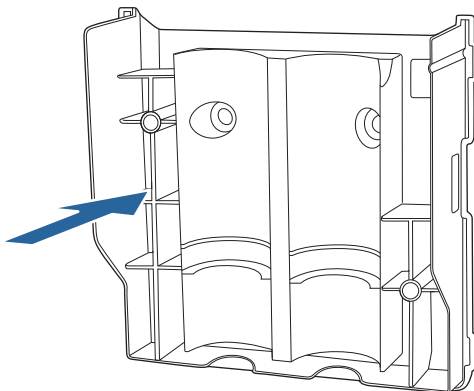


ペンスタンド取り付け手順

ペンスタンドはマグネットまたは市販のM4ネジで固定します。

マグネットで固定する場合

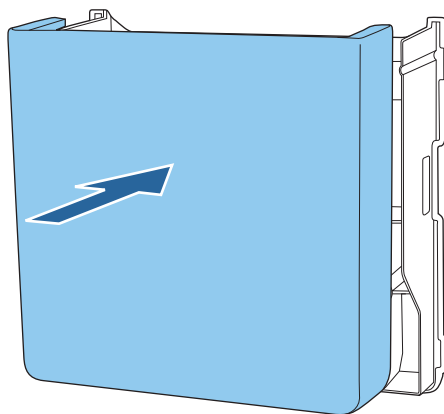
1 取り付け位置を確認して、マグネットで固定する



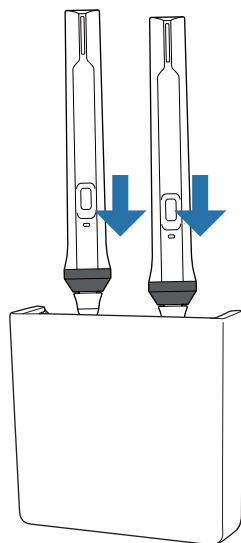
注意

マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。

2 カバーを取り付ける

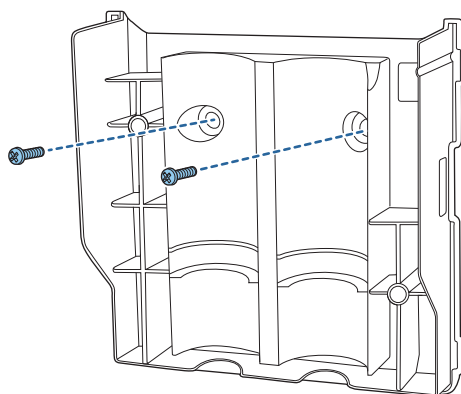


3 インタラクティブペンを収納する



ネジで固定する場合

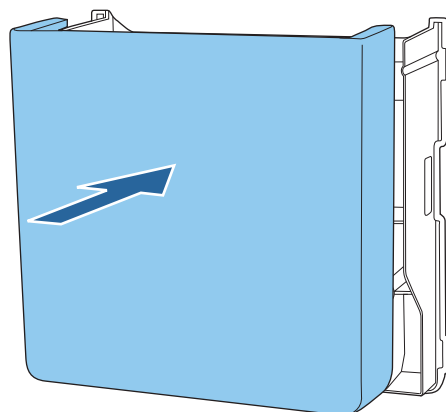
1 取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×2本）で固定する



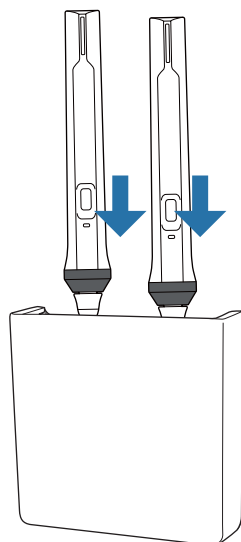
警告

- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- ペンスタンドが確実に固定されていることを確認してください。

2 カバーを取り付ける



3 インタラクティブペンを収納する



インタラクティブペンの位置合わせ

ペン位置合わせを行う前に、プロジェクターの映像調整を済ませてください。

ペン位置合わせは、[自動ペン位置合わせ] と [手動ペン位置合わせ] の2つの方法があります。

[自動ペン位置合わせ] で位置が合わない場合、[手動ペン位置合わせ] で位置合わせをします。
(p.90)

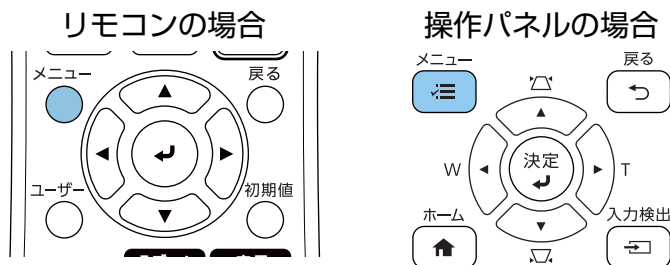


[スクリーンタイプ] を [16:6] に設定しているときは、ソフトペン先をハードペン先に交換してお使いください。

手動ペン位置合わせ

1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】 ボタンを押す



2

【ペン／指タッチ】 メニューで [手動ペン位置合わせ] を選択する

よく使う項目	ペン/指タッチ
映像調整	自動ペン位置合わせ
信号入出力	手動ペン位置合わせ
設定	タッチユニット
表示	複数台設置
動作	ペンホバリング オン
管理	PC操作
ネットワーク	ペン/指タッチ初期化
ペン/指タッチ	インタラクティブ
インタラクティブ	描画機能を利用する オン
マルチプロジェクション	ツールバー表示 常に表示
メモリー	描画エリア表示
節電	画面クリア確認 オン
初期・全体設定	ペンボタン動作 消しゴム
	時計表示 日付&時刻 ^
	日付 YYYY-MM-DD
	時刻 HH:MM
	プリント



複数台のプロジェクターを並べて設置しているときは、隣に設置したプロジェクターの映像を一時的に遮断するようメッセージが表示されます。メッセージに従って、【A/Vミュート】 ボタンを押して隣のプロジェクターの映像を遮断してください。

3

画面の内容を確認して、[はい] を選択する

[手動ペン位置合わせ]

スクリーンに表示されるマークをペンで押します。

右下に表示される最後のマークまでこの操作を繰り返してください。

準備ができたなら、開始します。よろしいですか？

はい

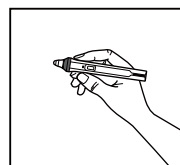
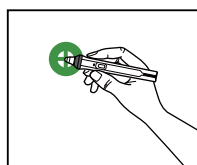
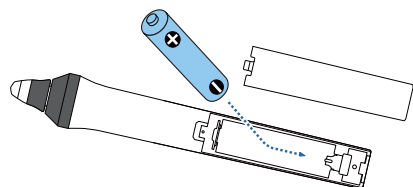
いいえ

投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

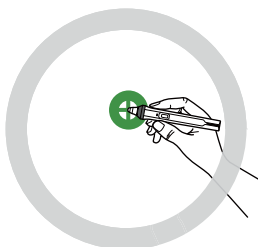
4

ドットの中心をインタラクティブペンのペン先で押す

ドットが消えて次の位置に移動します。



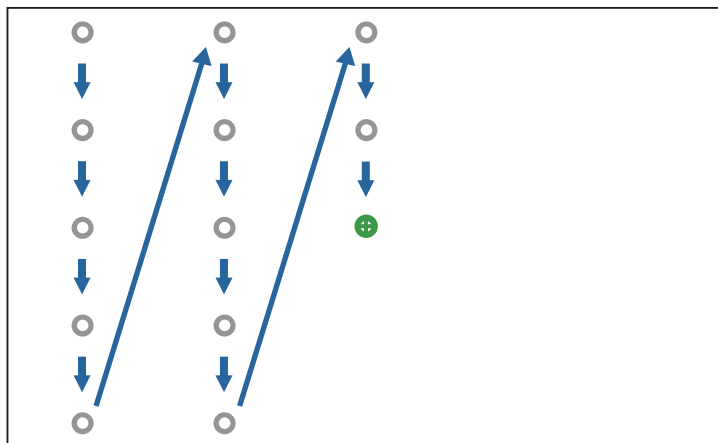
必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



5

すべてのドットが消えるまで、手順4を繰り返す

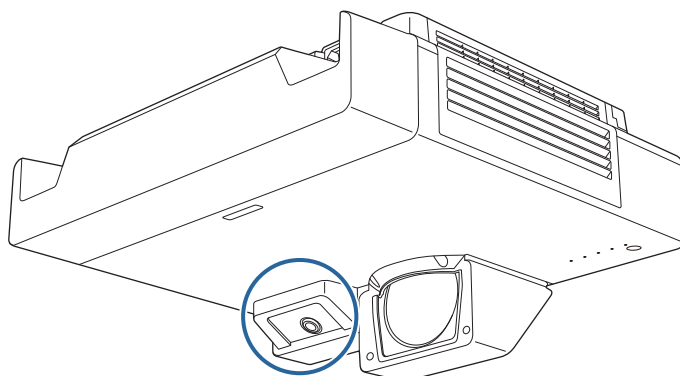
ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動ペン位置合わせが完了します。



- インタラクティブペンとインタラクティブペン受光部（下図）との間に障害物がないことを確認してください。



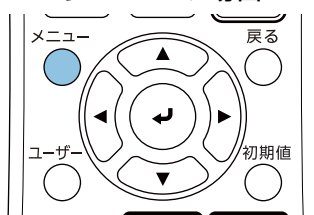
- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

自動ペン位置合わせ

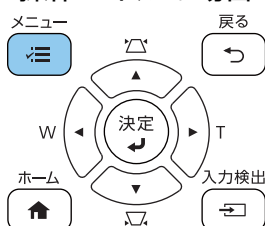
1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

リモコンの場合

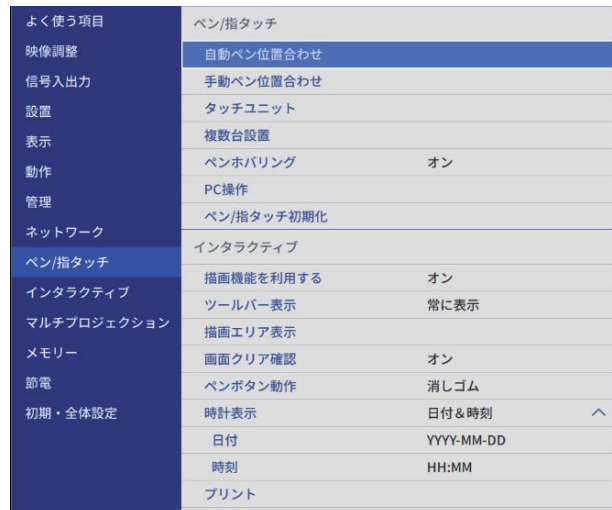


操作パネルの場合



2

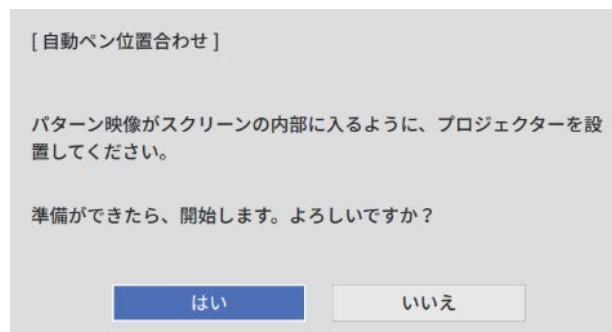
【ペン／指タッチ】メニューで【自動ペン位置合わせ】を選択する



複数台のプロジェクターを並べて設置しているときは、隣に設置したプロジェクターの映像を一時的に遮断するようメッセージが表示されます。メッセージに従って、【A/Vミュート】ボタンを押して隣のプロジェクターの映像を遮断してください。

3

パターン映像が投写面に収まっていることを確認して、【はい】を選択する



自動的にペン位置合わせが始まります。



自動ペン位置合わせが失敗したときは、画面の指示に従って周辺環境を確認してください。または、【手動ペン位置合わせ】を行ってください。

タッチユニットに関するご注意

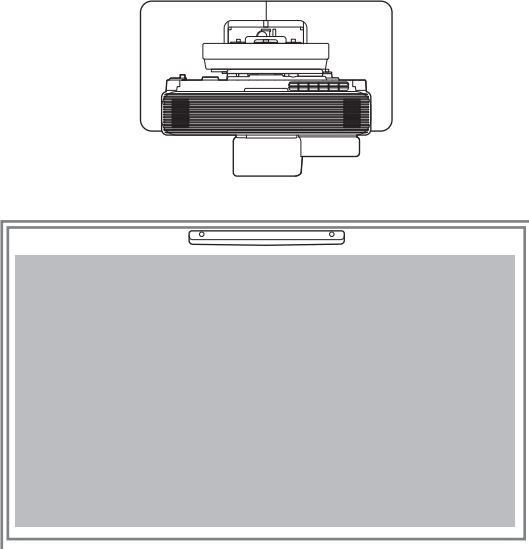
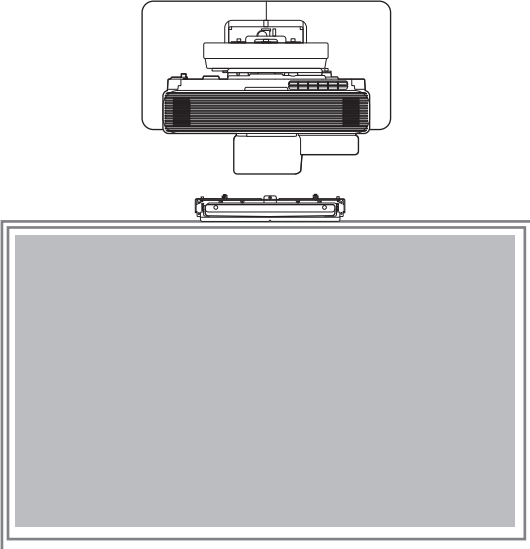
 警告	
タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。 タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故の原因となります。	
タッチユニットをEB-1485FT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。 機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。	
心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。 マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。	
 注意	
磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。 マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。	
タッチユニット背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。	
タッチユニットを廃棄する場合は分解しないでください。 国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。	

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

タッチユニットの設置場所

タッチユニットは取り付け先によって固定方法が異なります。

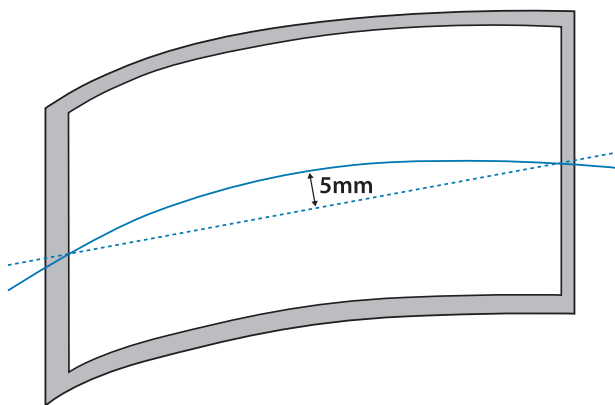
投写面に取り付ける場合：マグネットまたはネジで固定	投写面以外に取り付ける場合：タッチユニット取り付け金具を使って固定
	

注意

タッチユニットを使用するときは、スクリーンの正面側に映像を投写してください。リアスクリーンに投写した映像では指タッチ操作できません。



タッチユニットを設置する前に、設置面にそりやゆがみがなく平らで、スクリーン表面の凹凸が5mm以下であることを確認してください。



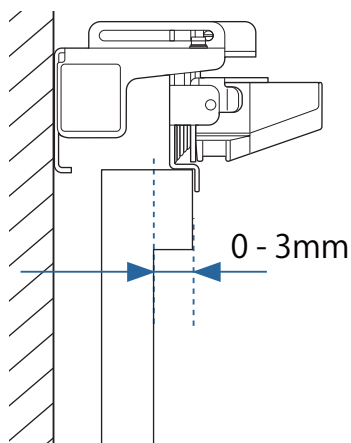
タッチユニット取り付け金具に関するご注意



注意

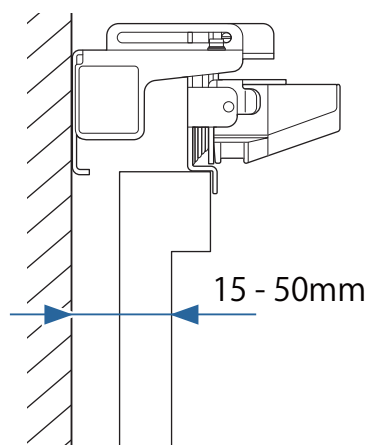
スクリーンの周りに枠がある場合は、上枠の厚みが3mm以内であることを確認してください。

上枠の厚みが3mmを超えると、タッチユニットが正しく動作しません。



壁からスクリーン表面までの長さが50mm以内であることを確認してください。

50mmを超える場合は、タッチユニット取り付け金具を設置できません。

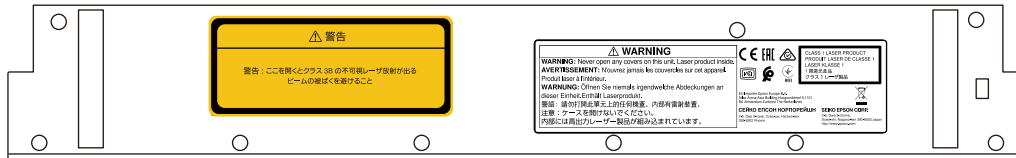


レーザーに関するご注意

添付のラベルについて

タッチユニットは、JIS C 6802:2018に適合したクラス1レーザー製品です。

タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。

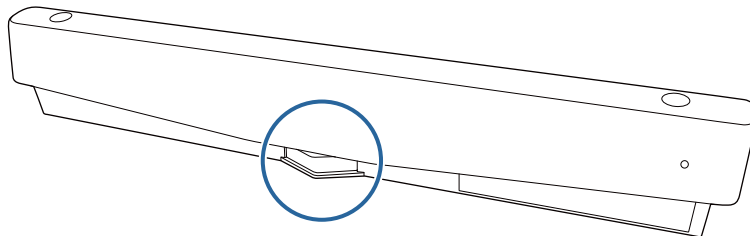


ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザ製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
 - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
 - ビームの被ばくを避けること

レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。

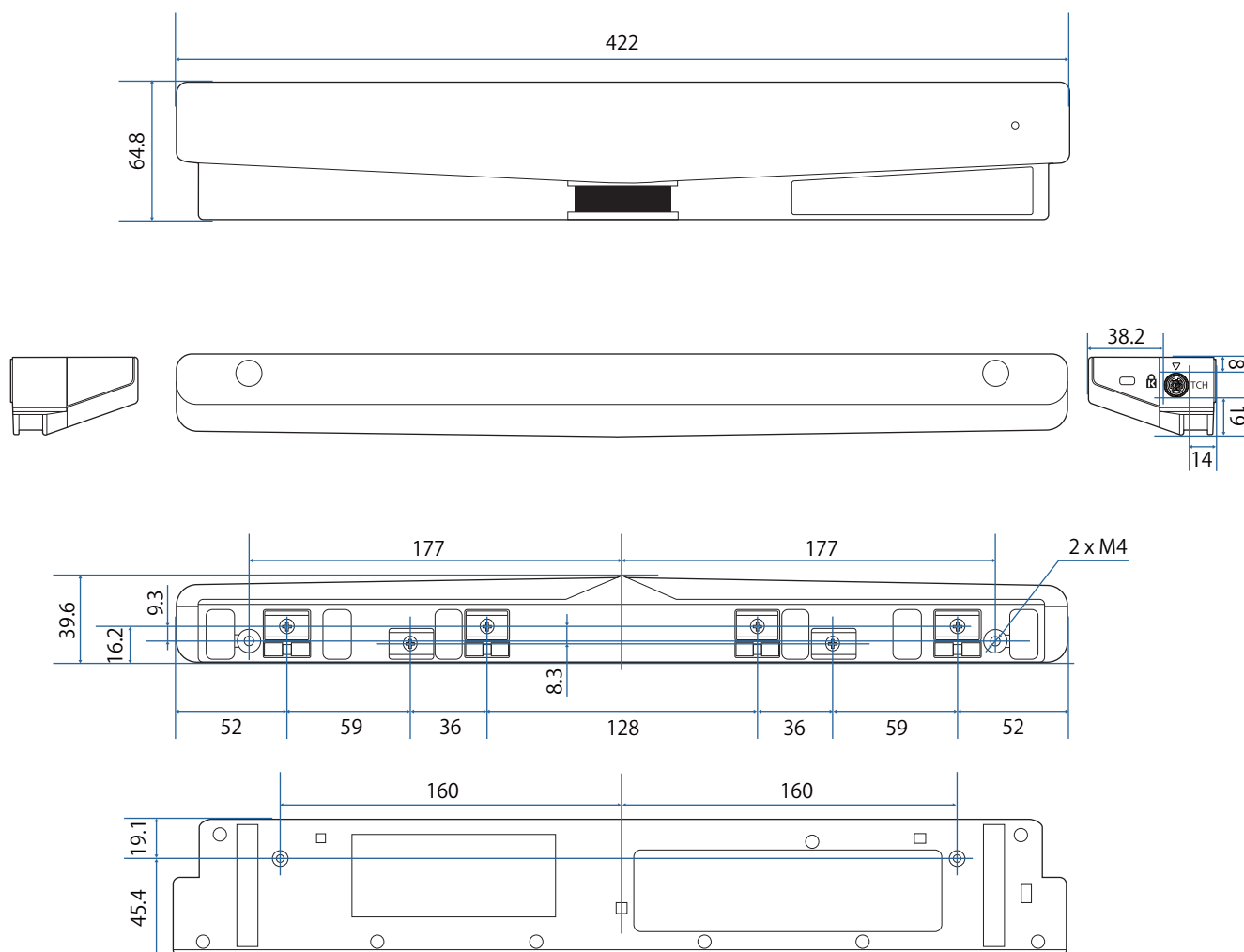


- 光源出力：最大 285W
- 波長：932 - 952nm

タッチユニット仕様

項目	仕様
タッチユニット質量	約0.6kg
動作温度範囲	0 - 40℃
電源（プロジェクター本体から供給）	5VDC 0.65 A

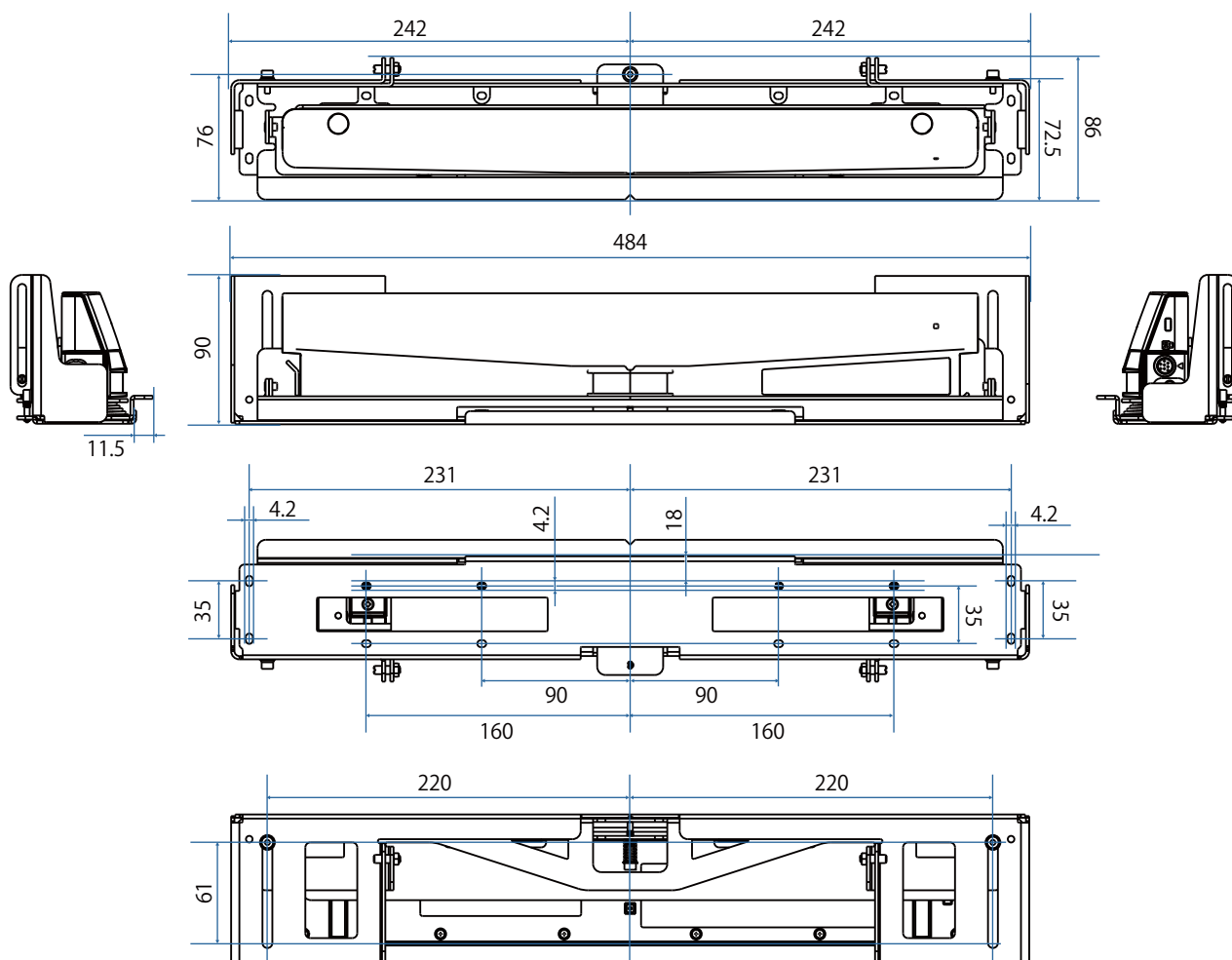
外形寸法



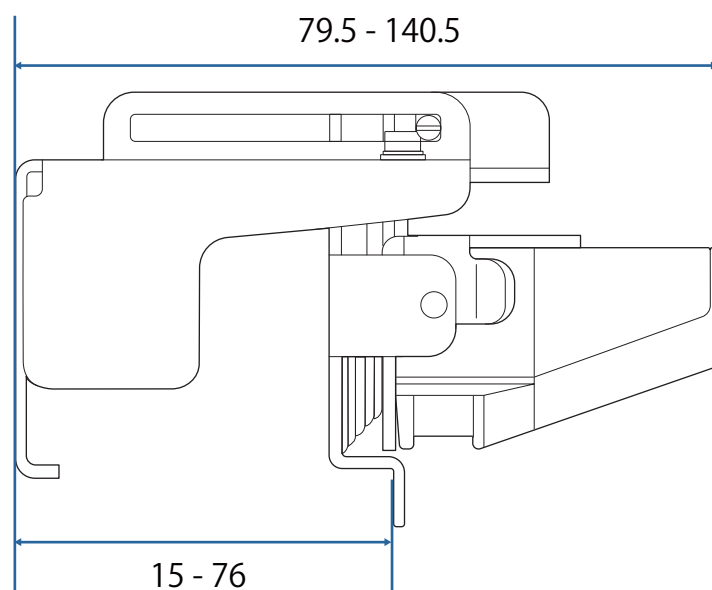
タッチユニット取り付け金具仕様

項目	仕様
タッチユニット取付金具質量	約1.8kg
最大荷重	約8.8kg

外形寸法



調整範囲

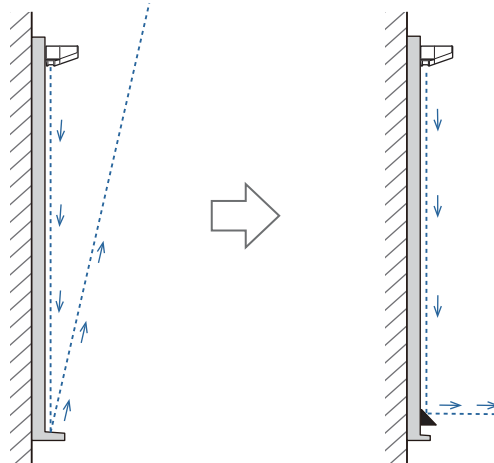


■ タッチユニット取り付け手順

赤外線ディフレクターを取り付ける

投写面の下部にフレームやトレイなどの障害物があるときは、赤外線ディフレクターを貼りつけてください。

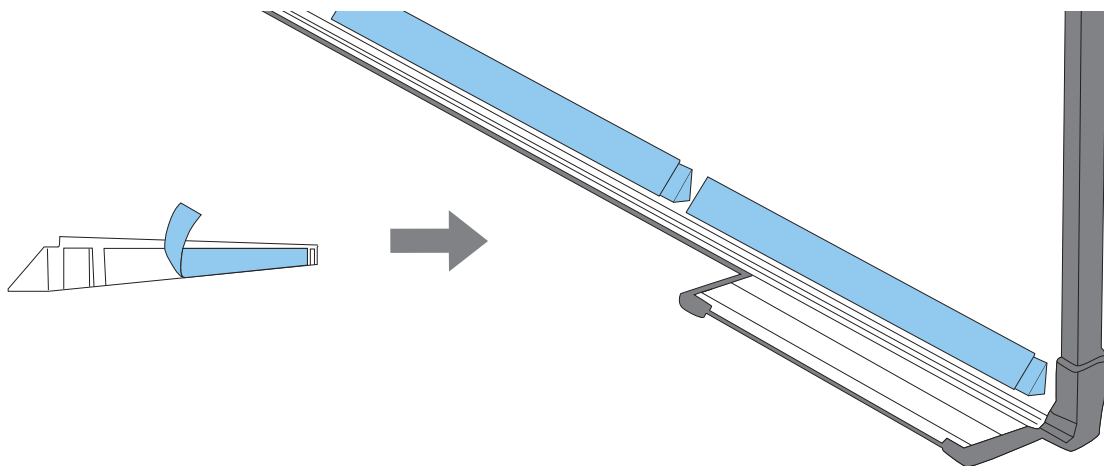
障害物があると下図のようにレーザーが反射して、指の位置が正しく検出されないことがあります。



- 既に赤外線ディフレクターを貼り付けてある場合は、剥がさずにそのままお使いください。
- 同じ壁面に複数台のタッチユニットを設置するときも、赤外線ディフレクターなどの仕切りを設置してレーザーの反射対策をしてください。詳しくは「複数台のタッチユニットを近くに設置するときは」 [p.15](#)をご確認ください。

1

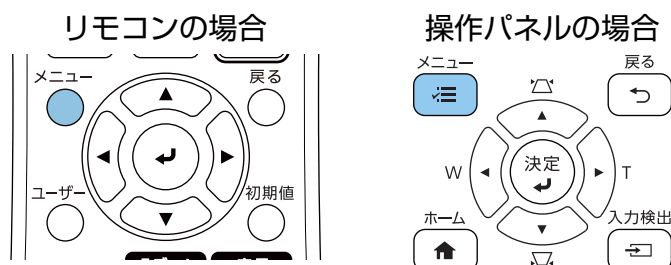
障害物のある位置に、同梱の赤外線ディフレクターを貼りつける



タッチユニットを取り付ける

■ 取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



2 【設置】メニューで【タッチユニット】を選択する

よく使う項目	設置
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設置	セッティングプレート調整ガ...
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3 【設置パターン】を選択する

[タッチユニット]	戻る
設置パターン	
電源	オフ
タッチ補正範囲	狭い

投写画面に設置パターンが表示されます。

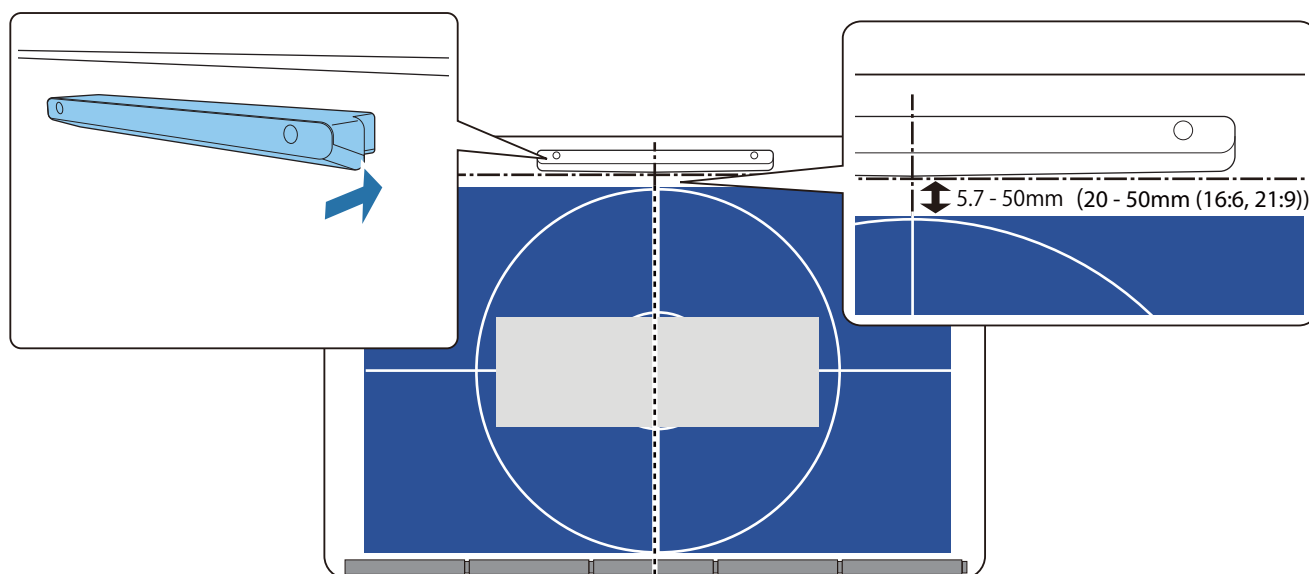


4 マグネットが使える面に取り付ける場合は、取り付け位置を確認してタッチユニットをマグネットで固定する

マグネットが使えない面に取り付ける場合は、次の手順へ進んでください。

⚠ 注意

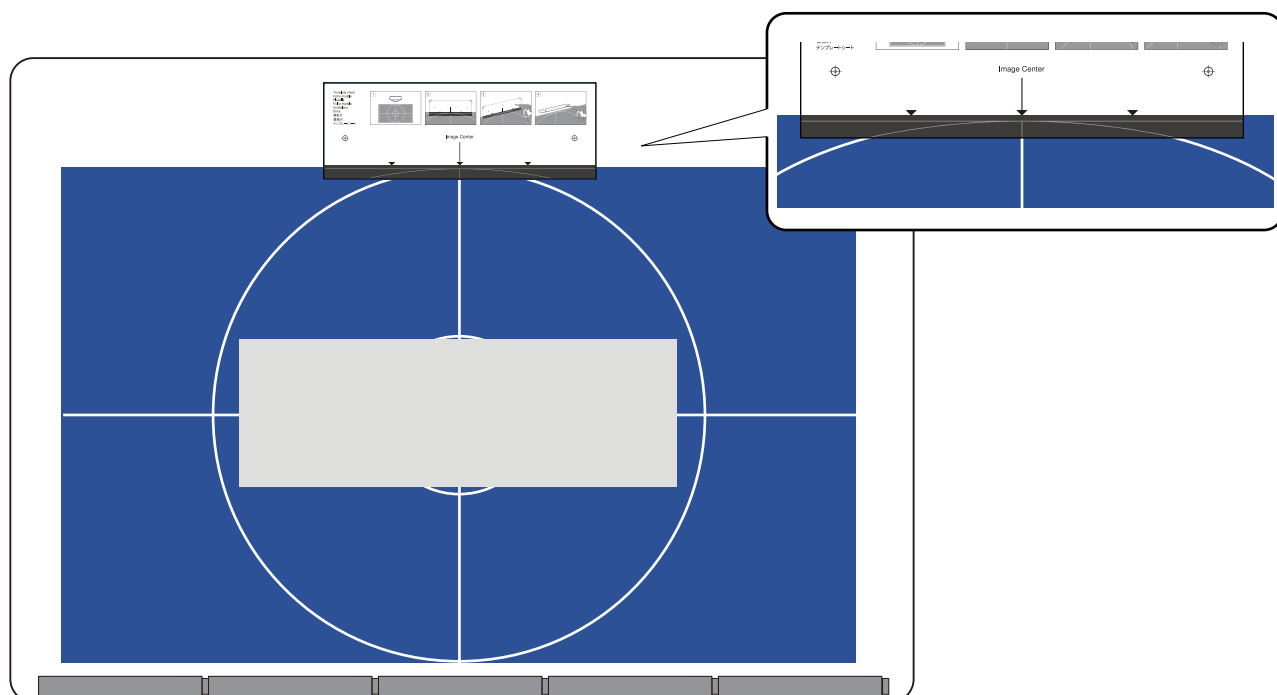
マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようにご注意ください。



固定できたら、「タッチユニットの電源を入れる」 [p.108](#)へ進んでください。

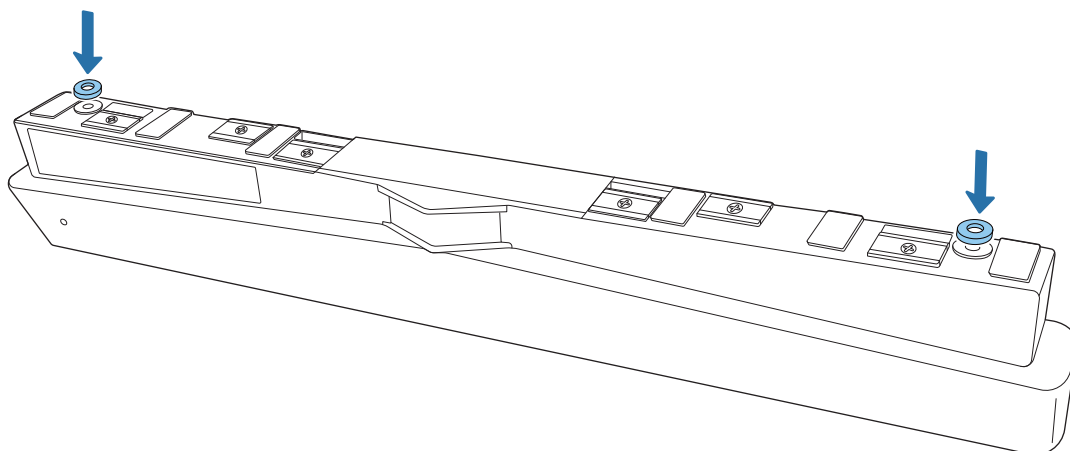
5 マグネットが使えない面へ取り付ける場合は、タッチユニットの取り付け位置にテンプレートシートを貼る

下図のように、テンプレートシートの下側が設置パターンに重ねて貼りつけます。

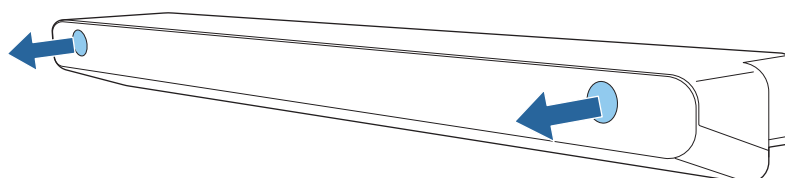


6 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

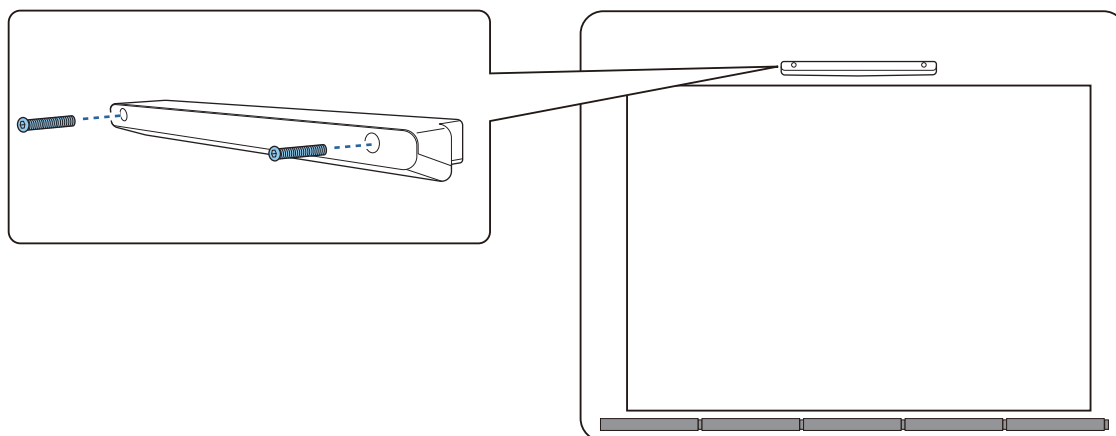
7 タッチユニット背面のネジ穴に、同梱のスペーサー（2個）を貼りつける



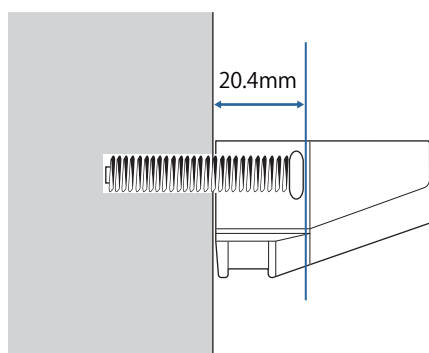
8 タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



9 市販のM4ネジ（2本）でタッチユニットを固定する

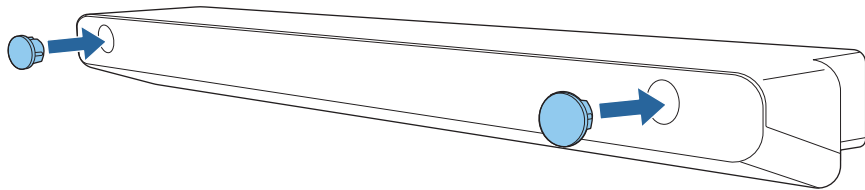


タッチユニット内のネジ穴深さは以下のとおりです。



10

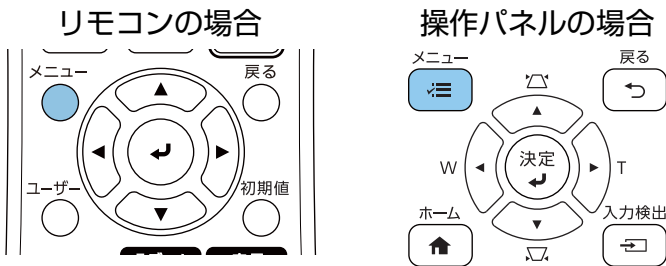
タッチユニット前面のネジ穴に、手順8で外したゴムキャップを取り付ける



■ 取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合

1

プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す



2

【設置】メニューで【タッチユニット】を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整ガ...
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3

【設置パターン】を選択する

[タッチユニット]		戻る
設置パターン		
電源	オフ	
タッチ補正範囲	狭い	

投写画面に設置パターンが表示されます。

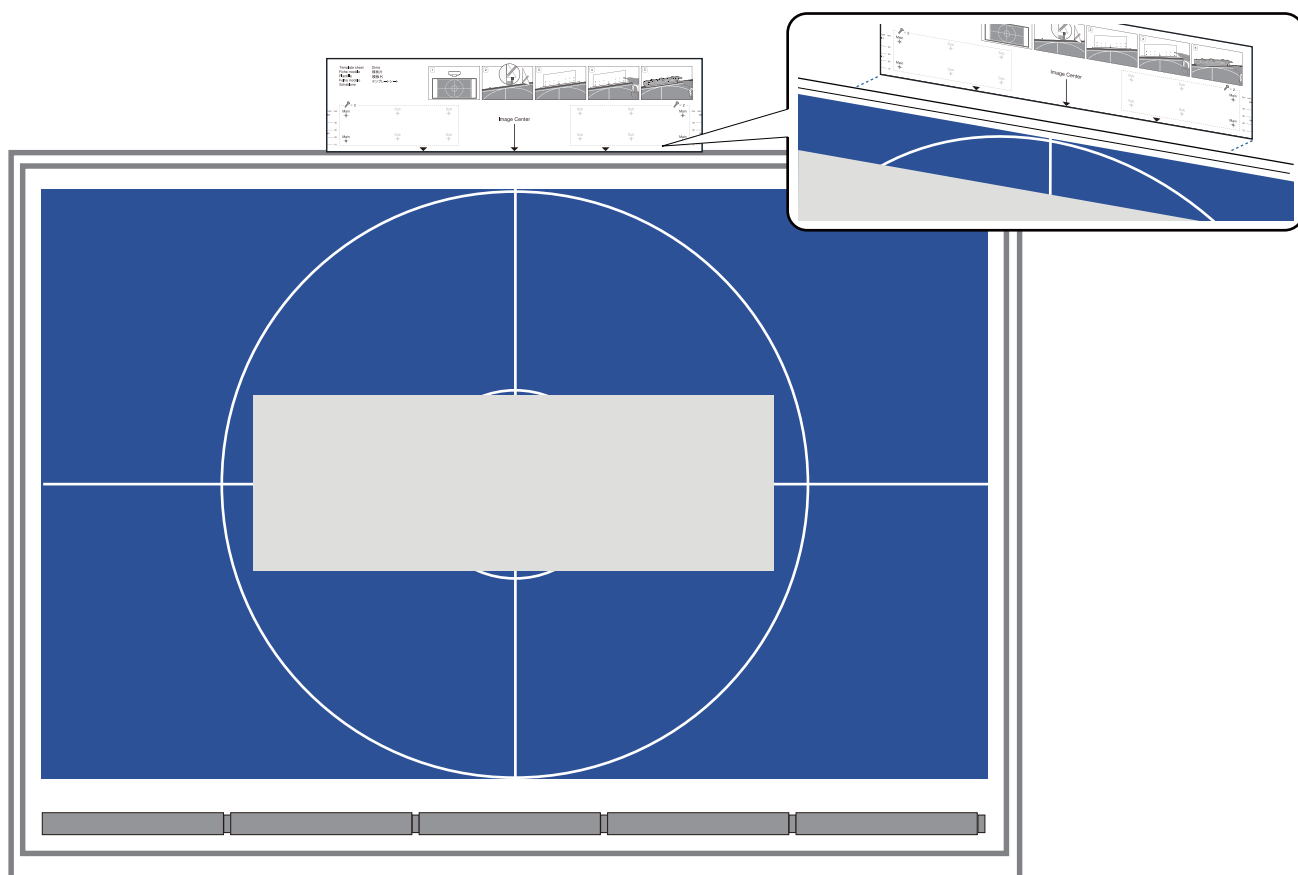


4

タッチユニット取り付け金具のテンプレートシートを貼る

投写面の上端とテンプレートシートの下端を合わせてください。

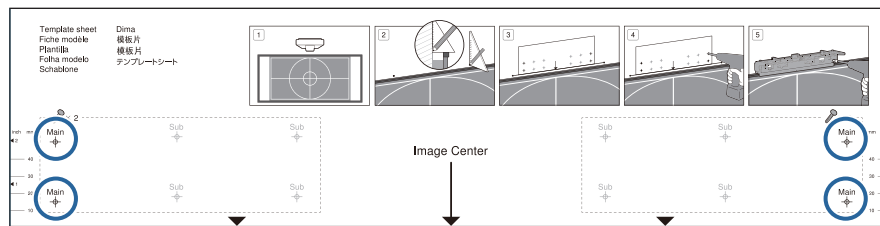
取付金具の設置面と投写面間にすき間がある場合は、事前に貼りつけ位置に目印の線などをひいておくことをお勧めします。



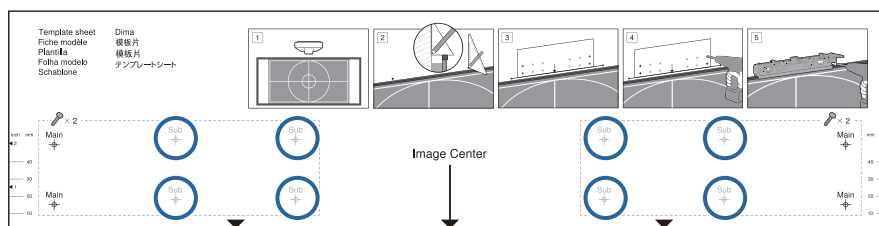
5

設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

テンプレートシートにMainと記載されている箇所（4箇所）に穴を開けます。

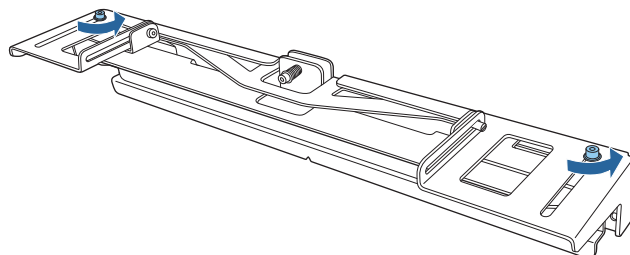


設置面の状況に応じて、Subと記載されている箇所でも固定できます。
バランスのとれる4箇所（左右2箇所ずつ）に穴を開けてください。



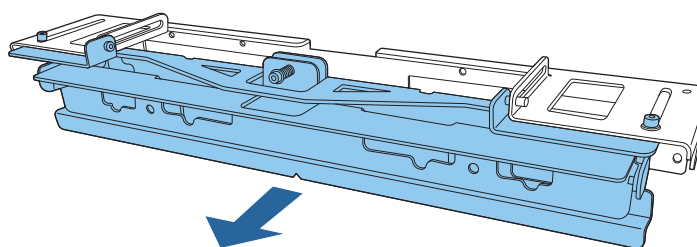
6

取り付け金具の上部にあるネジ（2本）を緩める



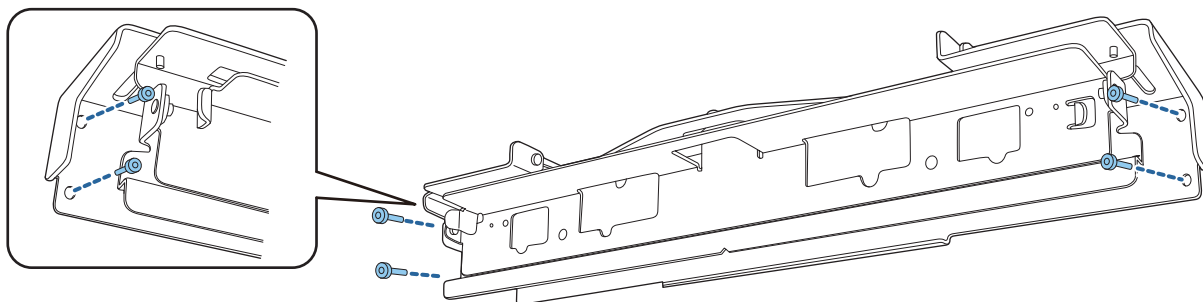
7

金具前面のパーツを前側いっぱいにはスライドさせる

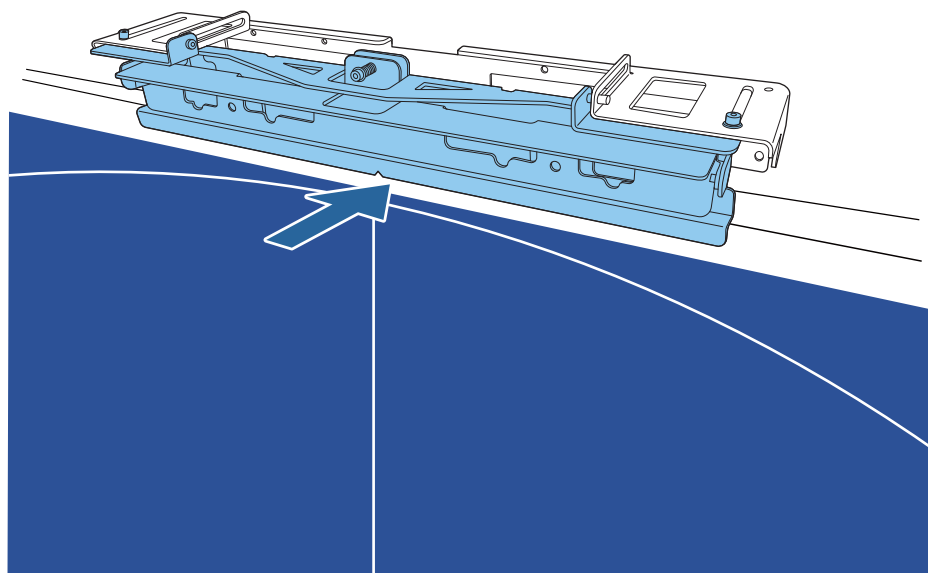


取り付け時にスライド部がずれないように、手順6で緩めた上部ネジ（2本）を軽く締め直してください。

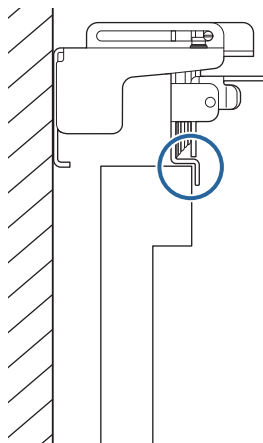
- 8 市販の直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）またはM4のアンカーボルト（4本）で取り付け金具を壁に固定する



- 9 投写面に合うように取り付け金具をスライドさせる

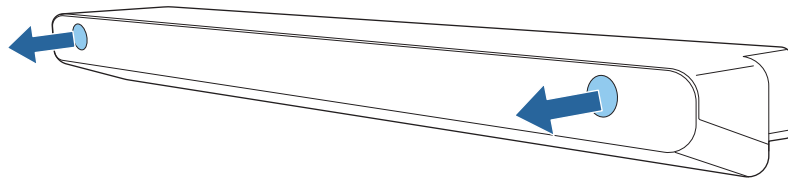


取付金具の下端が投写面に接するまでスライドさせます。



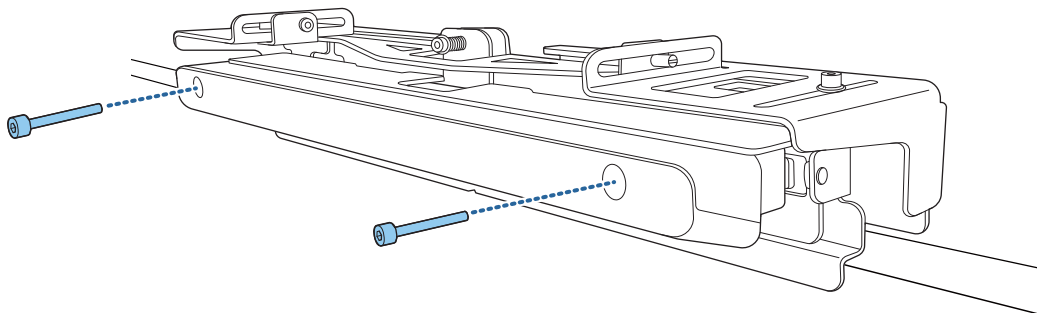
10

タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



11

同梱のM4 x 25mmボルト（2本）で、タッチユニットを取り付け金具に固定する

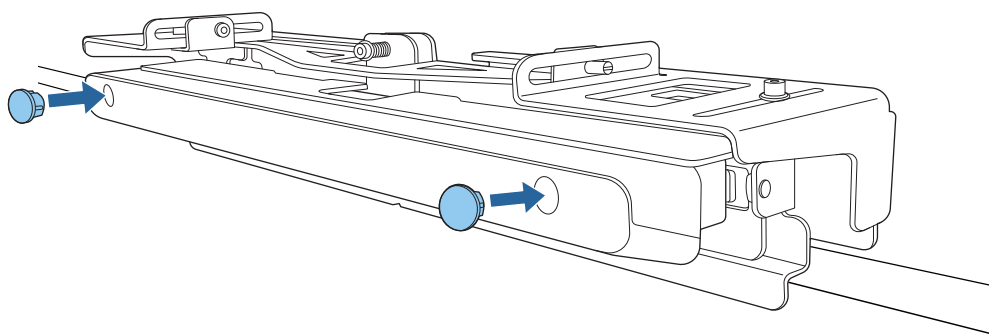


注意

タッチユニットの裏面には強力なマグネットが付いています。タッチユニットと取り付け金具の間に手を挟まないようにご注意ください。

12

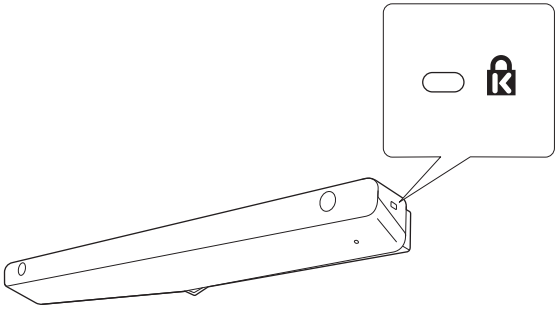
タッチユニット前面のネジ穴に、手順10で外したゴムキャップを取り付ける



セキュリティーケーブルを取り付ける

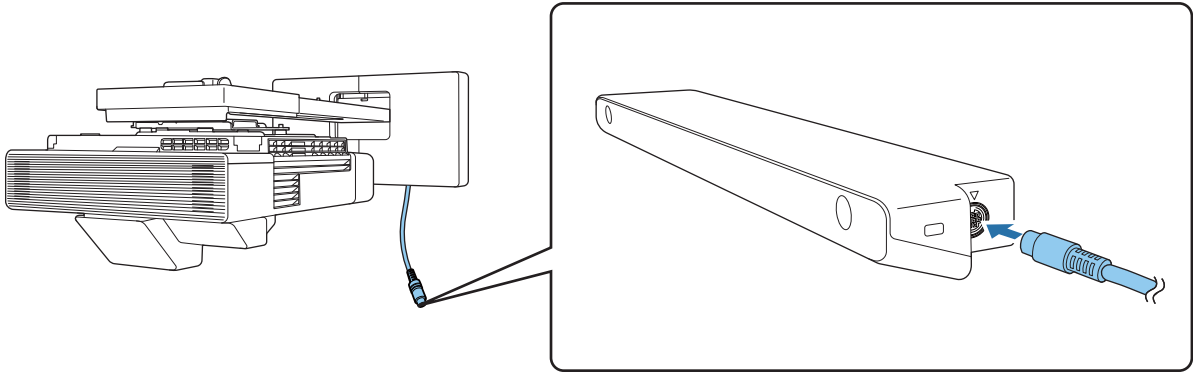
タッチユニットにはKensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットが搭載されています。マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

<http://www.kensington.com/>



タッチユニットの電源を入れる

- 1 プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH端子に接続する



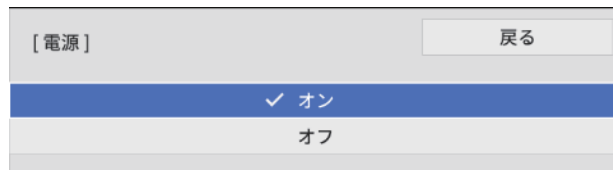
 タッチユニット接続ケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。ケーブルが奥まで差さっていないと、レーザーの角度調整時に旧モデルのタッチユニット向けのメニューが表示されることがあります。

- 2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

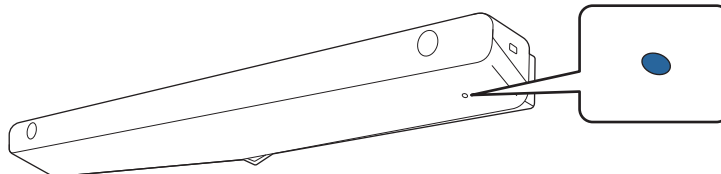
よく使う項目	設置	
映像調整	固定設置	オフ
信号入出力	テストパターン	
設置	セッティングプレート調整が...	
表示	縦置き	しない
動作	設置モード	フロント・上下反転
管理	自動画面調整	
ネットワーク	幾何学歪み補正	ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード	
インタラクティブ	Setting Assistant接続	
マルチプロジェクション	デジタルズーム	▼
メモリー	ELPCB02を接続する	オフ
節電	タッチユニット	
初期・全体設定	リモコン受光部	オフ
	スクリーンタイプ	16:9 ▼
	高地モード	オフ
	設置初期化	
	表示	

3

「電源」を「オン」にする



タッチユニットの電源がオンになり、インジケータが青色に点灯します。

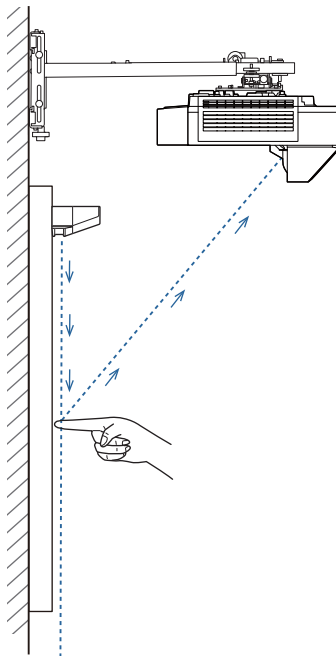


「電源」を「オン」に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッチユニットの電源も自動的にオンになります。

レーザーの角度を調整する（タッチユニット自動調整）

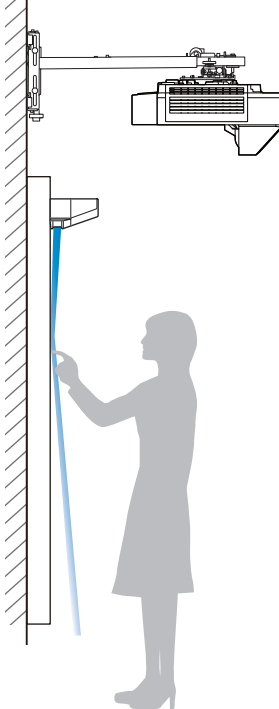
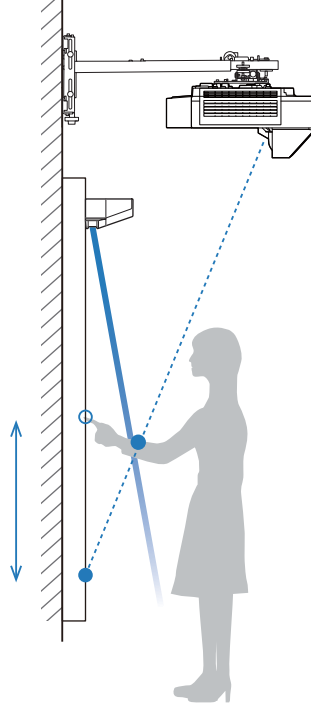
タッチユニットから赤外線レーザーがカーテン状に照射されます。投写面に触れた指に赤外線レーザーが反射し、反射した座標をプロジェクターの赤外線カメラが認識することで指の位置を検出します。

プロジェクターが指の位置を正しく検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの角度を調整します。



レーザーがスクリーンに対して平行に照射されていないと、指タッチ操作に反応しなかったり、指の位置がずれたりします。

レーザーがスクリーンに対して平行でない場合

	
• 投写面に指でタッチしても、指の位置が検出されることがあります。 • 投写面に指が触れていない場合でも指が触れていると検出され、意図しない指タッチ操作が行われることがあります。	• プロジェクターで検出される指の位置と、実際に投写面に触れている指の位置がずれ、意図した通りに指タッチ操作ができないことがあります。 • プロジェクターが指を検出したままの状態になり、クリックの動作を認識しないことがあります。



レーザーの角度を調整する前に、下記を確認してください。

- インタラクティブペンの位置合わせが終わっていること (☞ p.88)
- エッジブレンディングの設定が無効になっていること

[エッジブレンディング] が [オン] になっていると、レーザーの角度調整が正しく動作しない可能性があります。一時的に [エッジブレンディング] を [オフ] にして、再度ペンの位置合わせを行ってからレーザーの角度調整を実行してください。

- 2台のプロジェクターを並べて設置しているときは、[マルチプロジェクション] メニューの [HDMI Out設定] を [複数台連結] に設定する



画面の指示に従ってプロジェクターを再起動してください。

2

〔設置〕メニューで〔タッチユニット〕を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設定 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整が…
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3

〔タッチユニット設置（自動）〕を選択する

〔タッチユニット〕	戻る
設置パターン	
電源	オン
タッチユニット設置(自動)	
タッチユニット設置(手動)	
指タッチ位置合わせ	
タッチ補正範囲	狭い

2台のプロジェクターを並べて設置しているときは、画面の指示に従って、隣のプロジェクターの〔設置〕メニュー - 〔タッチユニット〕 - 〔電源〕を〔オフ〕にしてください。

4

取り付け金具の有無を選択する

〔角度調整〕

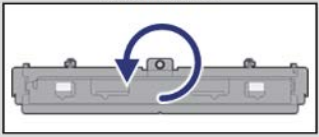
取り付け金具を使わない

取り付け金具を使う

タッチユニットを取り付け金具に固定するかどうかを選択してください。

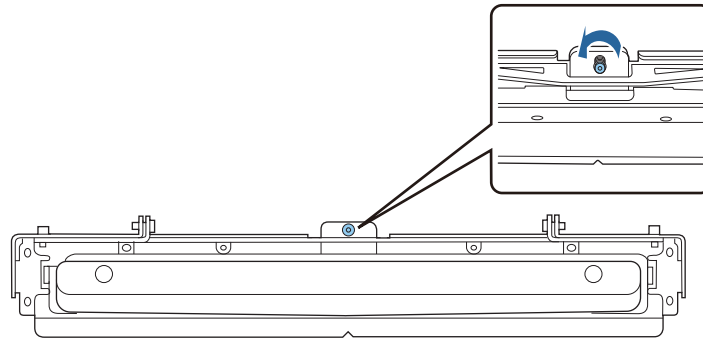
調整前に、取り付け金具の調整ネジを反時計回りいっぱいに戻してください。

取り付け金具

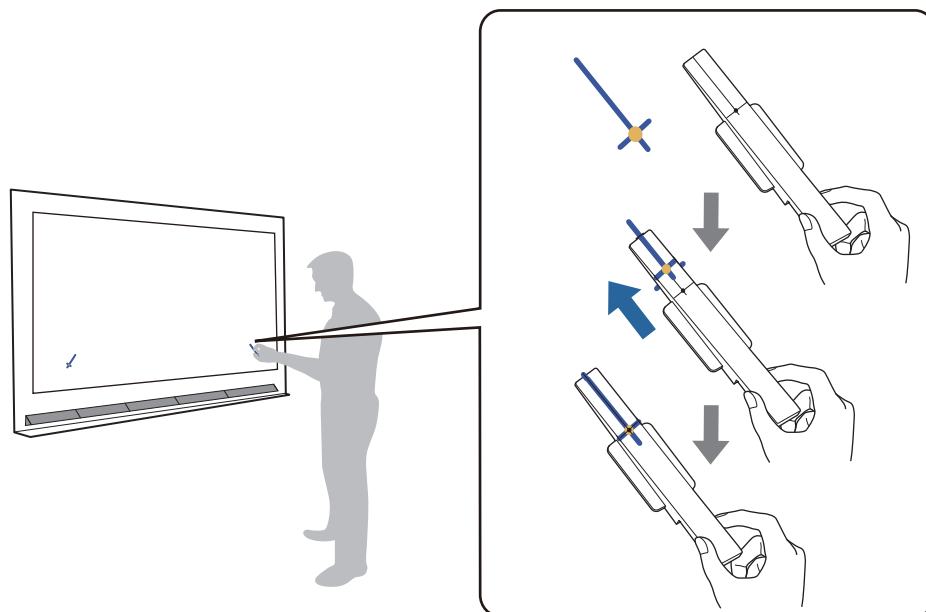



- ELPFT01を接続しているのに旧モデルのタッチユニット向けの画面が表示されるときは、タッチユニット接続ケーブルの接続を確認してください。

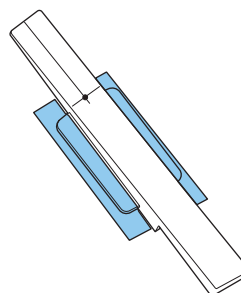
- 5 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを反時計回りいっぱい回す



- 6 投写画面のマーカースettings位置（2箇所）に、同梱のマーカースettingsを重ねて固定する



- マグネットが使えるスクリーン：マーカースettingsの底面をスクリーンに付けて固定します。
- マグネットが使えないスクリーン：同梱のテープで下図のように固定します。



 角度調整中は、マーカースettings以外のものを投写画面上に近付けないでください。投写画面上にマーカースettings以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。

- 7 【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

 投写面によっては、自動調整に数分かかる場合があります。

8 [タッチユニットの調整が完了しました] とメッセージが表示されたら、投写面からマーカーを取り外す

自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.115](#) をご確認ください。

9 プロジェクター1台のみを設置しているときは、画面に表示された（●）を指で押して、同じ位置に（●）が表示されるか確認する

4つすべての（●）を押して確認してください。

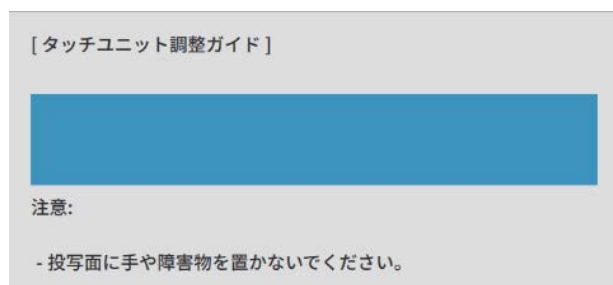
画面	状態
	指で触れている場所と、（●）が表示される場所が同じであれば、正しく調整されています。
	指で触れている場所と異なる場所に（●）が表示される場合は、操作パネルまたはリモコンを使って[上げる]を1回選択します。その後、もう一度（●）を指で押して確認します。 正しい位置に（●）が表示されるまで繰り返してください。

4箇所の（●）に触れてそれぞれ正しい位置に（●）が表示されるようになったら、調整は完了です。

「指タッチ操作の位置合わせ」 [p.124](#)へ進んでください。

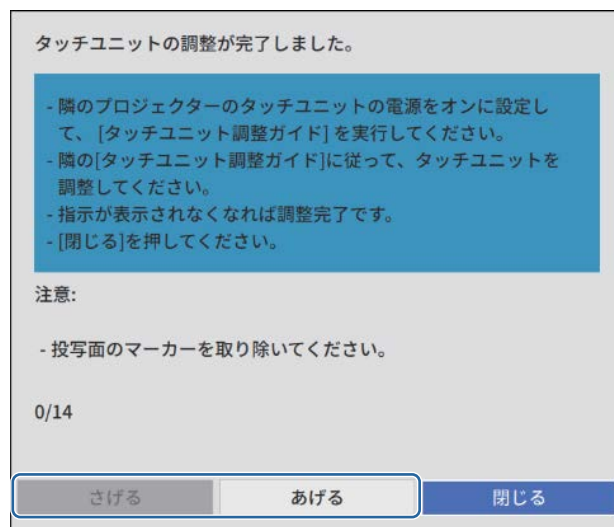
10 2台のプロジェクターを設置している場合は、隣のプロジェクターで[設置] - [タッチユニット] - [タッチユニット調整ガイド] を選択する

隣のプロジェクターに以下の画面が表示されます。



11

隣のプロジェクターの画面の指示に従って、[さげる] または [あげる] を押す



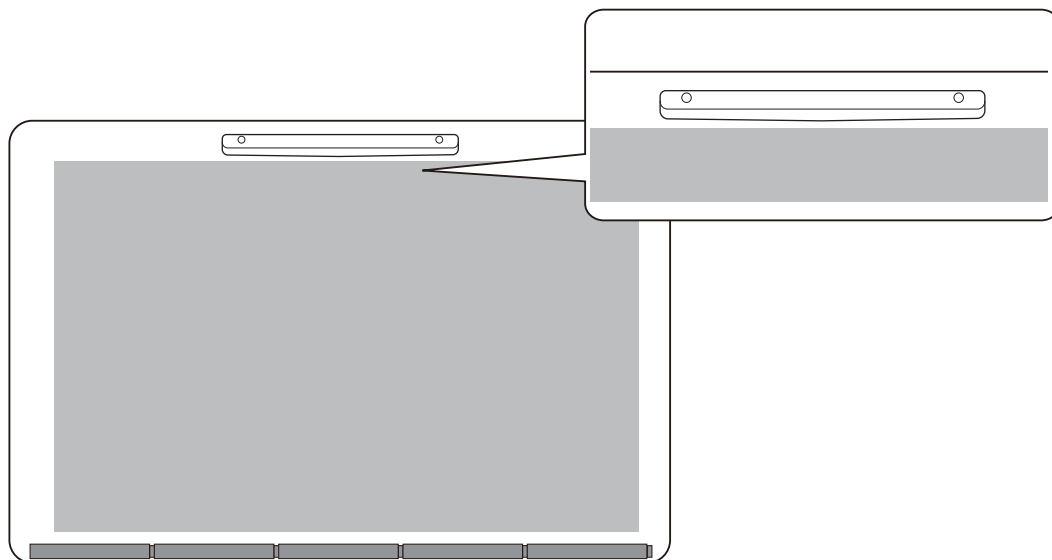
隣のプロジェクターの画面に指示が表示されなくなったら、調整完了です。

■ 自動調整に失敗したときは

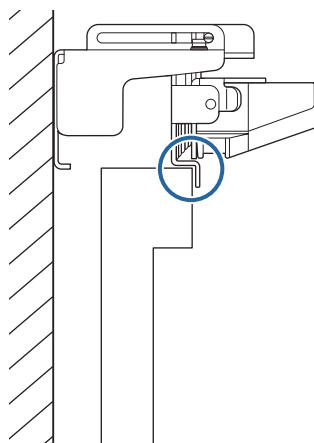
1

タッチユニットの取り付け位置が正しいことを確認する

- タッチユニットと投写映像が平行になっていることを確認してください。



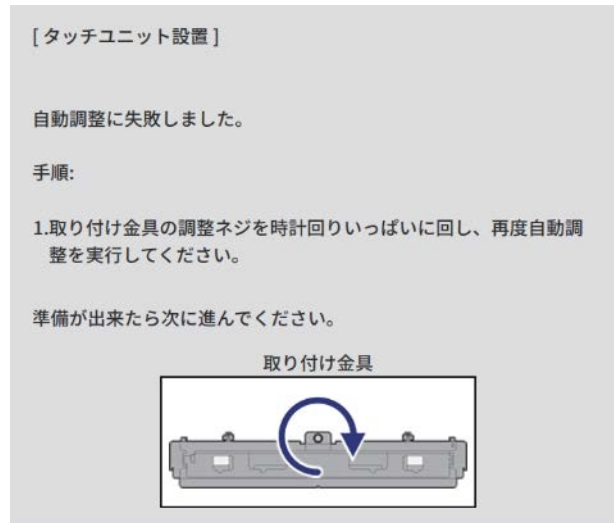
- タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、金具の下端が投写面のフチに隙間なく接していることを確認してください。



2

表示されたメッセージを確認して、必要な対応を行う

- 以下の画面が表示されたときは、レーザーの角度を調整してから、再度自動調整を実行します。詳細は「レーザーの角度を再調整する」 [p.116](#)をご確認ください。



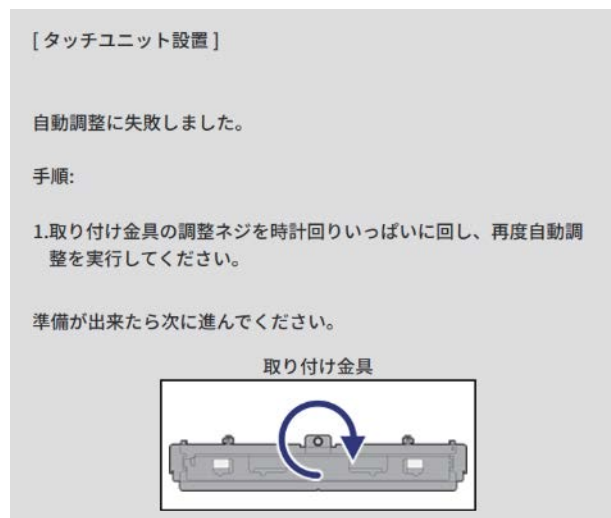
- 上記以外の画面が表示されたときは、画面に表示されている内容をすべて確認してください。すべて確認できたら、再度 [設置] メニューの [タッチユニット設置 (自動)] または [タッチユニット設置 (手動)] を実行してください。手動調整の詳細は、「レーザーの角度を手動で調整する」 [p.118](#)をご確認ください。



すべて確認しても問題が解決しない場合は、タッチユニット本体の故障の可能性があります。お買い上げの販売店へお問い合わせください。

レーザーの角度を再調整する

以下の画面が表示されたときの再調整方法を説明します。



1

決定ボタンを押す

以下の調整画面が表示されます。

[タッチユニット設置]

手順:

1. マーカーを置くと、ポインターが表示されます。
2. ポインターが表示されない場合は、取り付け金具の調整ネジを反時計回りに回してください。
3. 調整ネジを回して、左右両方のポインターを目標位置に合わせます。両方のポインターが塗りつぶされたら、取り付け金具調整は完了です。

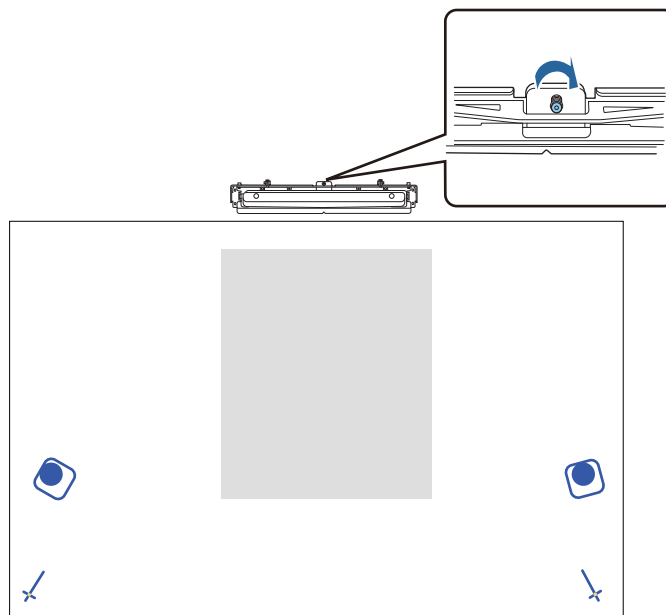
注意:

- 調整中は投写面に手や障害物を置かないでください。
- 調整中はマーカーとプロジェクター間を遮らないようにしてください。
- 両方のポインターが塗りつぶされない場合は、取り付け金具の取り付けをやり直してください。



2

調整ネジを時計回りに回して、左右のポインターを塗りつぶし状態にする



3

【決定】 ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

4

調整が完了して以下の画面が表示されたら、投写面からマーカースを取り外す



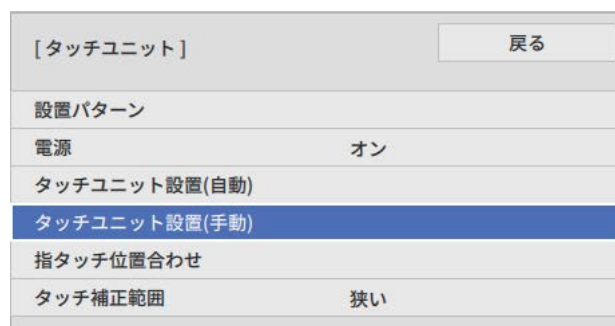
自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 [p.115](#)をご確認ください。

レーザーの角度を手動で調整する

[タッチユニット設置（自動）] が失敗するときは、手動で調整します。

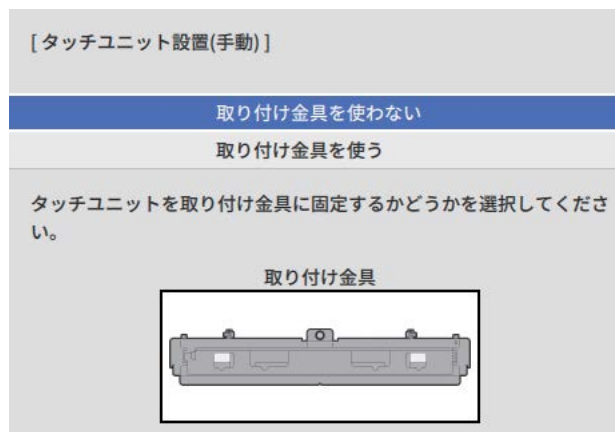
1

[設置] メニューで [タッチユニット] - [タッチユニット設置（手動）] を選択する



2

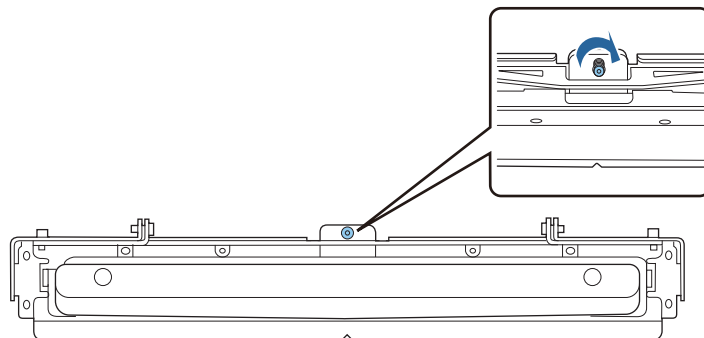
取り付け金具の有無を選択する



[取り付け金具を使わない] を選択した場合は、手順6へ進んでください。

3

タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを時計回りいっぱい回す



4

タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、投写画面のマーカースettings位置（2箇所）に、同梱のマーカを重ねて固定する



マーカを固定すると、投写画面の左右にポインタが表示されます。

ポインタが表示されていない場合は、表示されるまでタッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回します。

5

タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを回してポインターを動かして、目標位置に入れる



目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。

左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

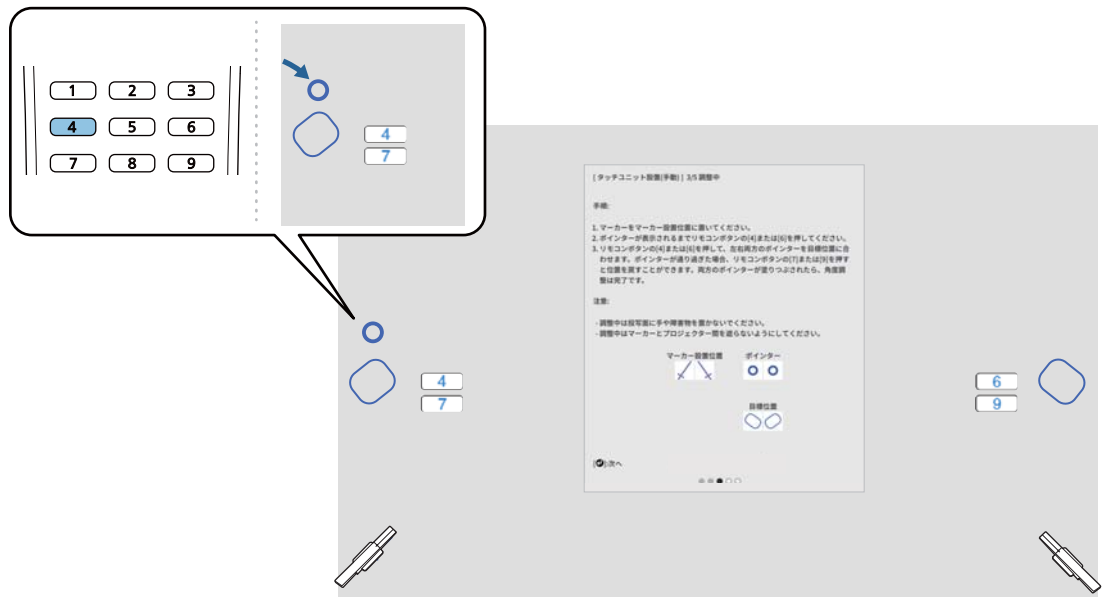
6

投写画面のマーカー設置位置（2箇所）に、同梱のマーカーを重ねて固定する



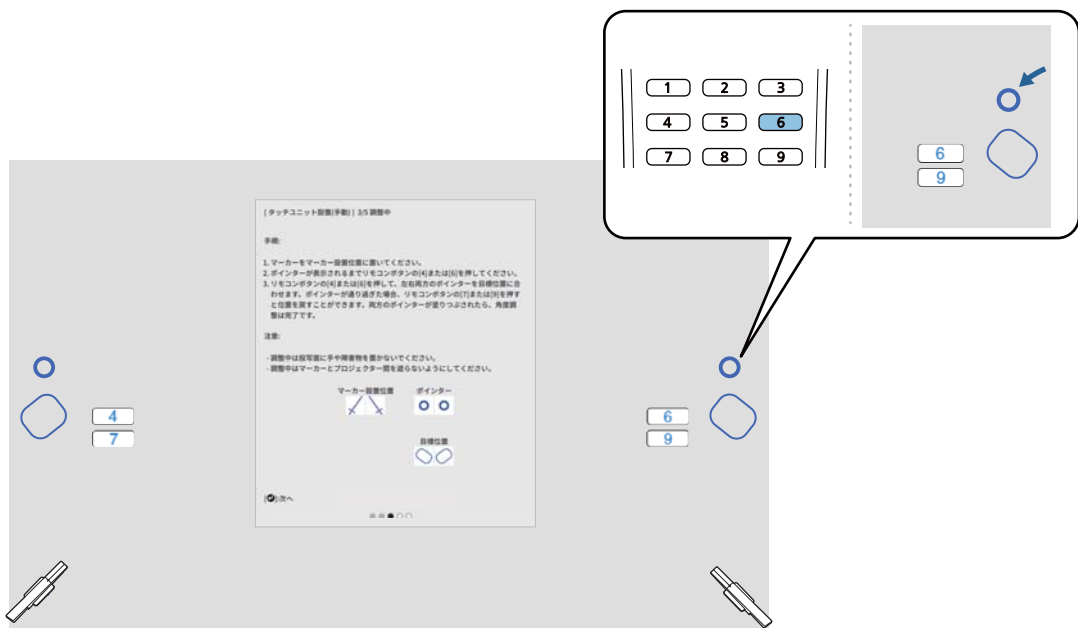
7

投写画面の左側にポインターが表示されるまで、リモコンの【4】ボタンを押す

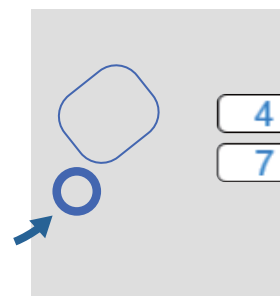
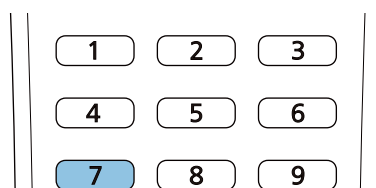


8

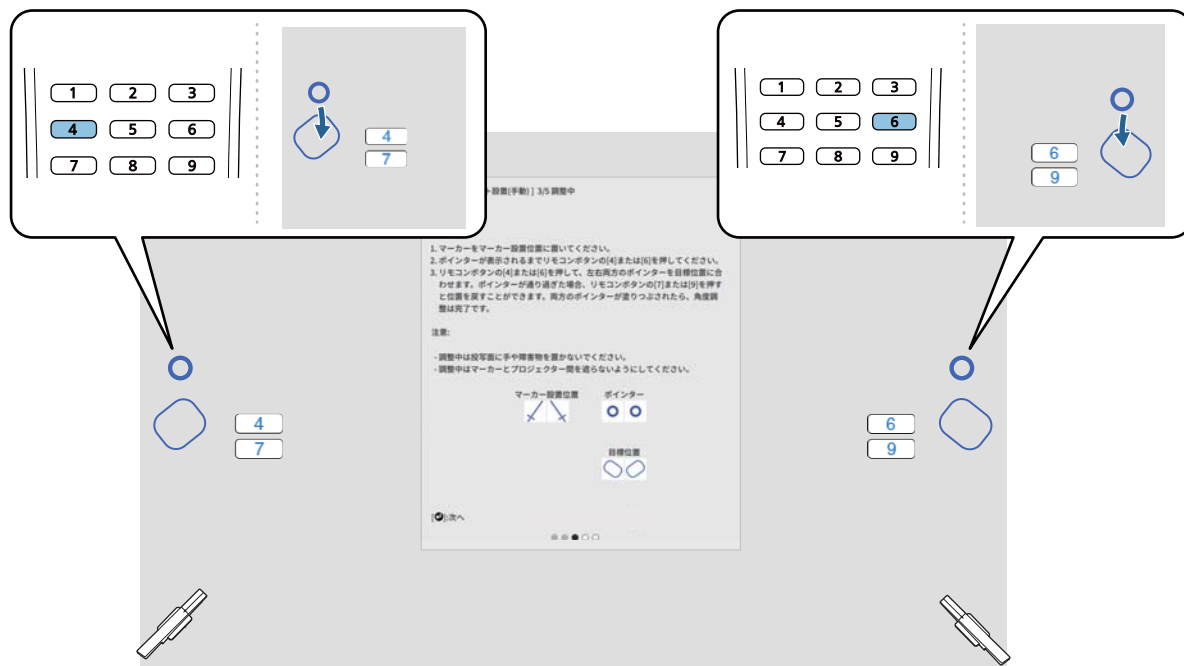
投写画面の右側にポインターが表示されるまで、リモコンの【6】ボタンを押す



右側のポインターを動かしている間に左側のポインターが画面の外に出てしまったときは、もう一度表示されるまでリモコンの【7】ボタンを押してください。



9 左右それぞれのポインターをリモコンの【4】または【6】ボタンで動かして、目標位置に入れる

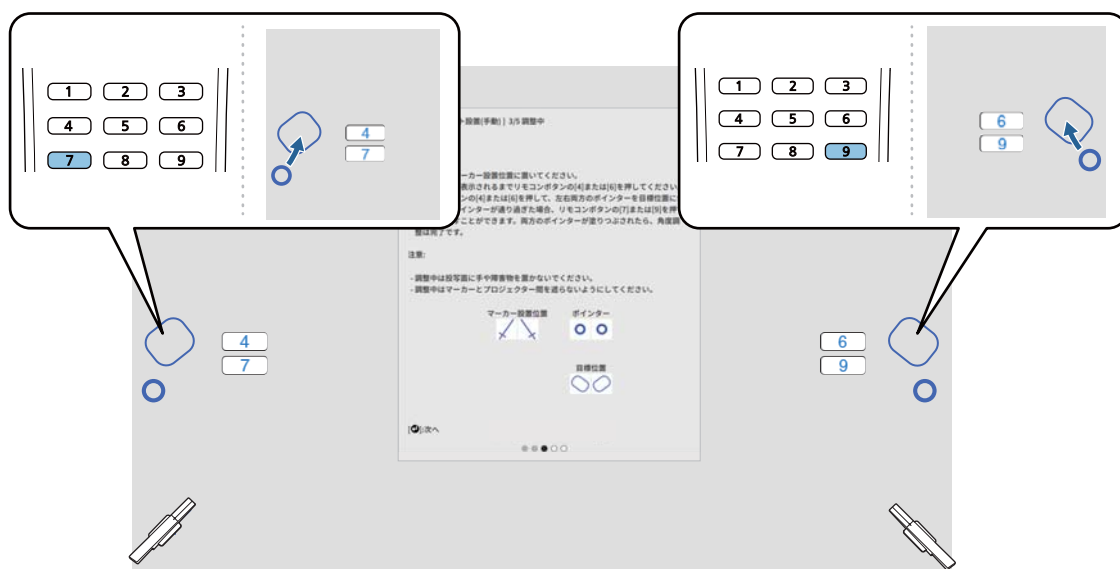


目標位置に入ると、ポインターは塗りつぶし状態（●）になります。

左右のポインターがそれぞれ塗りつぶし状態になったら、リモコンの【決定】ボタンを押します。

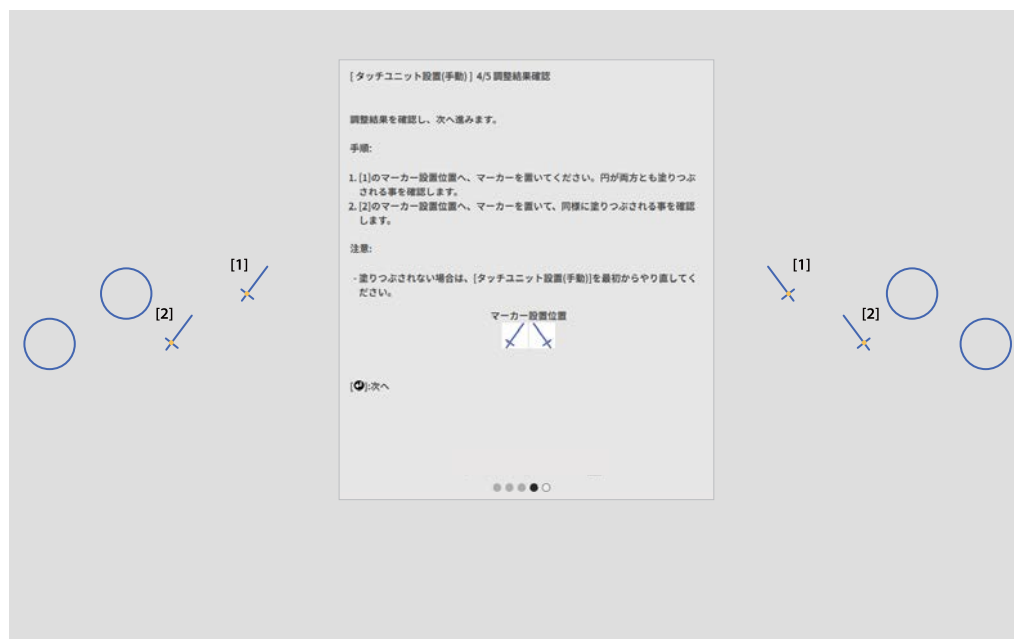


- 一方のポインターを動かすと、もう一方のポインターも少し動きます。ポインターの位置を確認しながら、左右それぞれのポインターを交互に少しずつ調整することをお勧めします。
- ポインターが目標位置を通過してしまったときは、リモコンの【7】または【9】ボタンでポインターを逆方向に動かします。



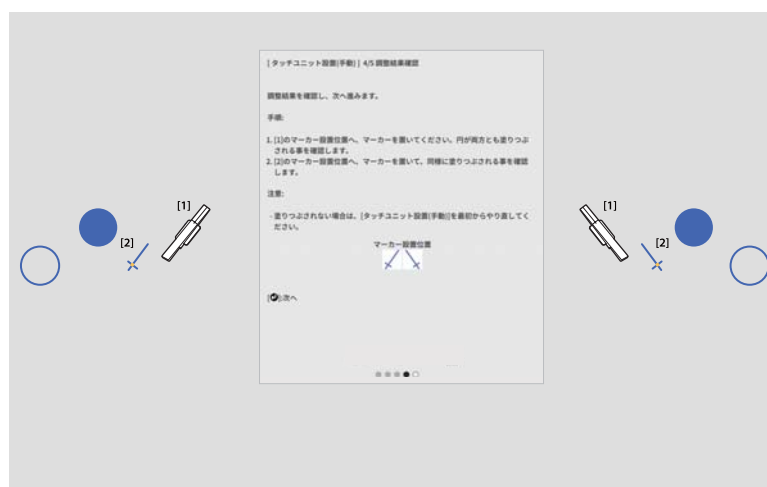
- ポインターを意図どおりに動かせなくなったときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して手順6からやり直してください。

画面の指示に従ってマーカー設置位置にマーカーを置いて、調整結果を確認する

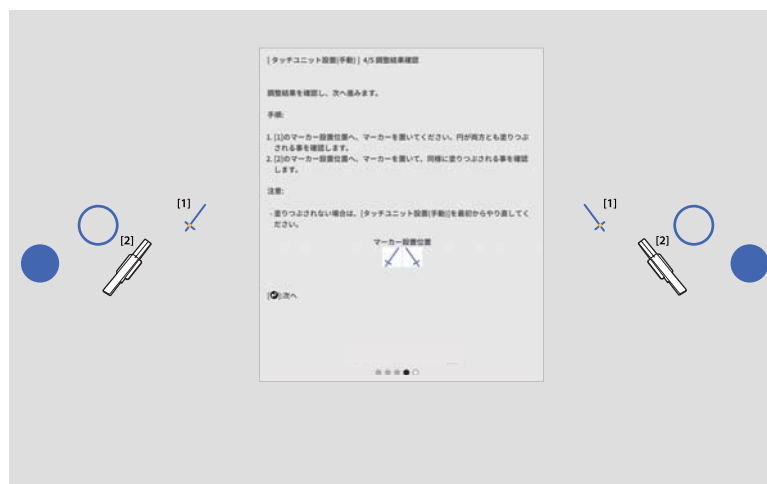


マーカー設置位置にマーカーを置いたときに、投写画面に表示されている円が塗りつぶされることを確認します。

[1]の位置にマーカーを置いたとき

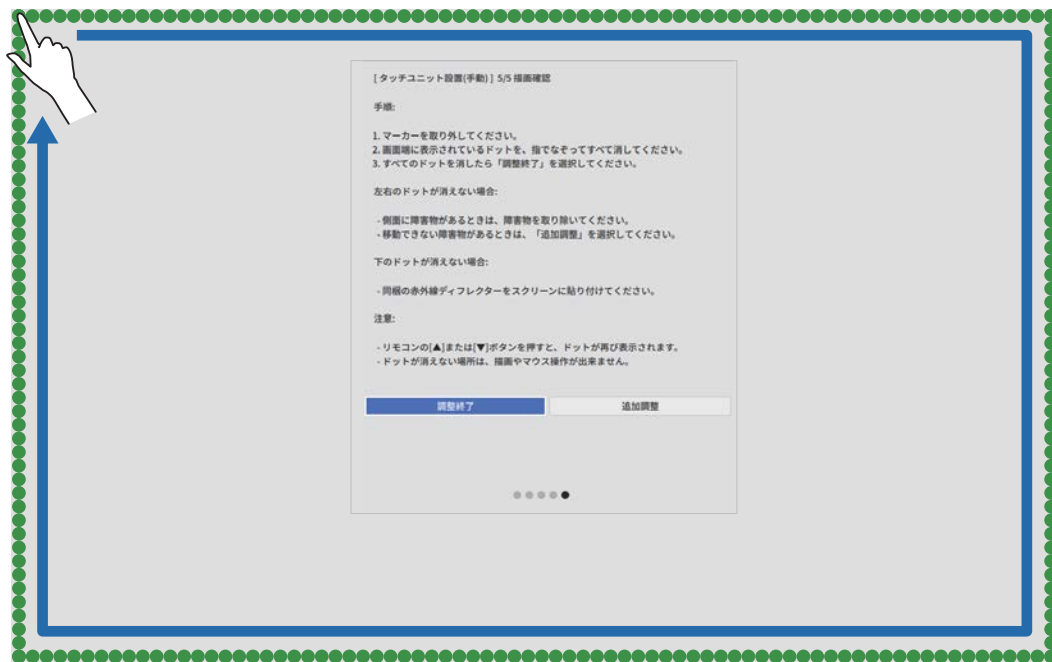


[2]の位置にマーカーを置いたとき



11

マーカーを取り外して、投写画面に表示されたドットを指でなぞって消す



ドットがすべて消えたら、「調整終了」を選択します。

「指タッチ操作の位置合わせ」 [p.124](#)へ進んでください。

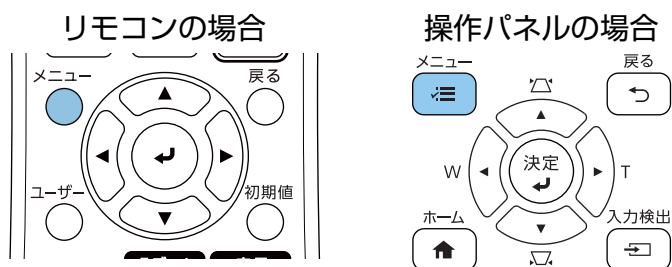
一部のドットが消えないときは、「追加調整」を選択します。画面の指示に従って再度調整してください。

指タッチ操作の位置合わせ

プロジェクターが指の位置をより正確に認識できるよう、指タッチ位置合わせを行います。

1

プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す



2 [設置] メニューで [タッチユニット] を選択する

よく使う項目	設定
映像調整	固定設置 オフ
信号入出力	テストパターン
設定	セッティングプレート調整が…
表示	縦置き しない
動作	設置モード フロント・上下反転
管理	自動画面調整
ネットワーク	幾何学歪み補正 ポイント補正
ペン/指タッチ	幾何学歪み補正ウィザード
インタラクティブ	Setting Assistant接続
マルチプロジェクション	デジタルズーム
メモリー	ELPCB02を接続する オフ
節電	タッチユニット
初期・全体設定	リモコン受光部 オフ
	スクリーンタイプ 16:9
	高地モード オフ
	設置初期化
	表示

3 [指タッチ位置合わせ] を選択する

[タッチユニット]	戻る
設置パターン	
電源	オン
タッチユニット設置(自動)	
タッチユニット設置(手動)	
指タッチ位置合わせ	
タッチ補正範囲	狭い

4 [はい] を選択する

[指タッチ位置合わせ]

注意: 調整中は投写面に手や障害物を置かないでください。

- スクリーンに表示されるマークを指でタッチします。
- マークが移動するまで指を離さないでください。
- 右下に表示される最後のマークまでこの操作を繰り返してください。

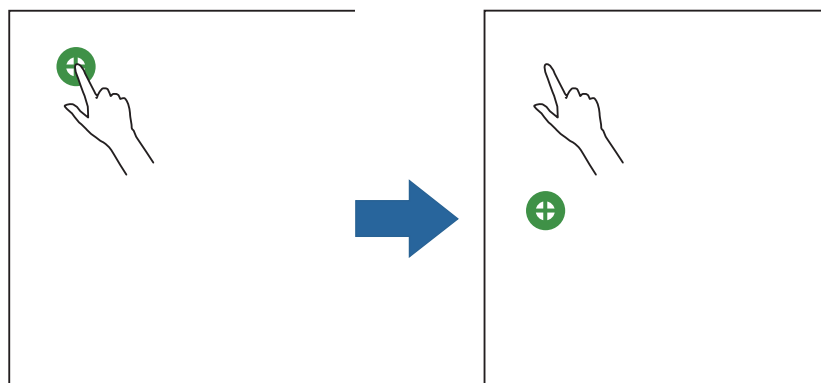
準備ができれば、開始します。よろしいですか？

投写画面の左上にドットが表示されます。

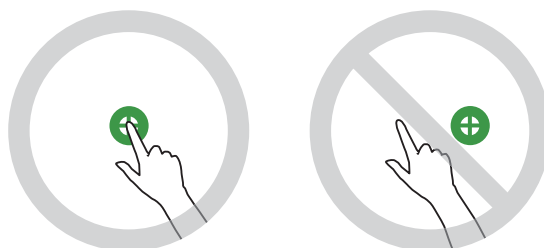
5

表示されているドットの中心を指で押す

ドットが消えて次の位置にドットが表示されたら、指を離します。



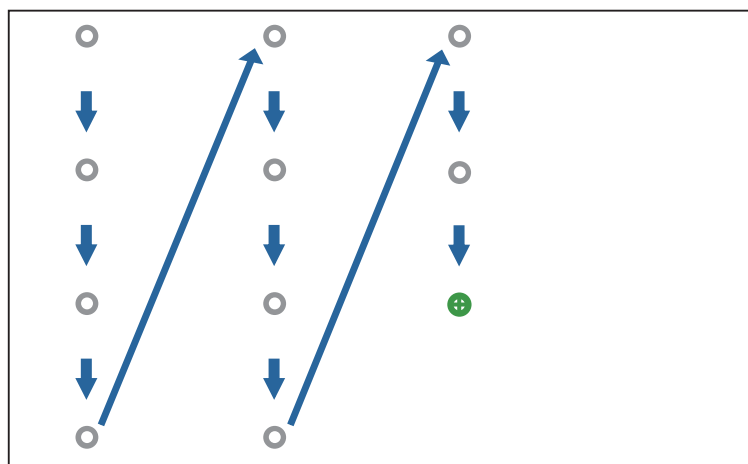
- 必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



- 手の甲など指以外の箇所が触れないようにしてください。

6

すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。



- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- Epson Projector Managementを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

Epson Projector Managementを経由して設定する方法は、『Epson Projector Management 操作ガイド』をご覧ください。



- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
 - [パスワードプロテクト]
 - [信号入出力] メニューの [EDID]
 - [ネットワーク] メニュー
- プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。



注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。



- FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

■ 設定値をUSBメモリーに保存する

- 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2

USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する



- USB メモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USB ハブを介してUSB メモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われなかったことがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

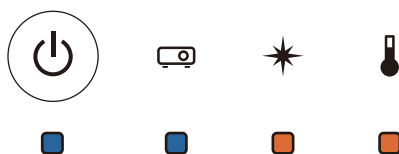
3

リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターステータスインジケータースターが青色に、レーザーインジケータース温度インジケータースターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータースターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

ステータス レーザー 温度



すべてのインジケータースターが点滅に変わると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

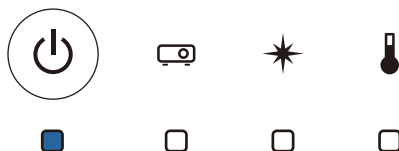


注意

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータースターのみが青色に点灯します。

ステータス レーザー 温度



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1

プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータースターがすべて消灯していることを確認する

2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する



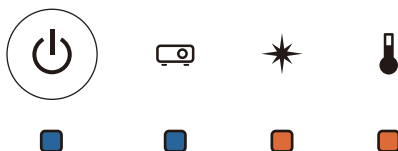
USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターステータスインジケータースターが青色に、レーザーインジケータース温度インジケータースが青色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータースがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケータースは約75秒点灯します。

ステータス レーザー 温度



すべてのインジケータースが点滅になると、設定値の書き込みが始まります。

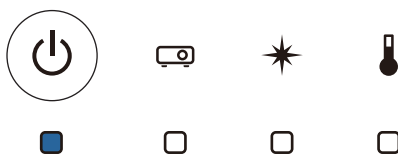


注意

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケータースのみが青色に点灯します。

ステータス レーザー 温度



プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する



一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows 7以降
- OS X 10.11以降

■ 設定値をコンピューターに保存する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

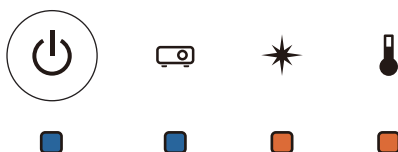
2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

ステータス レーザー 温度



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をコンピューターに保存する



一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

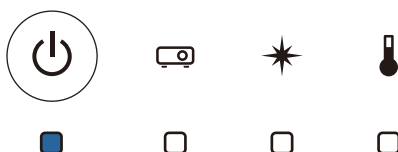
5 コンピューター上で「USBデバイスの取り出し」を行ってから、USBケーブルを抜く



Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。

ステータス レーザー 温度



■ 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケータがすべて消灯していることを確認する

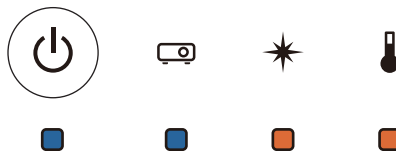
2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケータとステータスインジケータが青色に、レーザーインジケータと温度インジケータが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。

ステータス レーザー 温度



コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 コンピューターに保存した一括設定ファイル (PJCONFDATA.bin) をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする



リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く

 Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

すべてのインジケーターが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

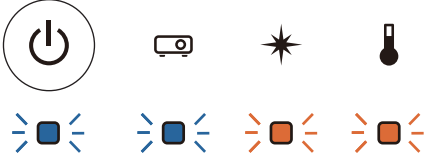
 **注意**

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。

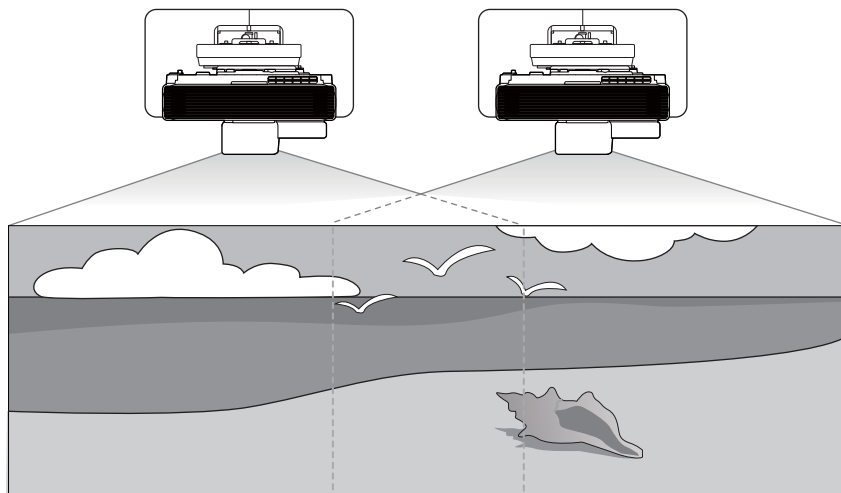


設定がうまくいかないときは

確認	対処法
レーザーインジケーター、温度インジケーターが、橙色に速く点滅していませんか？ ステータス レーザー 温度 	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ速く点滅していませんか？ ステータス レーザー 温度 	設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション）

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます（マルチプロジェクション）。



マルチプロジェクションを行うときは、以下の順番で接続や必要な設定を行います。



マルチプロジェクションの設定を行うときは、プロジェクターメニューから [動作] - [スリープモード] を [オフ] にすることをお勧めします。

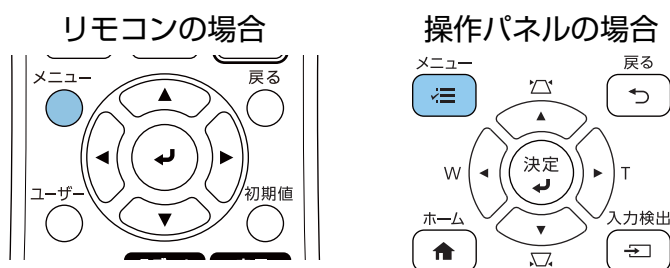
- 1 ケーブル類の接続 (☞ [p.17](#))
- 2 プロジェクターIDの設定 (☞ [p.134](#))
- 3 マルチプロジェクションの接続設定 (☞ [p.135](#))
- 4 HDMIリンク設定 (☞ [p.138](#))
- 5 マルチプロジェクションの映像設定 (☞ [p.139](#))

マルチプロジェクションでインタラクティブ機能を使用するときは、上記の設定が済んでから下記を行ってください。

- 6 プロジェクターの同期設定 (☞ [p.140](#))
- 7 EDID設定 (☞ [p.141](#))
- 8 インタラクティブペンの位置合わせ (☞ [p.88](#))
- 9 指タッチ操作の位置合わせ (☞ [p.124](#))

プロジェクターID の設定

1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】 ボタンを押す



2 【マルチプロジェクション】 メニューで 【プロジェクターID】 を選択する

よく使う項目	マルチプロジェクション
映像調整	プロジェクターID オフ
信号入出力	HDMI Out設定 オフ
設定	幾何学歪み補正 ポイント補正
表示	エッジブレンディング
動作	表示倍率
管理	ユニフォーミティー
ネットワーク	光源モード ノーマル
ペン/指タッチ	カラーマッチング
インタラクティブ	RGBCMY
マルチプロジェクション	マルチプロジェクション初期化
メモリー	メモリー
節電	メモリー保存
初期・全体設定	メモリー呼出
	メモリー名称変更
	メモリー削除
	メモリー初期化
	節電

3 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する

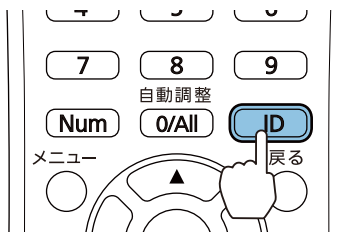
[プロジェクターID]	戻る
✓ オフ	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

4 【戻る】 ボタンを押してメニューを終了する

残りのプロジェクターについて、手順1 ～4 を繰り返します。

5

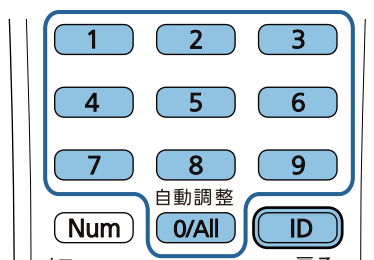
操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】 ボタンを押す



投写画面上に現在のID番号が表示されます。

6

【ID】 ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。



- [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の影響により意図しない動作となることがあります。

マルチプロジェクションの接続設定

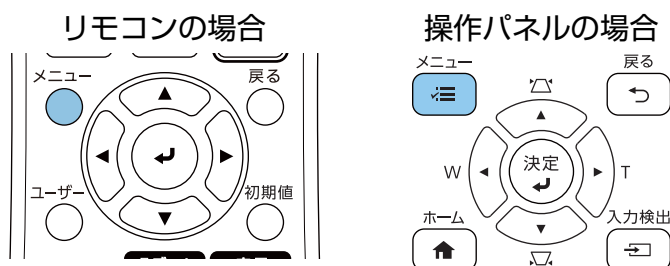
接続しているすべてのプロジェクターで、下記の設定を行ってください。インタラクティブ機能を使うかどうかによって設定が異なります。

- インタラクティブ機能を使用する場合 ([p.135](#))
- インタラクティブ機能を使用しない場合 ([p.137](#))

■ インタラクティブ機能を使用する場合

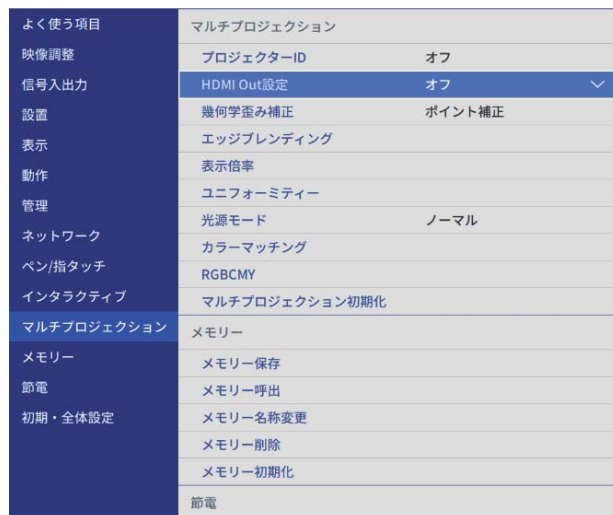
1

プロジェクターの【メニュー】 ボタンを押す



2

〔マルチプロジェクション〕メニューの〔HDMI Out設定〕を選択する



3

〔複数台連結〕を選択する



画面の指示に従ってプロジェクターを再起動してください。

4

順番を設定する

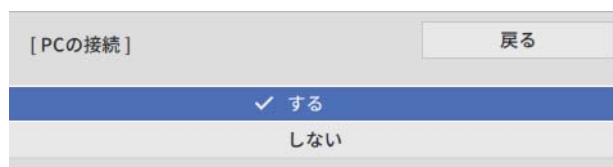
左側のプロジェクターを〔1〕、右側のプロジェクターを〔2〕に設定します。



5

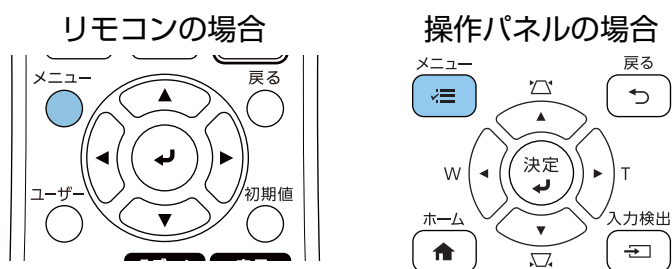
〔PCの接続〕を設定する

コンピューターを接続しているプロジェクターのみ〔する〕に設定します。コンピューターを接続していないプロジェクターは〔しない〕に設定します。



■ インタラクティブ機能を使用しない場合

1 【メニュー】 ボタンを押す



2 【マルチプロジェクション】 メニューの 【HDMI Out設定】 を選択する

よく使う項目	マルチプロジェクション
映像調整	プロジェクターID オフ
信号入出力	HDMI Out設定 オフ
設定	幾何学歪み補正 ポイント補正
表示	エッジブレンディング
動作	表示倍率
管理	ユニフォーミティー
ネットワーク	光源モード ノーマル
ペン/指タッチ	カラーマッチング
インタラクティブ	RGBCMY
マルチプロジェクション	マルチプロジェクション初期化
メモリー	メモリー
メモリー	メモリー保存
節電	メモリー呼出
初期・全体設定	メモリー名称変更
	メモリー削除
	メモリー初期化
	節電

3 【パススルー】 を選択する

[HDMI Out設定]	戻る
オフ	
✓ パススルー	
複数台連結	

画面の指示に従ってプロジェクターを再起動してください。

4 【台数】 を設定する

接続している台数を設定します。

[台数]	戻る
✓ 2	
3	
4	

5

順番を設定する

左端にあるプロジェクターを [1] として、プロジェクターの位置を設定します。

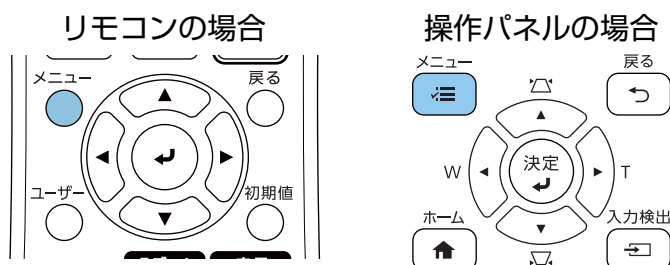
[順番]	戻る
✓ 1	
2	
3	
4	

HDMIリンク設定

HDMIリンク機能を使って、複数のプロジェクターの電源オン/オフを連動します。

1

【メニュー】 ボタンを押す



2

【信号入出力】 メニューの [HDMIリンク] を選択する

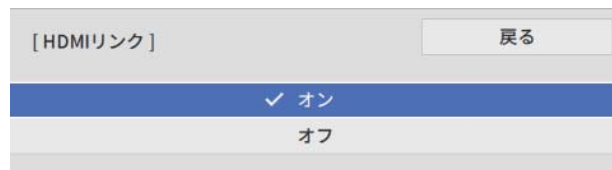
よく使う項目	信号入出力	
映像調整	音量	
信号入出力	入力ソース	コンピューター1
設定	入力信号フォーマット	
表示	マイク入力レベル	50
動作	オーバースキャン	オート
管理	EDID	3240x1080/60Hz
ネットワーク	初期値に戻す	
ペン/指タッチ	A/V出力	投写時
インタラクティブ	音声左右反転	オフ
マルチプロジェクション	音声出力	オート
メモリー	HDMI音声出力	
節電	モニター出力端子	モニター出力
初期・全体設定	USB Display	0
	HDMIリンク	
	信号入出力初期化	
	設定	
	固定設定	オフ

3

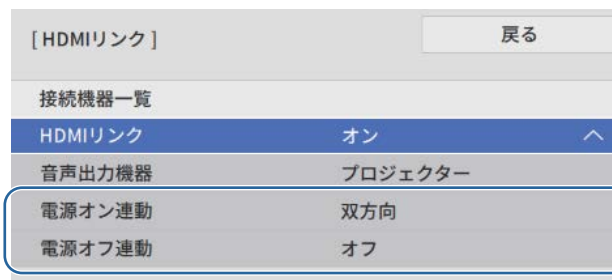
【HDMIリンク】 を選択する

[HDMIリンク]	戻る
HDMIリンク	オフ

4 [オン] を選択する



5 連動したい操作に合わせて、[電源オン連動] と [電源オフ連動] を設定する



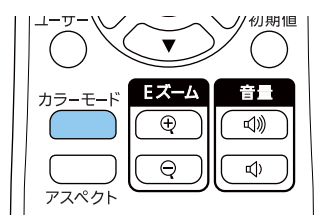
マルチプロジェクションの映像調整



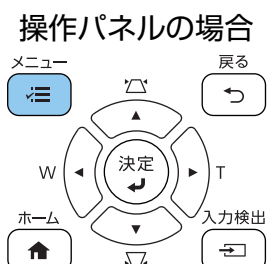
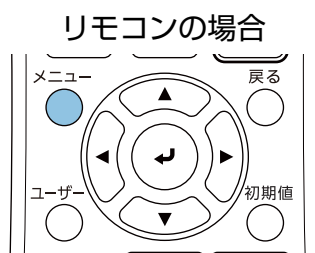
プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、30分以上経ってから映像の調整を行ってください。

1 プロジェクターの電源をオンにする

2 リモコンの【カラーモード】 ボタンを押して、カラーモードを [マルチプロジェクション] に設定する



3 【メニュー】 ボタンを押す



4

【マルチプロジェクション】メニューで、必要な設定を行う

設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

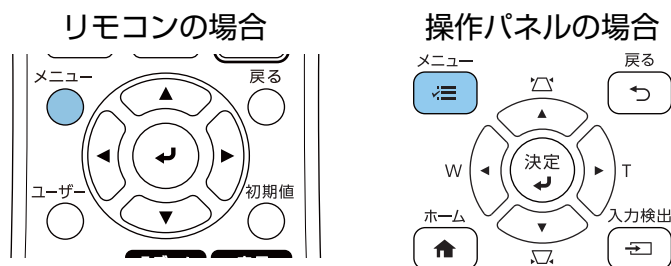
[エッジブレンディング] [黒レベル調整]	映像のつなぎ目や映像が重なった部分を目立たないように調整します。 (☞「取り付け寸法図」 p.13)
[表示倍率]	映像の拡大率と切り出し位置を設定します。
[光源モード]	映像全体の明るさを合わせます。[カスタム] を選択して、一番暗いプロジェクターを基準に [明るさレベル] を調整してください。
[ユニフォーミティー] [カラーマッチング] [RGBCMY]	映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。

プロジェクターの同期設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）

事前にワイヤードリモコンケーブル（ELPKC28）でプロジェクター同士を接続します。詳細は「複数台のプロジェクター同士の接続」 p.17をご確認ください。

1

【メニュー】 ボタンを押す



2

【ペン/指タッチ】メニューの【複数台設置】を選択する

よく使う項目	ペン/指タッチ
映像調整	自動ペン位置合わせ
信号入出力	手動ペン位置合わせ
設定	タッチユニット
表示	複数台設置
動作	ペンホバリング オン
管理	PC操作
ネットワーク	ペン/指タッチ初期化
ペン/指タッチ	インタラクティブ
インタラクティブ	描画機能を利用する オン
マルチプロジェクション	ツールバー表示 常に表示
メモリー	描画エリア表示
節電	画面クリア確認 オン
初期・全体設定	ペンボタン動作 消しゴム
	時計表示 日付&時刻 へ
	日付 YYYY-MM-DD
	時刻 HH:MM
	プリント

3

【複数台同期】を選択する



4

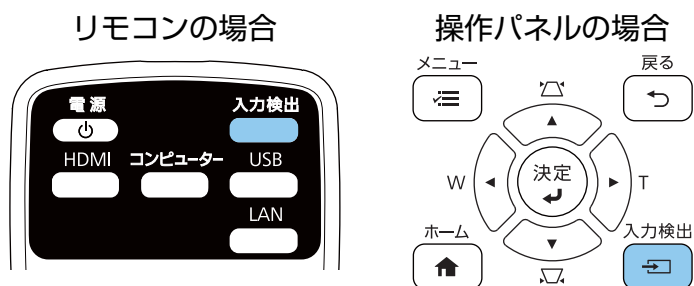
【有線接続】を選択する



EDIDの設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）

1

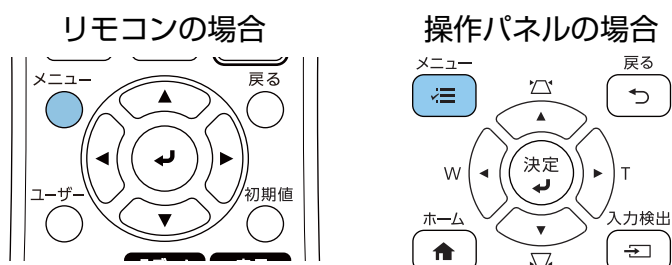
【入力検出】ボタンを押して、入力ソースをHDMIまたはHDBaseTのいずれかに切り替える



EDIDの設定内容はソースごとに保存されます。

2

【メニュー】ボタンを押す



3

【信号入出力】メニューの【EDID】を選択する

よく使う項目	信号入出力	
映像調整	音量	
信号入出力	入力ソース	コンピューター1
設定	入力信号フォーマット	
表示	マイク入力レベル	50
動作	オーバースキャン	オート
管理	EDID	1920x1080/60Hz
ネットワーク	初期値に戻す	
ペン/指タッチ	A/V出力	投写時
インタラクティブ	音声左右反転	オフ
マルチプロジェクション	音声出力	オート
メモリー	HDMI音声出力	
節電	モニター出力端子	モニター出力
初期・全体設定	USB Display	0
	HDMIリンク	
	信号入出力初期化	
	設定	
	固定設定	オフ

4

【3240x1080/60Hz】を選択する

[EDID]	戻る
3840x2160/30Hz	
✓ 3240x1080/60Hz	
1920x1200/60Hz	
1920x1080/60Hz	
1920x720/60Hz	
1920x810/60Hz	
1600x1200/60Hz	
1600x900/60Hz	
1440x900/60Hz	
1400x1050/60Hz	
1366x768/60Hz	
1280x1024/60Hz	
1280x800/60Hz	
1280x720/60Hz	
1024x768/60Hz	

安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5007	電源 ON 電源への接続を示す。
	IEC60417 No.5008	電源 OFF 電源からの切り離しを示す。
	IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通电状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
	ISO7000 No.0434B IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
	IEC60417 No.5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
	IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
	IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。
	IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。

	IEC60417 No.5001B	電池(一般) 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
	IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。

	IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
	IEC60417 No.5017	アース Ⓧの使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。

シンボルマーク	対応規格	意味
	IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
	IEC60417 No.5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
	ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
	ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	---	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	---	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
	ISO3864 IEC60825-1	注意(レーザー放射) 製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを示す。
	ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
	IEC60417 No.5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
	ISO3864 IEC60417 No.5057	注意(可動部品) 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6056	注意(可動ファンのブレード) 保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。
	IEC 60417-6043	注意(鋭利な角) 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。
	--	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
	ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射 (UV、可視光、IRなど) 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。
	IEC60417 No.5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

商標について

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

© 2020 Seiko Epson Corporation

2025.2 Rev.05